

黒潮町
高齢者保健福祉計画および
第6期介護保険事業計画
見直しにかかるアンケート調査
結果報告書

平成29年7月

黒潮町

目次

1 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査概要	2
3. 配布・回収結果	2
4. 報告書の見方	3
2 調査結果の概要	4
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	5
2. 在宅介護実態調査.....	8
3 調査結果（日常生活圏域ニーズ調査）	10
ご回答者について	11
1. あなたのご家族や生活状況についておたずねします	11
2. からだを動かすことについておたずねします	17
3. 食べることについておたずねします.....	27
4. 毎日の生活についておたずねします.....	32
5. 地域での活動についておたずねします	43
6. たすけあいについておたずねします.....	48
7. 健康についておたずねします	55
8. 町の高齢者福祉についておたずねします	60
3 調査結果（在宅介護実態調査）	63
1. ご回答者について.....	64
2. 主な介護者について	65
3. サービスの利用状況について	68
4. 介護者の勤務状況について	73
5. 介護における意識について	76
6. 就労状況別でみる介護者の基本属性について	79
7. 就労状況別でみる在宅介護の現状について.....	81
8. 就労状況別でみるサービスの利用状況について	84
9. 職場における働き方の調整・支援について.....	88
4 リスク判定結果	91

1 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第7期黒潮町高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～32年度）」を策定するための基礎資料とするため、住民の皆様の生活状況や、保健、福祉、介護サービスに対するご要望、保健福祉行政に対するお考えをおうかがいしたく実施いたしました。

2. 調査概要

① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- 調査対象者：本町にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方 4,150人
- 調査期間：平成29年3月1日（水）～平成29年3月14日（火）
- 調査方法：郵送による配付・回収

② 在宅介護実態調査

- 本町にお住まいの要介護認定者で、在宅サービスを受給されている方 120人
- 調査期間：平成28年11月～平成29年5月
- 調査方法：認定調査員による聞き取り方式

3. 配布・回収結果

調査票の配布と回収については、以下のとおりとなっています。

調査区分	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	4,150件	2,303件	55.5%
在宅介護実態調査	120件	120件	100.0%

4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 回答者の属性（性別・年齢・お住まいの地域・認定区分）の把握については、記名式での調査実施となっています。しかしながら、個人情報の特定に拒否がある方については、把握できていないため、単純集計のN値と、クロス集計における各属性のN値の合計が一致しない場合があります。

2 調査結果の概要

1. 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

①ご家族や生活状況について

- 家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が約4割ともっとも高く、次いで「一人暮らし」が約2割弱となっています。
- 現在は「介護・介助は必要ない」は約8割となっていますが、80歳以上になると、「現在、何らかの介護を受けている」が高くなり、**年齢が高くなるにつれて割合も高くなっており、後期高齢者の介護・介助の必要性は高い**ことがうかがえます。また、介護・介助が必要になった原因では、「高齢による衰弱」「骨折・転倒」が多くなっています。
- 主な介助者については、「**配偶者(夫・妻)**」が約3割ともっとも高く、次いで「娘」「息子」となっていることから、**身近な家族が介護・介助にあたっている**状況がうかがえます。
- 現在の経済状況については、「ふつう」が約6割弱となっています。

②運動・外出の状況について

- 運動機能について、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」は約2割が「できない」としており、「15分位続けて歩いていますか」は約1割が「できない」としています。
- 「過去1年間に転んだ経験はありますか」について『ある』(「何度もある」と「1度ある」の合計)は約3割となっており、「転倒に対する不安は大きいですか」では『**不安である**』(「とても不安である」と「やや不安である」の合計)が52.1%と半数を超えています。また、「女性」の方の『**不安である**』(「とても不安である」と「やや不安である」の合計)の割合が高くなっています。
- 週に1回以上は外出しているかについては、「週5回以上」が39.9%、「週2~4回」が34.3%と高くなっています。また、昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」が45.0%、「あまり減っていない」が30.7%と高くなっているものの、『**減っている**』(「とても減っている」と「減っている」の合計)も約2割みられます。
- 外出を控える理由の回答結果をみると、「足腰などの痛み」が約6割ともっとも高く、筋力や運動機能の低下を起因とした症状が多くなっています。**外出頻度の減少は運動機能の低下を引き起こし、さらに外出頻度が減少するという悪循環を引き起こす可能性があるため、早期段階での予防・対策が重要**となります。

③栄養・口腔・食事の状況について

- BMIが18.5以下の「やせ」の割合は7.5%、「肥満」の割合は19.3%となっています。
- 口腔機能について、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」では、「はい」(食べにくくなった)が約3割となっています。
- どなたかと食事をともにする機会があるかについては、『ある』(「毎日ある」「週に何度かある」「月に何度かある」「年に何度かある」の合計)が86.6%となっていますが、「ほとんどない」についても8.3%みられ、約1割弱の方が**孤食の状況**にあることがうかがえます。**年齢が高くなるにつれて「ほとんどない」の割合も高くなっています。**

④日常生活・社会参加について

- 認知機能の状況について、〔物忘れが多いと感じますか〕では「はい」が46.4%となっています。
年齢が上がるにつれ、「はい」の割合が高くなっています。
- 手段的自立度（生活を自己完結する能力）について、〔バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）〕で8.4%、〔自分で食品・日用品の買物をしていますか〕で4.8%、〔自分で食事の用意をしていますか〕で6.6%、〔自分で請求書の支払いをしていますか〕で4.0%、〔自分で預貯金の出し入れをしていますか〕で4.9%が「できない」と回答しています。
- 知的能動性（情報を自ら収集して表現する能力）について、〔年金などの書類が書けますか〕で81.9%、〔新聞を読んでいますか〕で74.5%、〔本や雑誌を読んでいますか〕で65.3%、〔健康についての記事や番組に関心がありますか〕で85.8%が「はい」と回答しています。〔本や雑誌を読んでいますか〕においては、他の項目より1～2割程度、「はい」（している）の割合が低くなっています。
- 社会的役割（他の人の相談にのることができる、他の世代と交流できる能力）について、〔友人の家を訪ねていますか〕で65.4%、〔家族や友人の相談にのっていますか〕で76.1%、〔病人を見舞うことができますか〕で87.5%、〔若い人に自分から話しかけることができますか〕で80.9%が「はい」と回答しています。〔友人の家を訪ねていますか〕においては、他の項目より1～2割程度、「はい」（している）の割合が低くなっています。
- 今後も高齢者同士のつながりづくりなど、交流できる機会の提供を進めていながら、**高齢者が生きがいをもって活動できる場の構築など、自発的に活動できるような環境・制度を整えていく必要がある**と思われる。

⑤たすけあいについて

- 心配ごとや愚痴を聞いてくれる人については、男性は「配偶者」、女性は「友人」がもっとも高くなっています。また、家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手では、「そのような人はいない」が29.8%ともっとも高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」24.2%、「社会福祉協議会・民生委員」16.3%と続いています。
- 病気で寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」がもっとも高く、次いで「別居の子ども」28.8%、「同居の子ども」22.0%となっています。
- よく会う友人・知人については、「近所・同じ地域の人」が71.8%ともっとも高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」30.8%、「仕事での同僚・元同僚」26.1%となっています。
- 身近な家族・友人が日頃の相談相手や、病気の時の看病や世話を頼む相手として挙がっているなかで、**今後高齢化が進むことで、支援を頼む相手も高齢のために対応が難しいケースも増えることも想定されており、地域での支え合いや、共助・公助の役割も重要となってきます。**

⑥健康状態について

- 健康状態について、『よい』（「とてもよい」と「まあよい」の合計）は70.9%となっています。
- うつ傾向について、〔この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか〕では「はい」が33.4%となっています。また、〔この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか〕では「はい」が21.7%となっています。
- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が45.3%、「目の病気」が17.7%、「糖尿病」が13.7%となっています。
- 生活習慣を起因として発症すると考えられる疾患が多くあります。**日々を健康に過ごすために、まずは生活習慣の見直しなど、健康面に配慮した予防法を進めていく必要があると考えられます。**

⑦町の高齢者福祉について

- 普段の暮らしの〔現在の満足度〕について、『満足』においては、「洗濯」が23.6%と最も高く、次いで「ゴミ出し」22.2%、「配食等、定期的な食事の準備」17.9%となっています。一方で『不満』においては、「電球交換等の一時的支援」が5.0%と最も高く、次いで「庭木の手入れ」4.7%、「移動販売車による販売」4.0%となっています。
- 〔今後の重要度〕について、『重要』においては、「見守り・安否確認」が17.3%と最も高く、次いで「外出や通院の手伝い」16.7%、「ゴミ出し」15.2%となっています。一方で『重要でない』においては、「庭木の手入れ」が5.4%と最も高く、次いで「電球交換等の一時的支援」5.0%、「移動販売車による販売」4.6%となっています。

2. 在宅介護実態調査

①在宅介護の現状について

- 主な介護者の介護頻度については、[フルタイム勤務] [パートタイム勤務] [働いていない] いずれにおいても「ほぼ毎日」が、もっとも高くなっています。**勤務状況に関わらず、家族の介護の頻度が高い**ことがうかがえます。
- 介護者が行っている介護については、[フルタイム勤務] [パートタイム勤務]の場合では、「食事の準備（調理等）」、[働いていない]場合では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」ももっとも高くなっています。**拘束時間が長くなる[フルタイム勤務]ほど、「日中の排泄」「入浴・洗身」「衣服の着脱」などの割合が減少**しています。
- 就労状況別でみた就労継続の見込みについては、[フルタイム勤務]では、「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」がともに 37.9%となっています。また、要介護度別でみた就労継続の見込みについては、**[要支援1～要介護1]の場合に「問題なく、続けていける」が50.0%となっており、[要介護2以上]と比較すると高くなっています。**
- パートタイムで働いている介護者の場合に「問題なく、続けていける」の割合が低くなっています。介護の時間を確保するために、時間の融通が効くパートタイム勤務に変更した可能性も考えられるため、介護のための時間をつくれるような働き方が求められていると考えられます。

②サービスの利用状況について

- 介護保険サービスの利用の有無については、[フルタイム勤務]の場合に「利用している」が56.3%と高くなっており、**拘束時間が長くなる勤務形態ほどサービスを「利用している」割合が高くなっています。**また、サービスを利用していない理由については、「現在では、サービスを利用するほどの状態ではない」がもっとも高くなっています。
- 介護者が不安を感じる介護等については、就労を[問題なく、続けていける]場合には「入浴・洗身」が高くなっています。一方で、**[続けていくのは「やや+かなり難しい」]場合では、「夜間の排泄」「認知症状への対応」が不安を感じる介護等として特に高くなっています。**
- フルタイムで勤務している場合の、[利用している保険外の支援・サービス]および[在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス]については、[利用している保険外の支援・サービス]では「利用していない」が69.7%ともっとも高くなっています。一方で、[在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス]では「特になし」が30.3%ともっとも高く、次いで「見守り・声かけ」27.3%、「掃除・洗濯」18.2%となっています。これらの**生活支援サービスにおいて、必要と感じているが、利用していない状況が伺えます。**就労と介護の両立を図るためには、まずはどのようなサービスが提供されているのかを知り、それらのうちから必要なサービスを選択していくことが重要です。

③職場における働き方や支援について

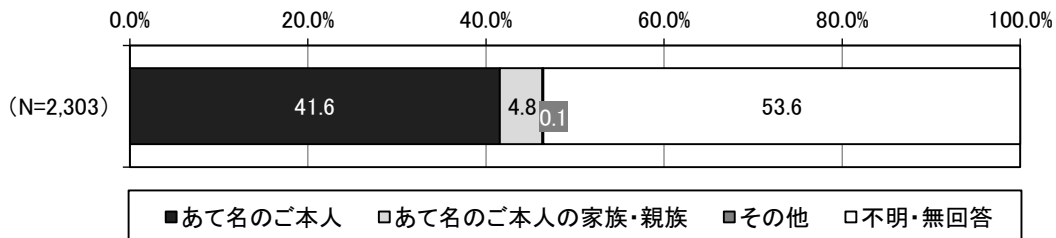
- 介護のための働き方の調整については、[フルタイム勤務][パートタイム勤務]ともに、「特に行っていない」がもっとも高くなっています。また、[パートタイム勤務]の場合では「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」の割合が16.7%となっています。
- 介護を継続するために効果的な勤め先からの支援については、[フルタイム勤務][パートタイム勤務]ともに「特にない」がもっとも高く、次いで[フルタイム勤務]の場合では「**介護休業・介護休暇等の制度の充実**」「**制度を利用しやすい職場づくり**」、[パートタイム勤務]の場合では「**介護休業・介護休暇等の制度の充実**」となっています。
- また、介護を継続するために効果的な勤め先からの支援を、就労継続の見込み別でみると、就労を[問題なく、続けていける]場合では「特にない」、[続けていくのは「やや+かなり難しい」]場合では、「**介護休業・介護休暇等の制度の充実**」がもっとも高くなっています。
- 介護のための働き方の調整については、特に何もしていないという方が多くみられるものの、**介護のために仕事を休む制度を充実させ、さらにはその制度を気軽に利用できる職場環境づくりが求められています**。高齢者の介護に携わっている方が、仕事を辞めることなく介護を続けていくためにも、より自由に自分の時間をつくることのできるような仕組みづくりや、介護を行っている方への周囲の理解と配慮が重要となります。

3 調査結果（日常生活圏域二一ズ調査）

ご回答者について

■ 回答者について（1つに〇）

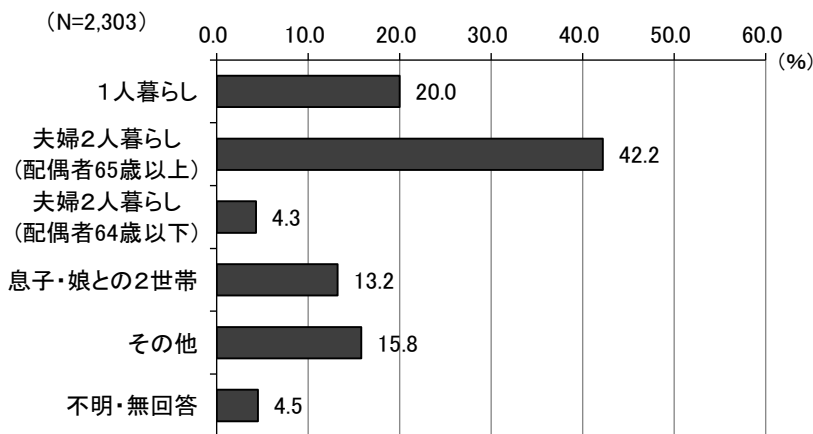
回答者についてみると、「あて名のご本人」が41.6%と最も高く、次いで「あて名のご本人の家族・親族」が4.8%となっています（不明・無回答を除く）。



1. あなたのご家族や生活状況についておたずねします

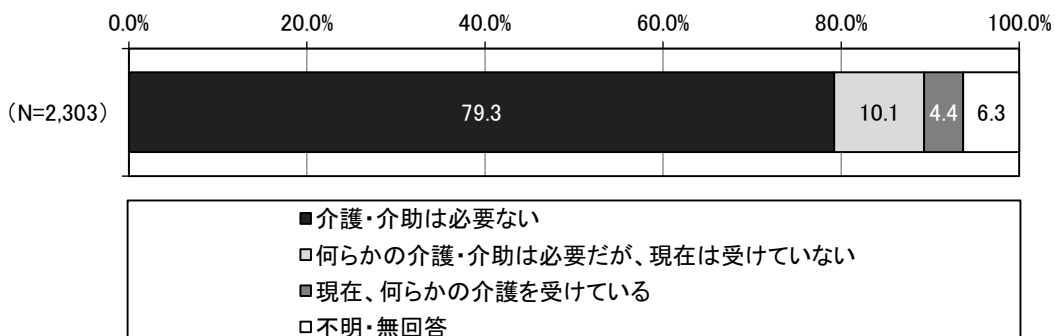
問1-1 家族構成をお教えてください。（1つに〇）

家族構成についてみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が42.2%と最も高く、次いで「1人暮らし」が20.0%、「その他」が15.8%、「息子・娘との2世帯」が13.2%となっています。



問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つに〇）

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かについてみると、「介護・介助は必要ない」が79.3%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.4%となっています。

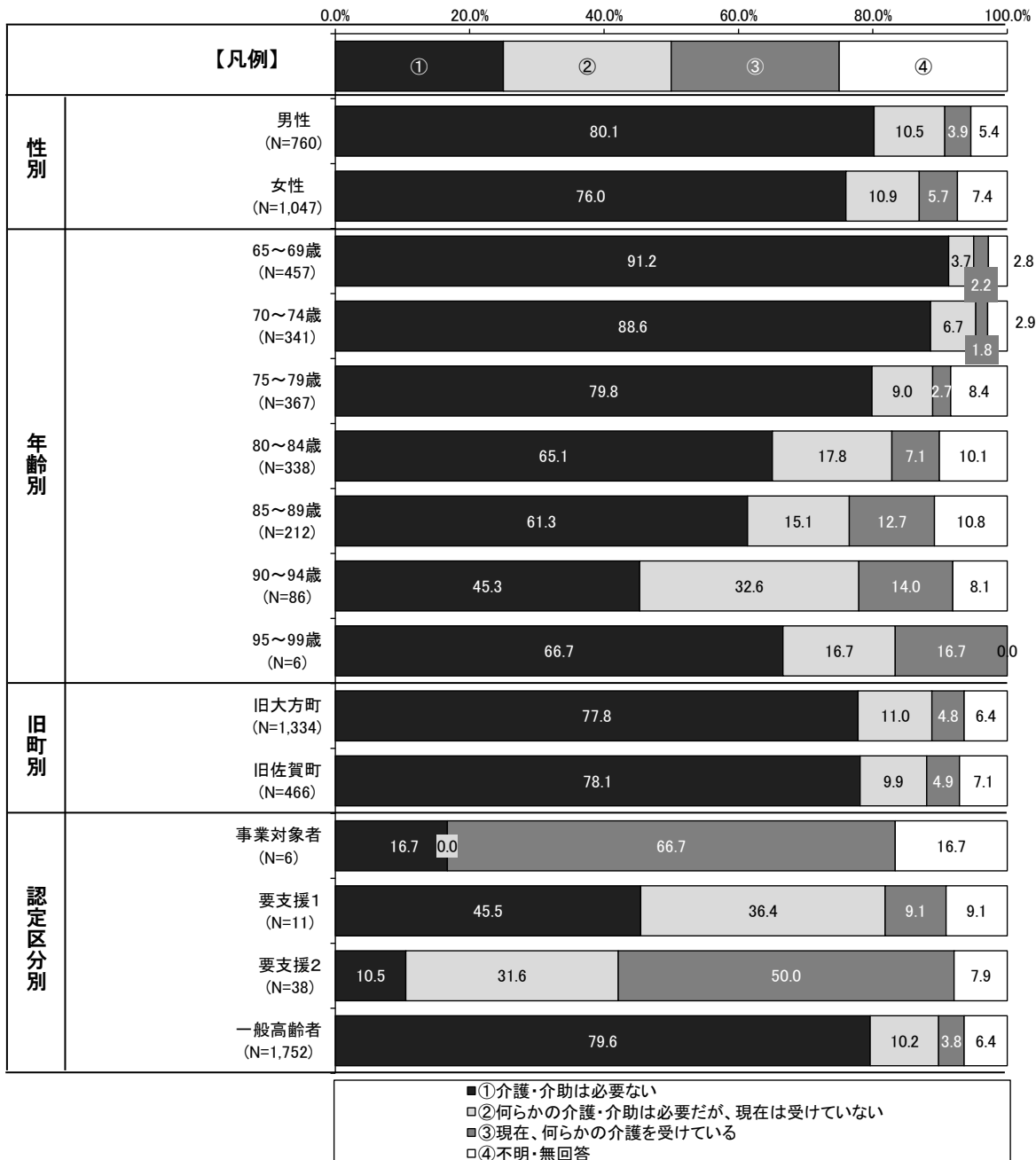


■問1-2 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別・旧町別では、ほぼ同じ傾向を示しています。

年齢別にみると、年齢が上がる程、『介護・介助は必要ない』の割合が低くなっています。

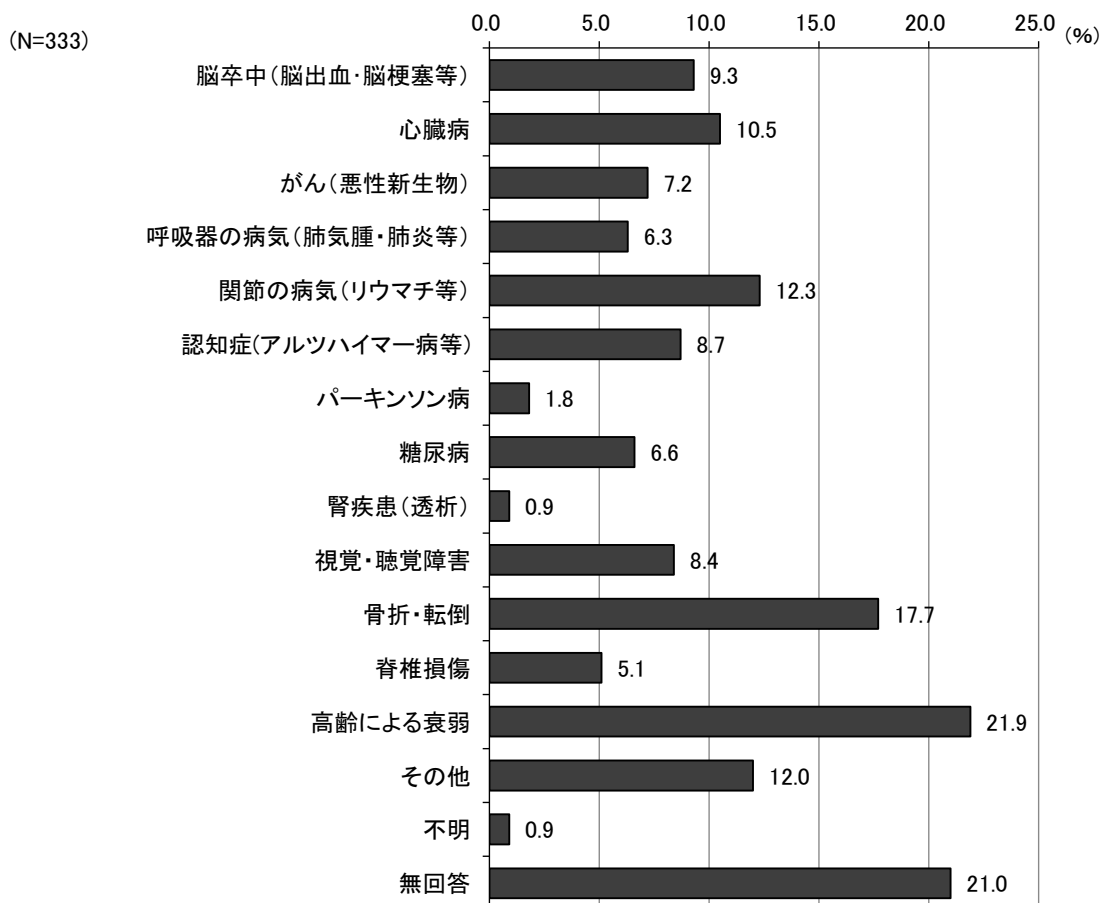
認定区分別にみると、「要支援1」「要支援2」において『何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない』が約3割となっています。



【問1-2において「2」（何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない）
または「3」（現在、何らかの介護を受けている）を選択した方のみ】

問1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

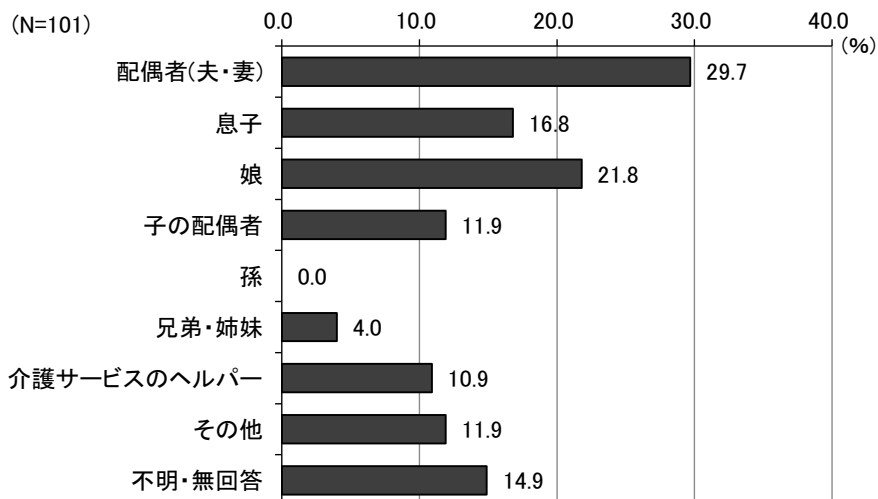
介護・介助が必要になった主な原因についてみると、「高齢による衰弱」が21.9%ともっとも高く、次いで「骨折・転倒」が17.7%、「関節の病気（リウマチ等）」が12.3%となっています（無回答を除く）。



【問1-2において「3」（現在、何らかの介護を受けている）を選択した方のみ】

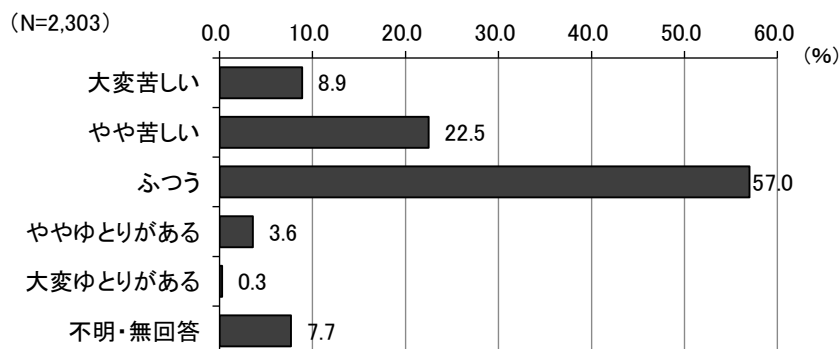
問1-2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。（〇はいくつでも）

主にどなたの介護、介助を受けているかについてみると、「配偶者(夫・妻)」が29.7%と最も高く、次いで「娘」が21.8%、「息子」が16.8%となっています。



問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つに〇）

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについてみると、「ふつう」が57.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」が22.5%、「大変苦しい」が8.9%となっています。



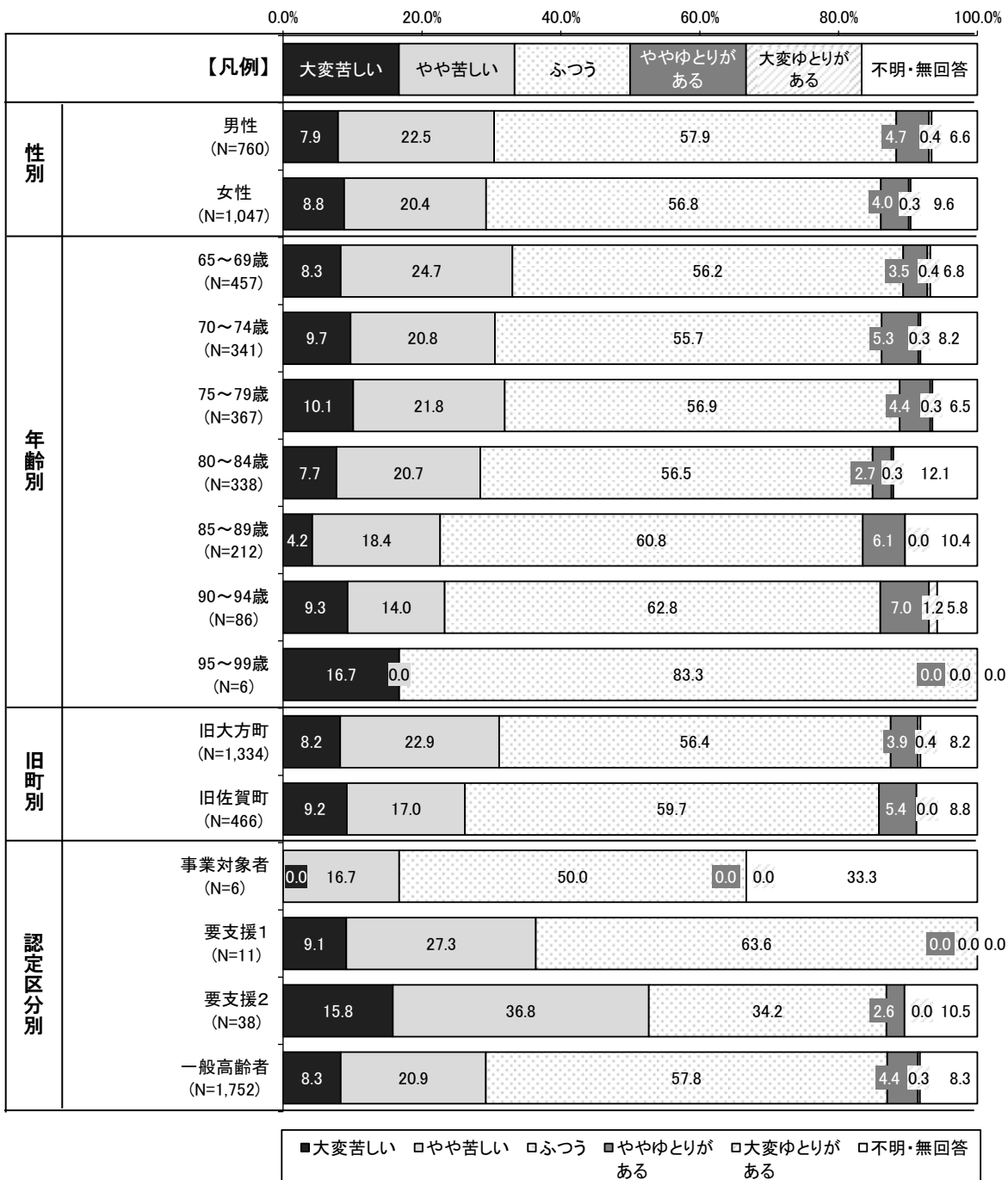
■ 問1-3 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別では、同じ傾向を示しています。

年齢別にみると、「65～79歳」において『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が30.0%以上となっている一方、「80歳以上」では30.0%未満となっています。

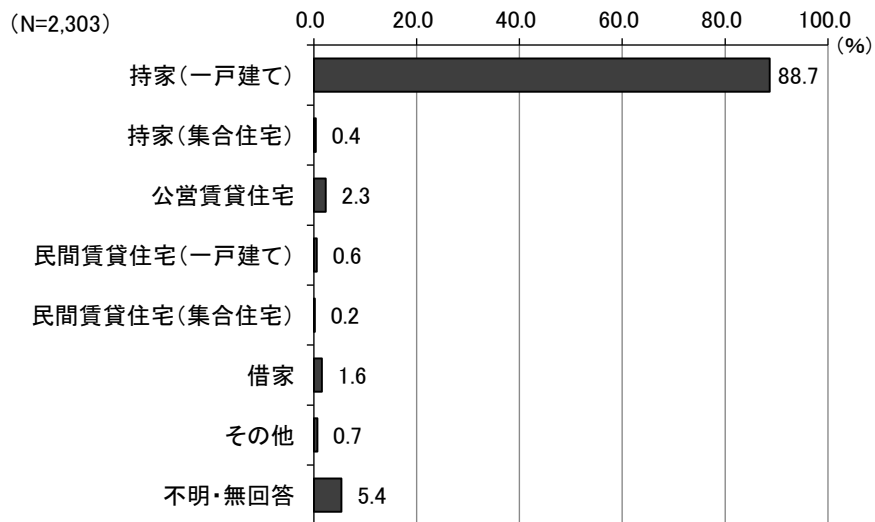
旧町別にみると、「旧大方町」において『苦しい』が31.1%と「旧佐賀町」より4.9ポイント高くなっています。

認定区分別にみると、「要支援2」において『苦しい』が52.6%と半数以上となっています。



問1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

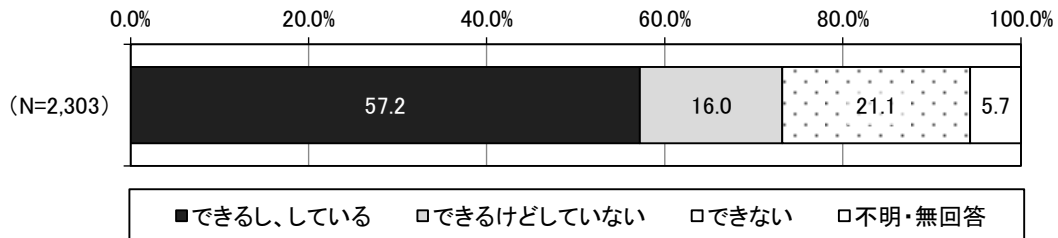
お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらかについてみると、「持家(一戸建て)」が88.7%と9割弱を占めており、次いで「公営賃貸住宅」が2.3%、「借家」が1.6%となっています(不明・無回答を除く)。



2. からだを動かすことについておたずねします

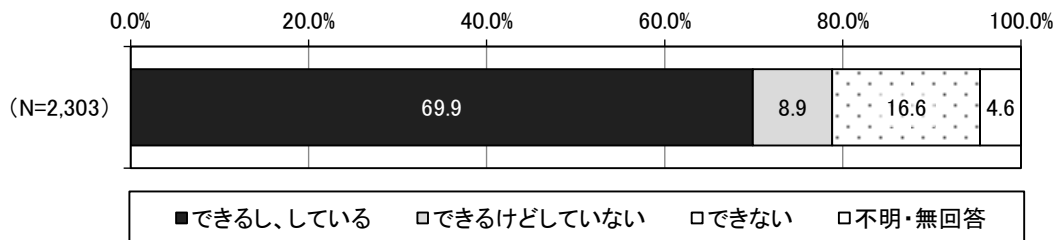
問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについてみると、「できるし、している」が57.2%と最も高く、次いで「できない」が21.1%、「できるけどしていない」が16.0%となっています。



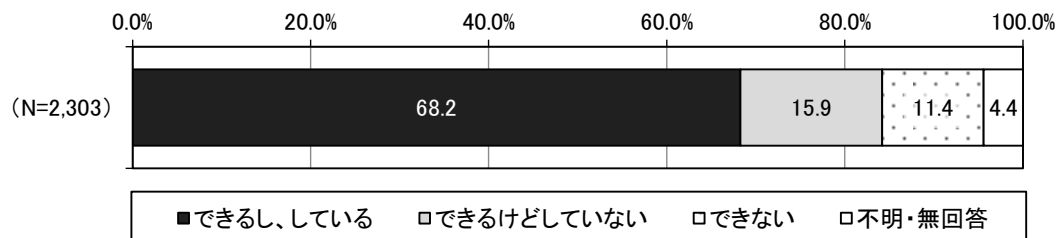
問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が69.9%と最も高く、次いで「できない」が16.6%、「できるけどしていない」が8.9%となっています。



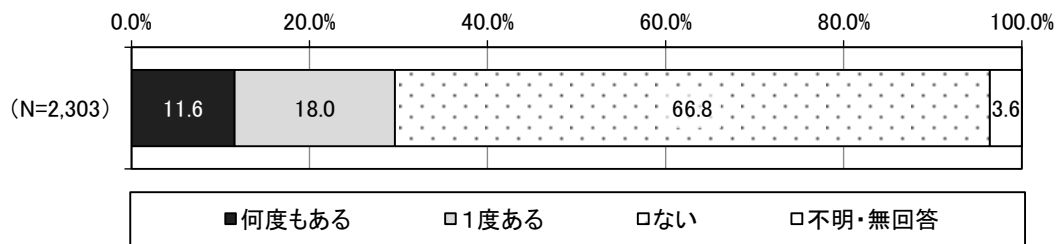
問2-3 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が68.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.9%、「できない」が11.4%となっています。



問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

過去1年間に転んだ経験があるかについてみると、「ない」が66.8%と最も高く、次いで「1度ある」が18.0%、「何度もある」が11.6%となっています。



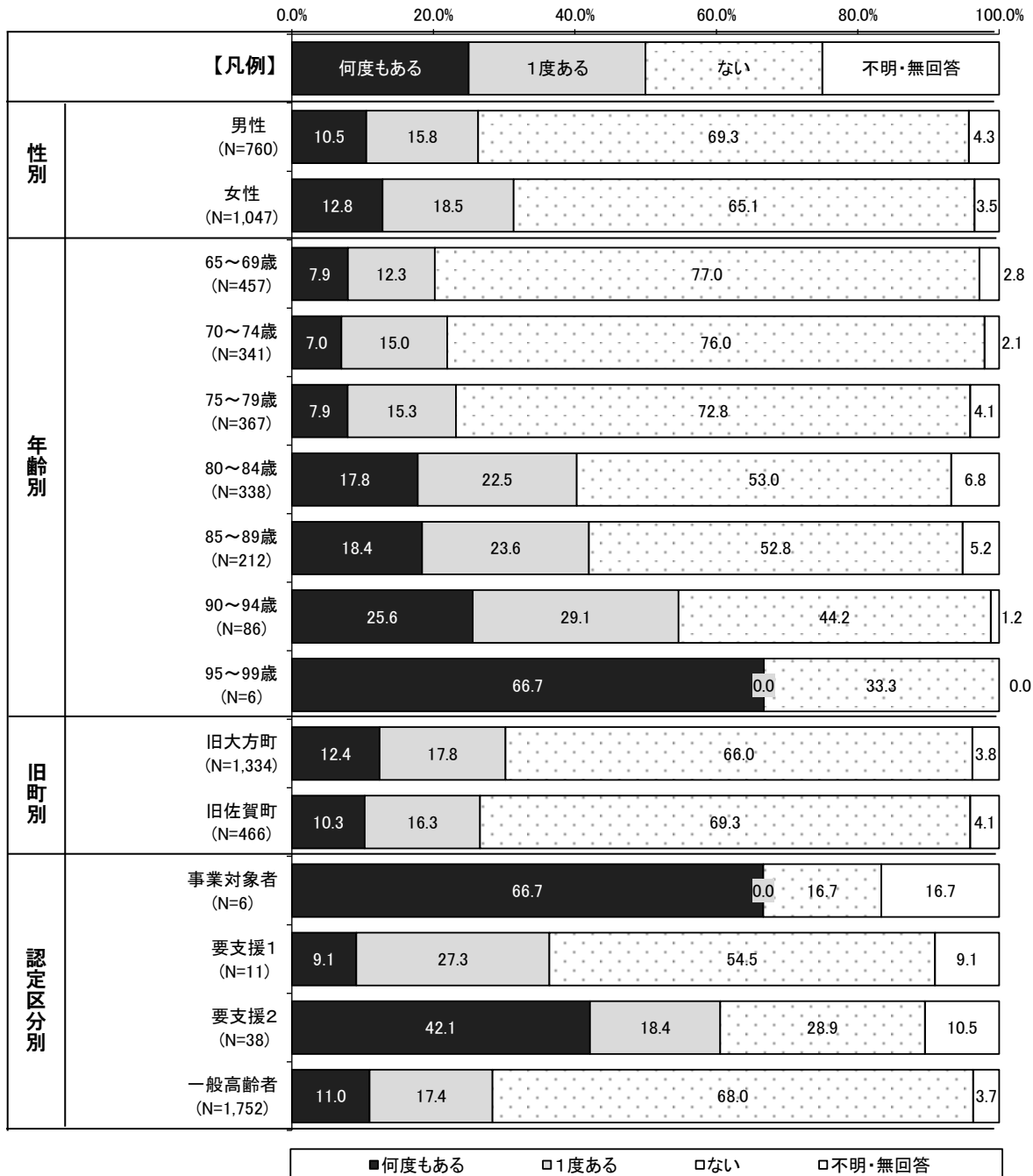
■問2-4 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別では、同じ傾向を示しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『何度もある』の割合が高くなっています。

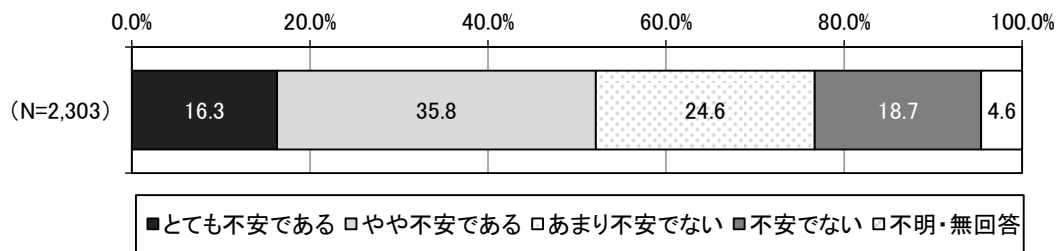
旧町別では、同じ傾向を示しています。

認定区分別にみると、「事業対象者」において『何度もある』が66.7%（4名）、「要支援2」において42.1%となっています。



問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

転倒に対する不安は大きいかについてみると、「やや不安である」が35.8%ともっとも高く、次いで「あまり不安でない」が24.6%、「不安でない」が18.7%となっています。



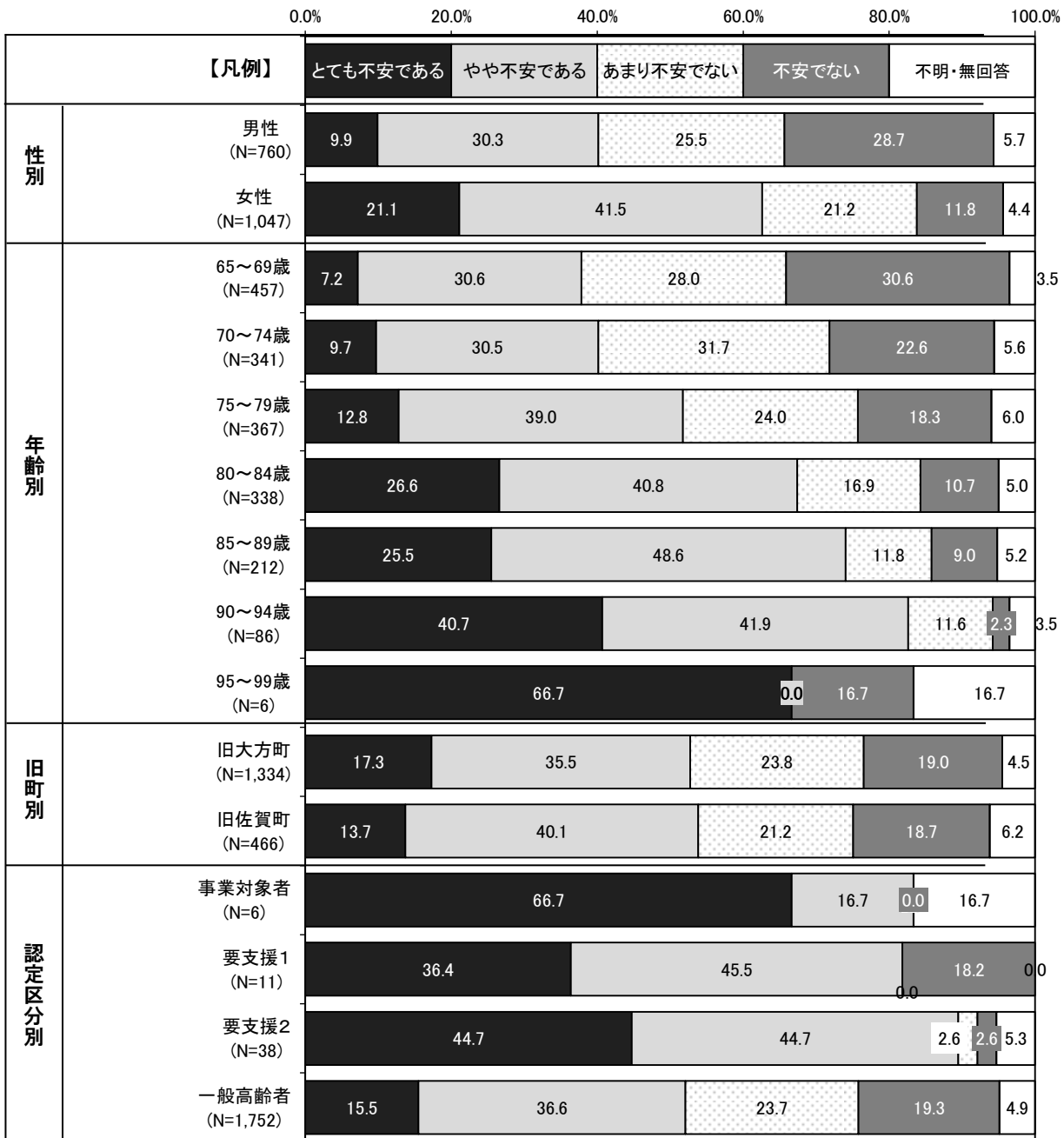
■問2-5 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別では、「男性」において『とても不安である+やや不安である』が40.2%、「女性」において62.6%となっており、22.4ポイントの差があります。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『とても不安である+やや不安である』の割合が高くなっています。

旧町別では、同じ傾向を示しています。

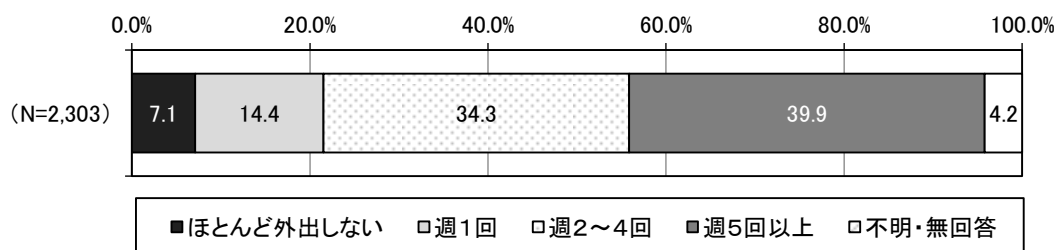
認定区分別にみると、「要支援1」において『とても不安である+やや不安である』が66.7%(4名)、「要支援2」において42.1%となっています。



■とても不安である □やや不安である □あまり不安でない ■不安でない □不明・無回答

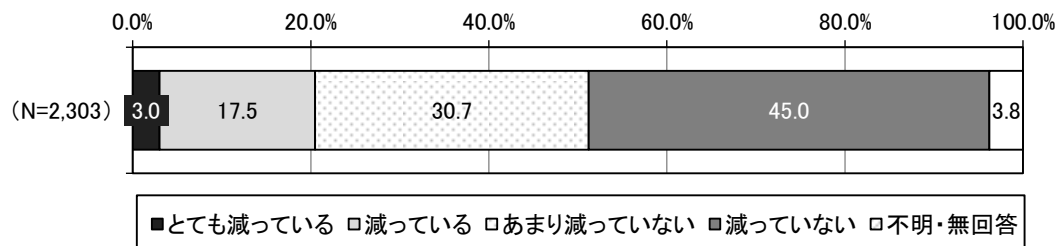
問2-6 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

週に1回以上は外出しているかについてみると、「週5回以上」が39.9%ともっとも高く、次いで「週2～4回」が34.3%、「週1回」が14.4%となっています。



問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについてみると、「減っていない」が45.0%ともっとも高く、次いで「あまり減っていない」が30.7%、「減っている」が17.5%となっています。



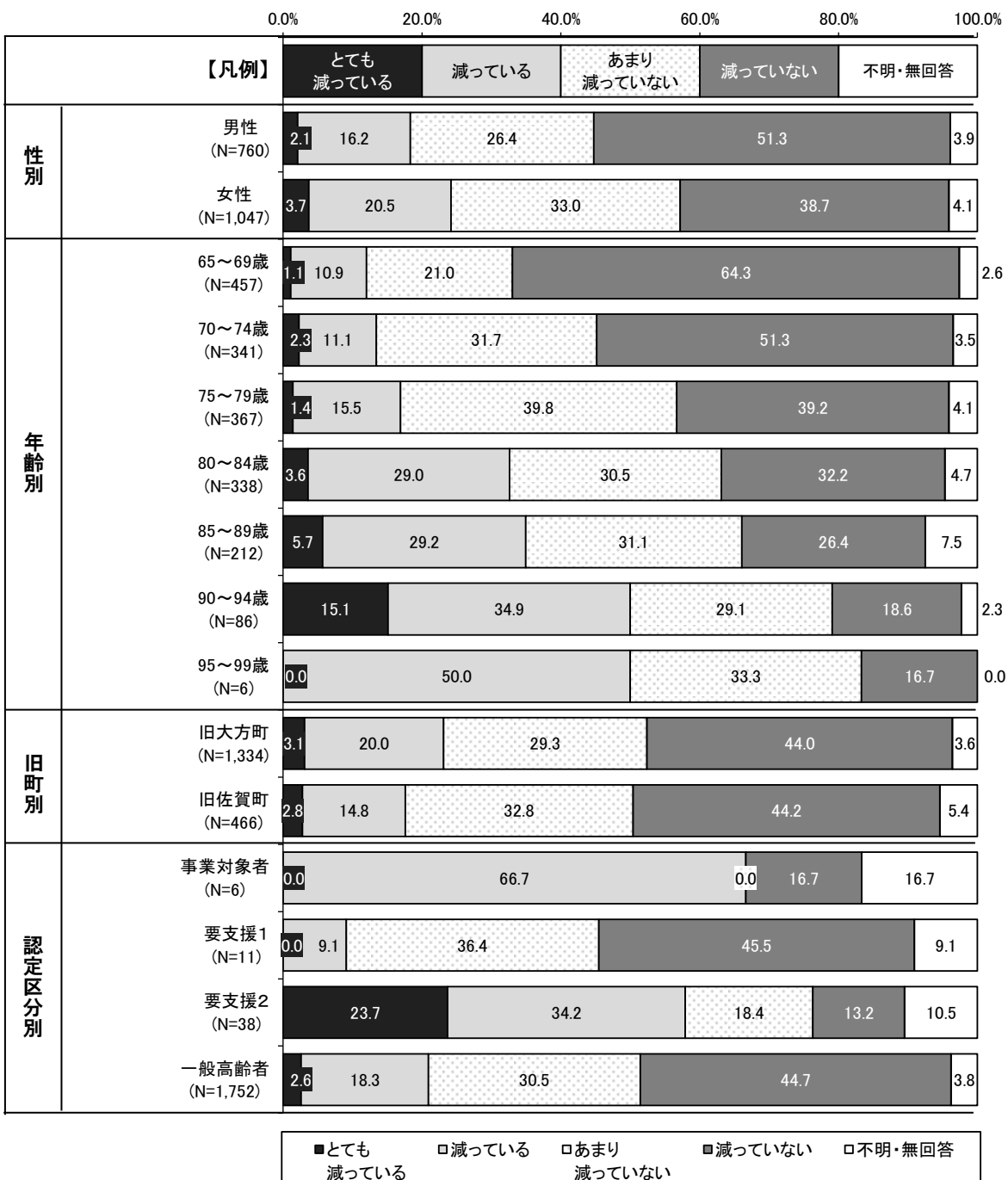
■問2-7 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別にみると、「女性」において『とても減っている+減っている』が24.2%と「男性」より5.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『とても減っている+減っている』の割合が高くなっており、「90歳以上」では50.0%となっています。

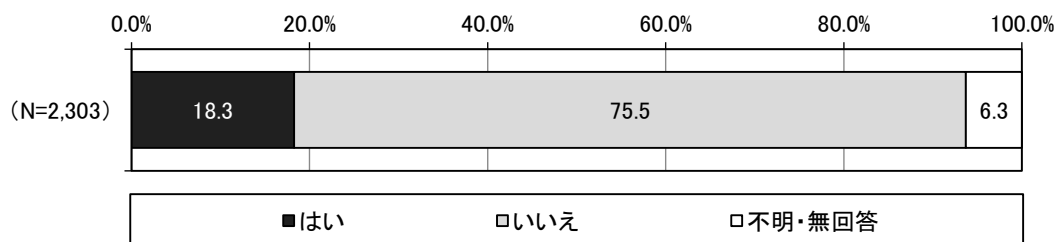
旧町別にみると、「旧大方町」において『とても減っている+減っている』が23.1%と「旧佐賀町」より5.5ポイント高くなっています。

認定区分別にみると、「事業対象者」において『とても減っている+減っている』が66.7%（4名）、「要支援2」において57.9%と半数以上となっています。



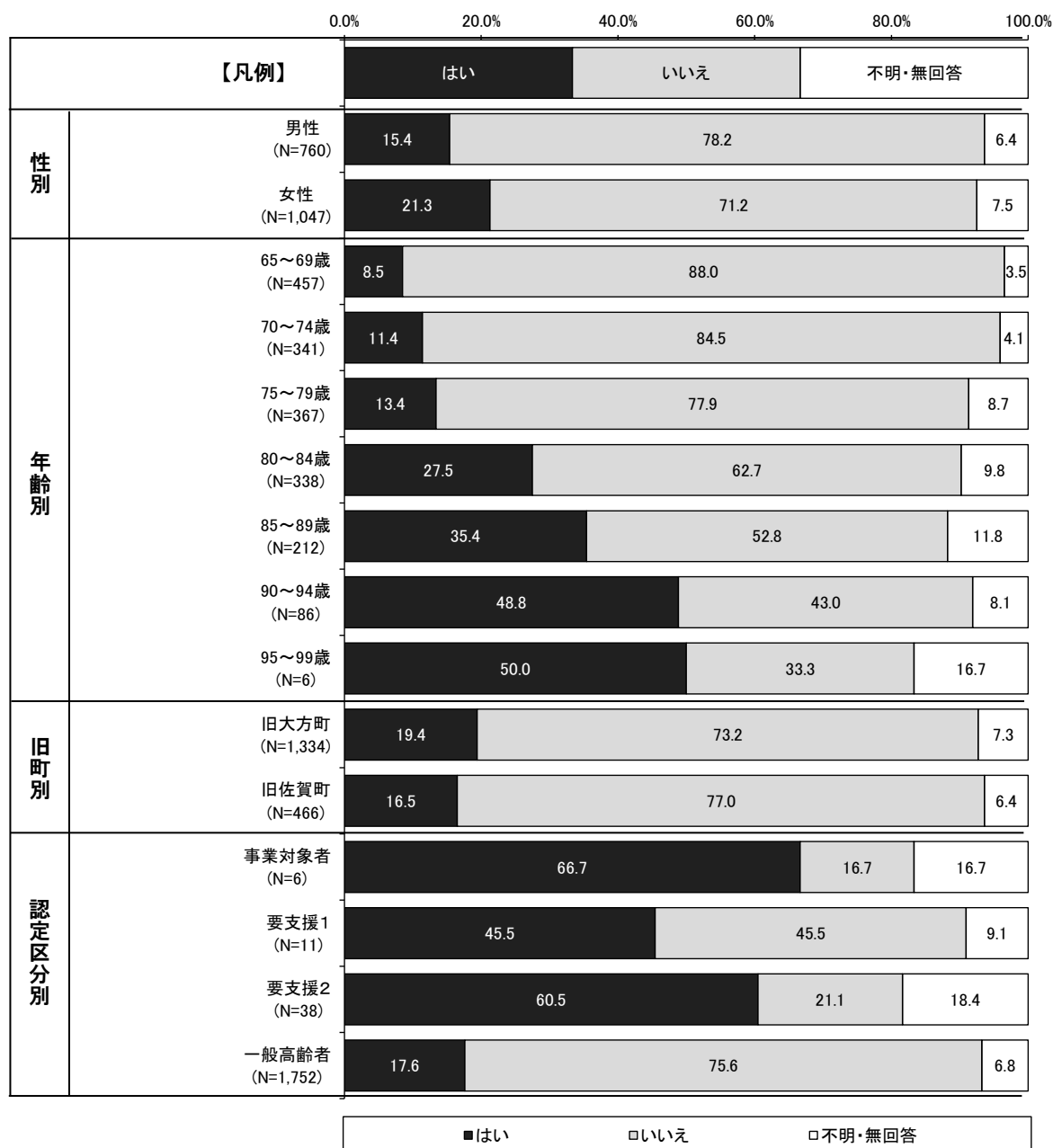
問2-8 外出を控えていますか。(1つに○)

外出を控えているかについてみると、「いいえ」が75.5%、「はい」が18.3%となっています。



問2-8 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

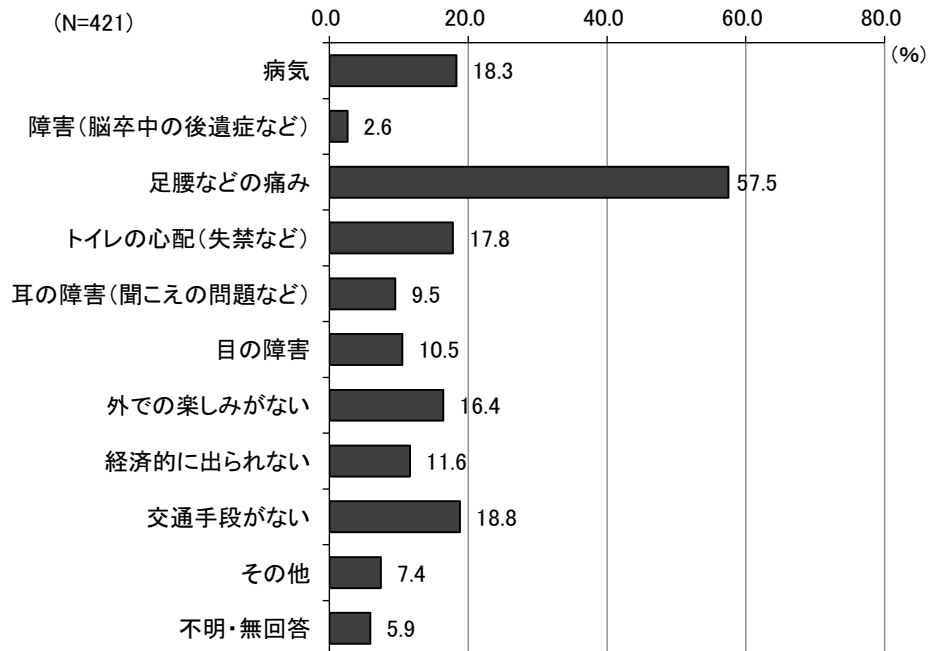
性別にみると、「女性」において『はい』が21.3%と「男性」より5.9ポイント高くなっています。年齢が上がるにつれ『はい』の割合が高くなっています。



【問2-8において「1」（外出を控えている）を選択した方のみ】

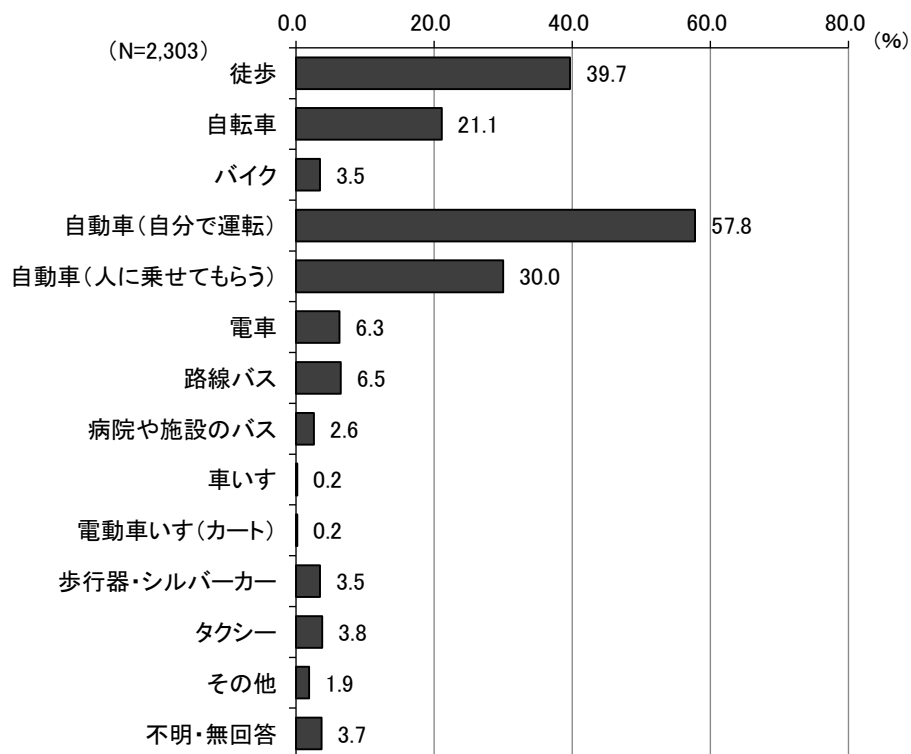
問2-8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（〇はいくつでも）

外出を控えている理由についてみると、「足腰などの痛み」が57.5%と最も高く、次いで「交通手段がない」が18.8%、「病気」が18.3%となっています。



問2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段についてみると、「自動車（自分で運転）」が57.8%ともっとも高く、次いで「徒歩」が39.7%、「自動車（人に乗せてもらう）」が30.0%となっています。



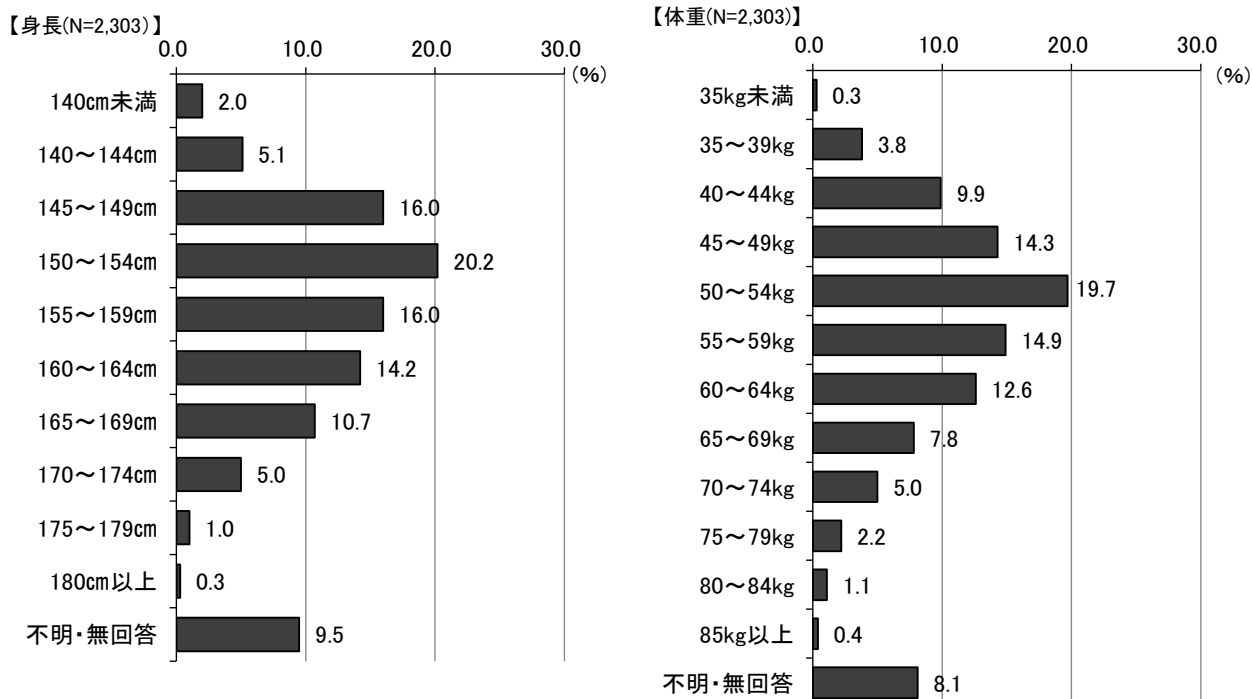
3. 食べることについておたずねします

問3-1 あなたの身長・体重はいくつですか。(枠内に数字を記入)

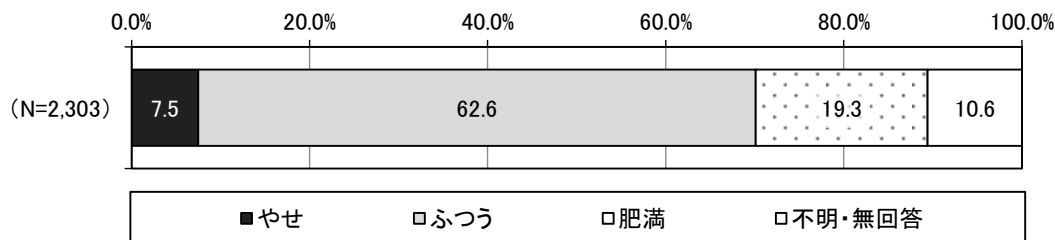
身長・体重についてみると、身長においては「150～154 cm」が 20.2%ともっとも高く、次いで「145～149 cm」「155～159 cm」がともに 16.0%となっています。

体重においては、「50～54kg」が 19.7%ともっとも高く、次いで「55～59kg」が 14.7%、「45～49kg」が 14.3%となっています。

また、身長・体重から算出した BMI 値についてみると、「ふつう」が 62.6%ともっとも高く、次いで「肥満」が 19.3%、「やせ」が 7.5%となっています。

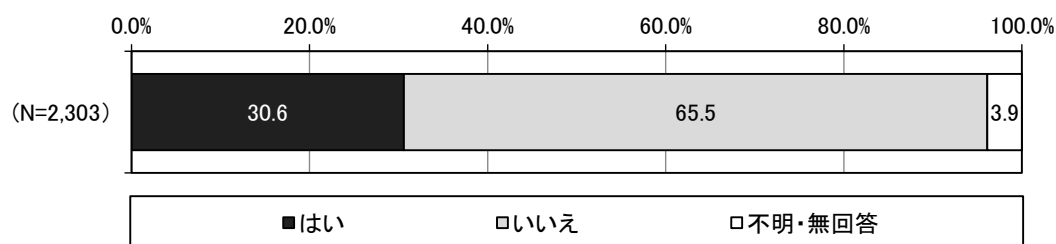


◎BMI (身長・体重から算出)



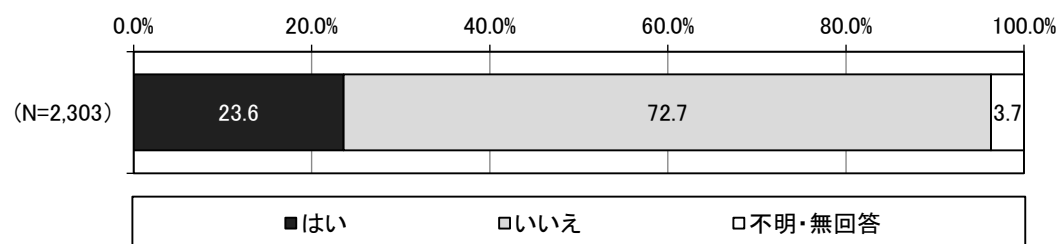
問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「いいえ」が65.5%、「はい」が30.6%となっています。



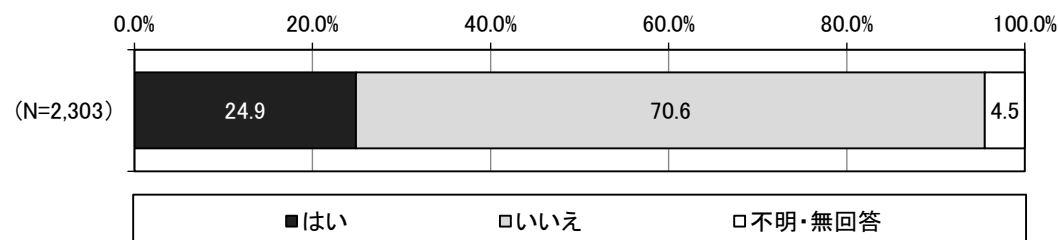
問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

お茶や汁物等でむせることがあるかについてみると、「いいえ」が72.7%、「はい」が23.6%となっています。



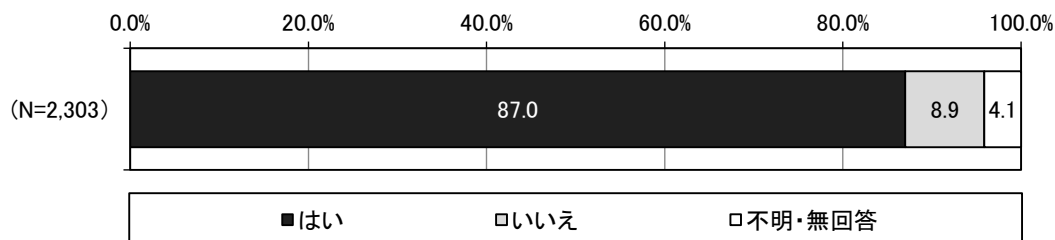
問3-4 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

口の渇きが気になるかについてみると、「いいえ」が68.7%、「はい」が27.0%となっています。



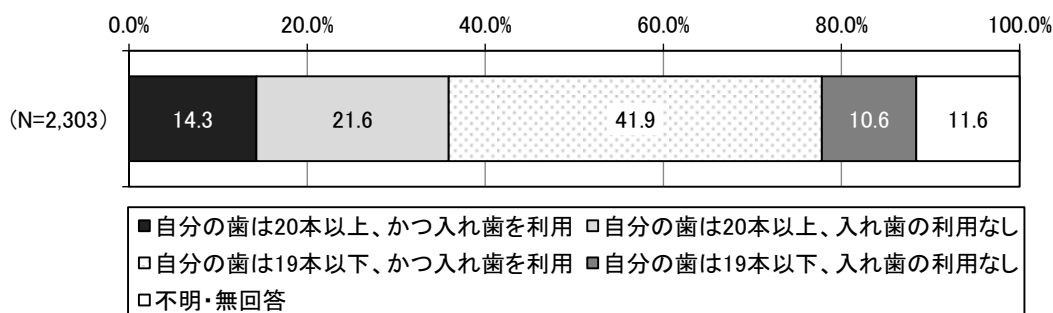
問3-5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つに○）

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかについてみると、「はい」が87.0%、「いいえ」が8.9%となっています。



問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（1つに○）

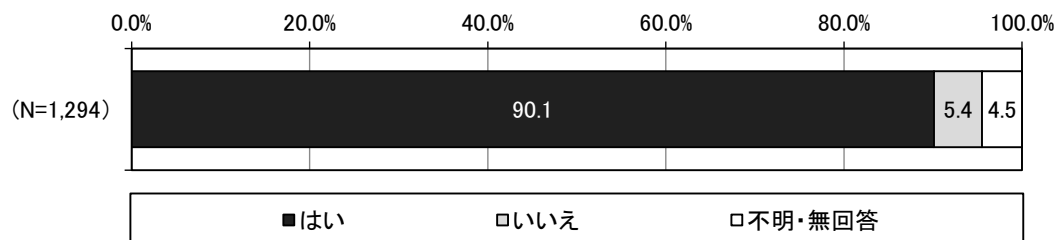
歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.9%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が21.6%となっています。



【問3-6において「1」または「3」（入れ歯を利用）を選択した方のみ】

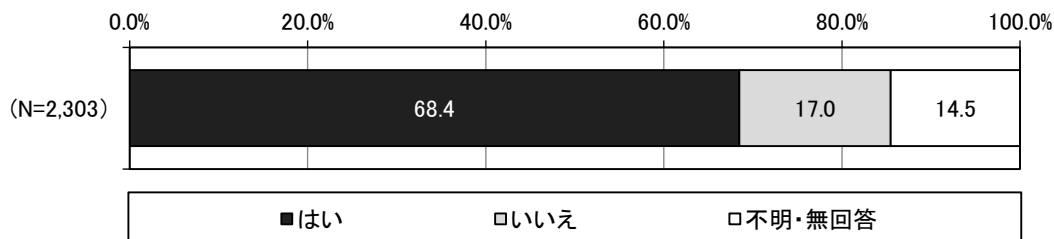
問3-6-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（1つに○）

毎日入れ歯の手入れをしているかについてみると、「はい」が90.1%、「いいえ」が5.4%となっています。



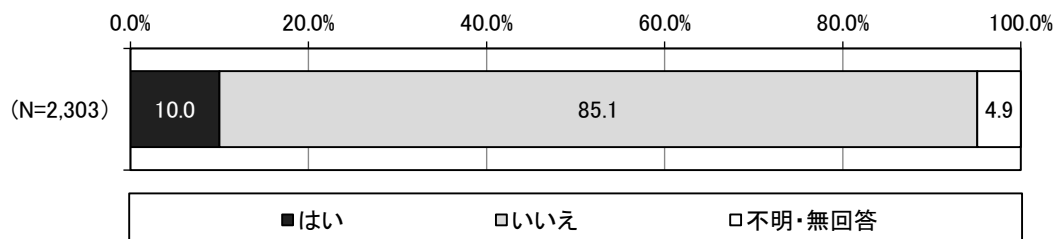
問3-7 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

噛み合わせは良いかどうかについてみると、「はい」が68.4%、「いいえ」が17.0%となっています。



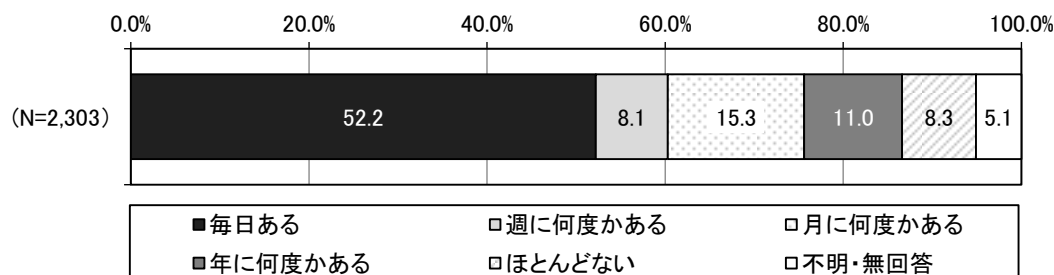
問3-8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについてみると、「いいえ」が85.1%、「はい」が10.0%となっています。



問3-9 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

どなたかと食事をとる機会はあるかについてみると、「毎日ある」が52.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」が15.3%、「年に何度かある」が11.0%となっています。



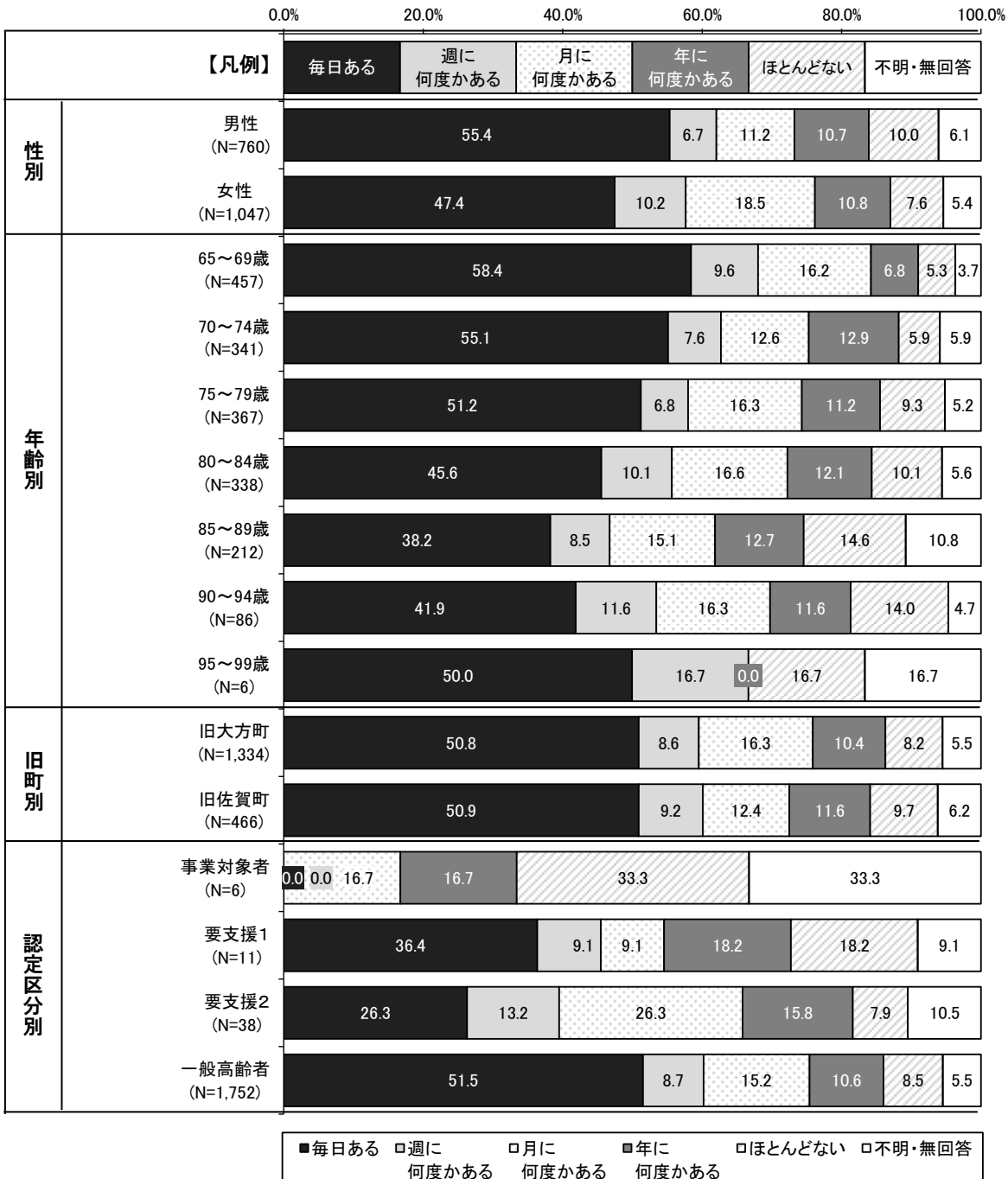
■問3-9 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別にみると、「男性」において『毎日ある』が55.4%と半数以上である一方、「女性」では47.4%と半数以下となっています。

年齢別にみると、「80～94歳」において『毎日ある』が50.0%未満となっています。

旧町別では、同じ傾向を示しています。

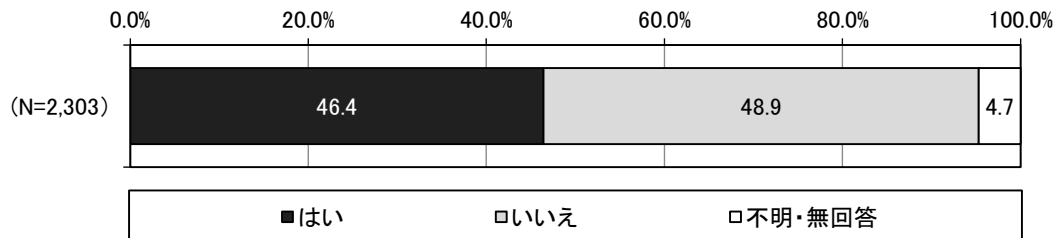
認定区分別にみると、「一般高齢者」を除いては『毎日ある』が50.0%未満となっています。



4. 毎日の生活についておたずねします

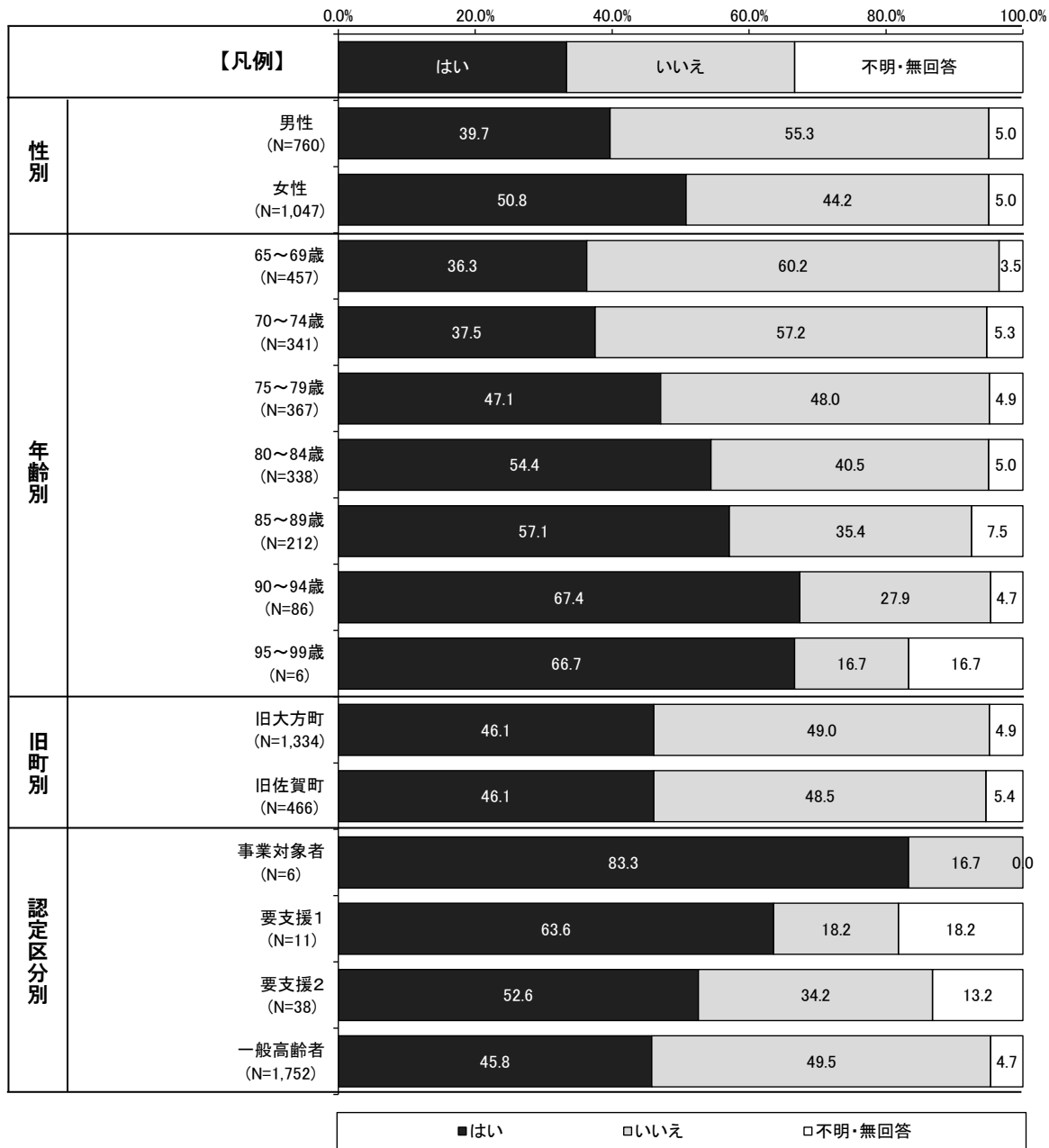
問4-1 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

物忘れが多いと感じるかについてみると、「いいえ」が48.9%、「はい」が46.4%となっています。



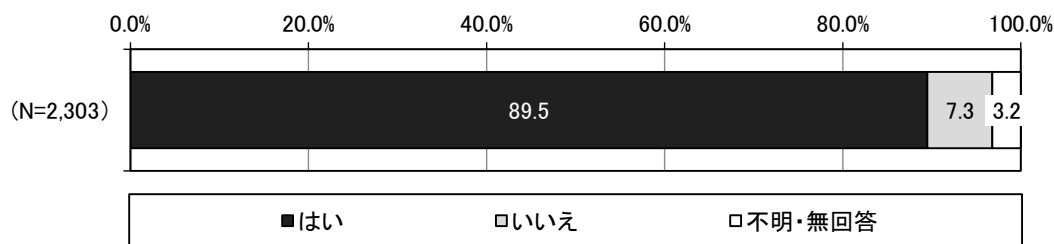
■問3-9 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別にみると、「女性」において『はい』が50.8%と「男性」より11.1ポイント高くなっています。
 年齢別にみると、「80歳以上(80～84歳+85～89歳+90～94歳+95～99歳)」では、『はい』の割合が半数を超えています。



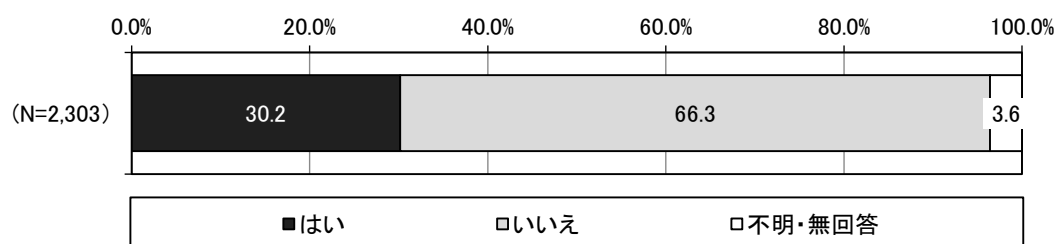
問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについてみると、「はい」が89.5%、「いいえ」が7.3%となっています。



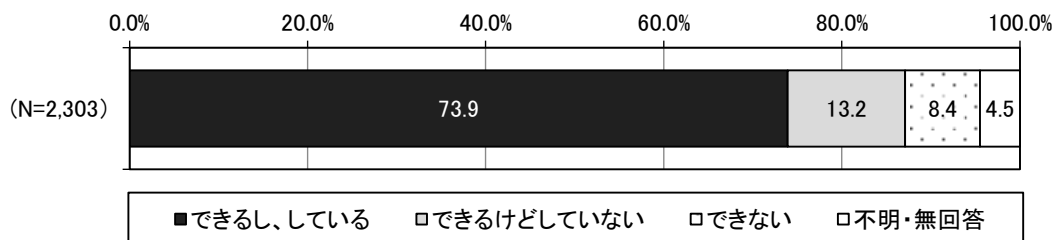
問4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)

今日が何月何日かわからない時があるかについてみると、「いいえ」が66.3%、「はい」が30.2%となっています。



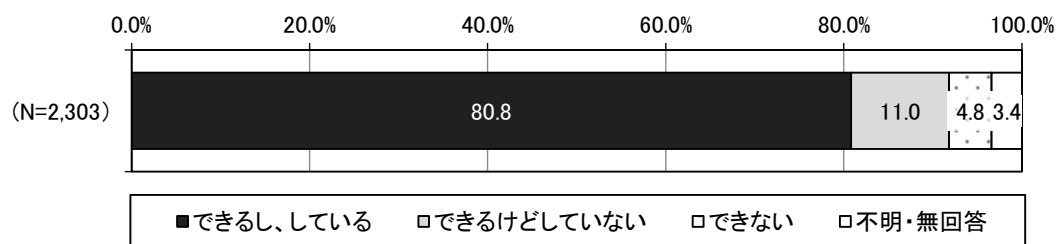
問4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)

バスや電車を使って1人で外出しているかについてみると、「できるし、している」が73.9%ともっとも高く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が8.4%となっています。



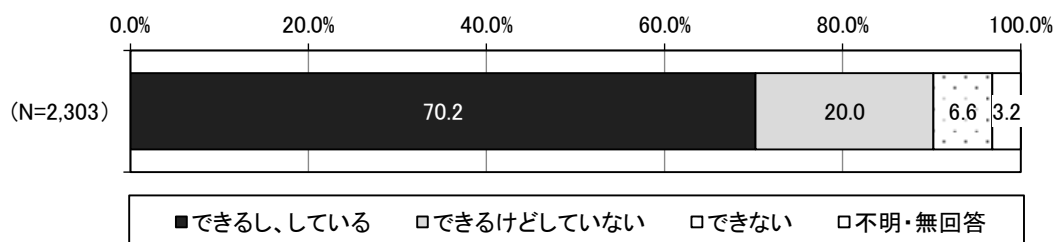
問4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

自分で食品・日用品の買物をしているかについてみると、「できるし、している」が80.8%ともっとも高く、次いで「できるけどしていない」が11.0%、「できない」が4.8%となっています。



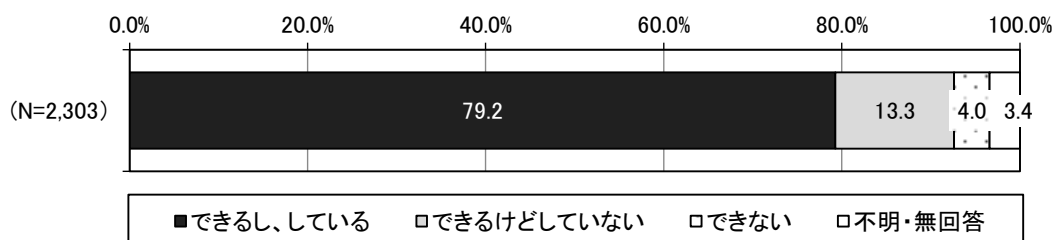
問4-6 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

自分で食事の用意をしているかについてみると、「できるし、している」が70.2%ともっとも高く、次いで「できるけどしていない」が20.0%、「できない」が6.6%となっています。



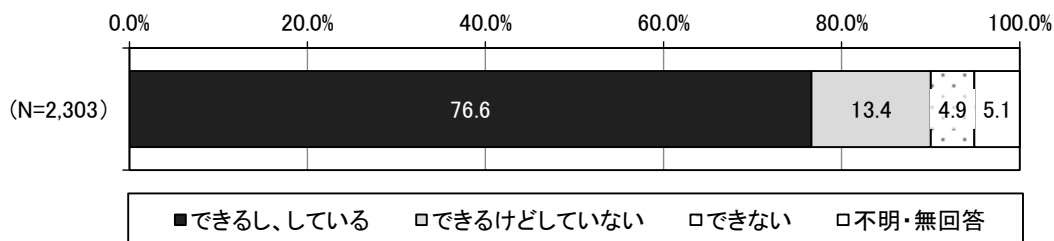
問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、「できるし、している」が79.2%ともっとも高く、次いで「できるけどしていない」が13.3%、「できない」が4.0%となっています。



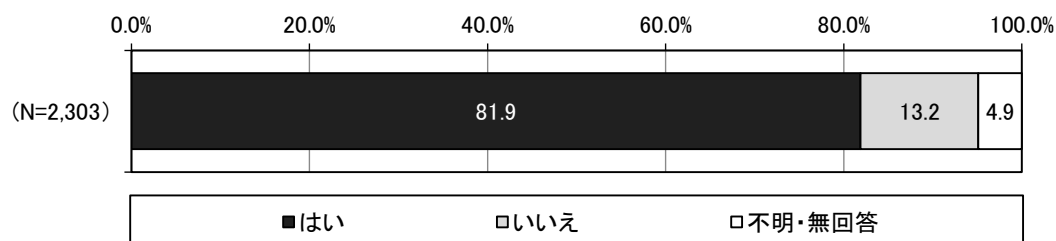
問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、「できるし、している」が76.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が4.9%となっています（不明・無回答を除く）。



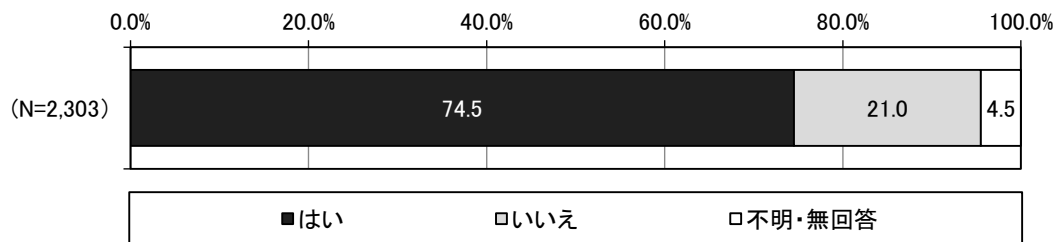
問4-9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(1つに○)

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについてみると、「はい」が81.9%、「いいえ」が13.2%となっています。



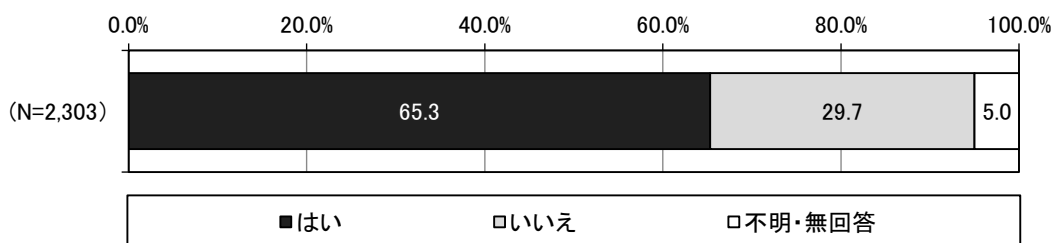
問4-10 新聞を読んでいますか。(1つに○)

新聞を読んでいるかについてみると、「はい」が74.5%、「いいえ」が21.0%となっています。



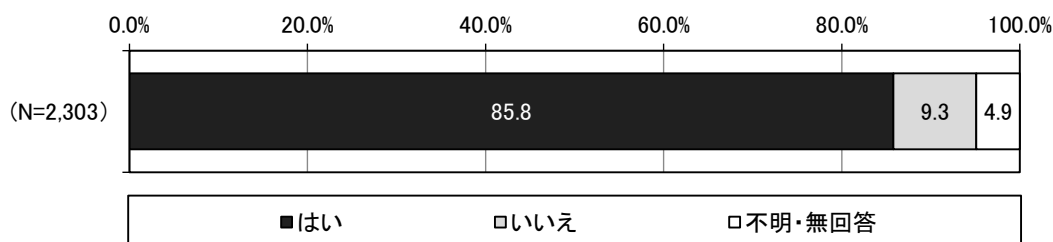
問4-11 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

本や雑誌を読んでいるかについてみると、「はい」が65.3%、「いいえ」が29.7%となっています。



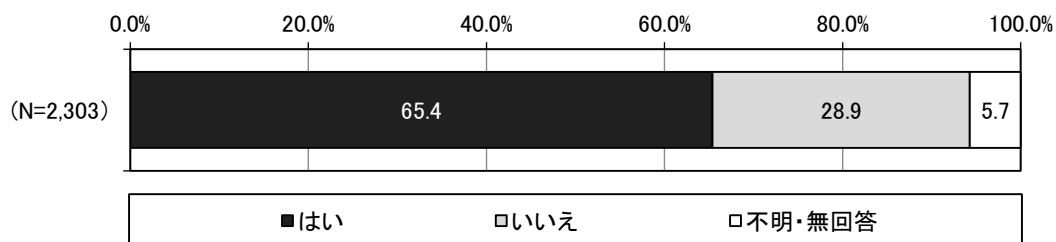
問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

健康についての記事や番組に関心があるかについてみると、「はい」が85.8%、「いいえ」が9.3%となっています。



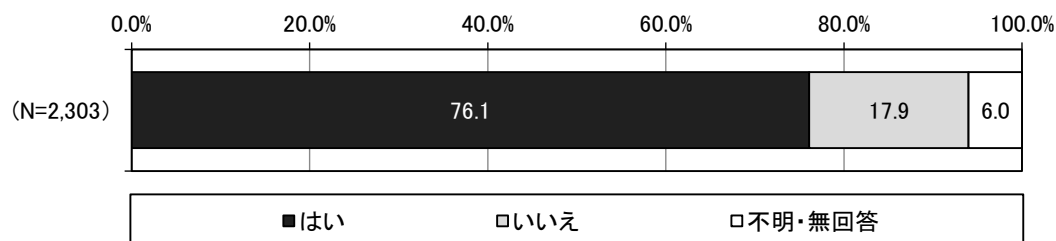
問4-13 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

友人の家を訪ねているかについてみると、「はい」が65.4%、「いいえ」が28.9%となっています。



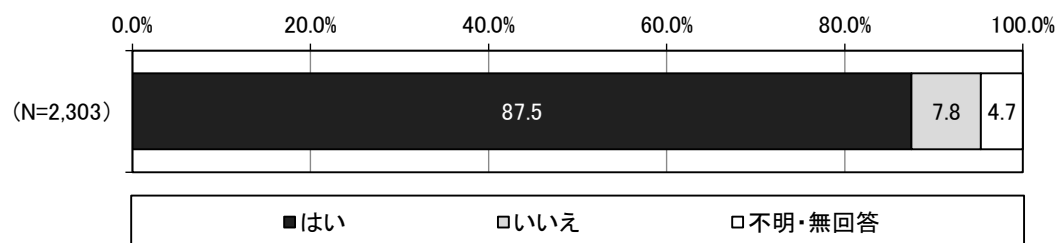
問4-14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)

家族や友人の相談にのっているかについてみると、「はい」が76.1%、「いいえ」が17.9%となっています。



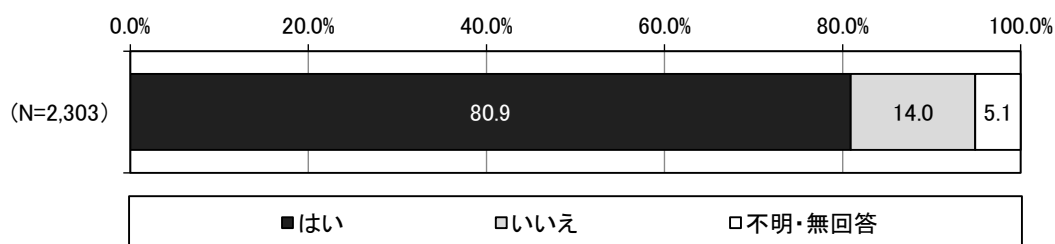
問4-15 病人を見舞うことができますか。(1つに○)

病人を見舞うことができるかについてみると、「はい」が87.5%、「いいえ」が7.8%となっています。



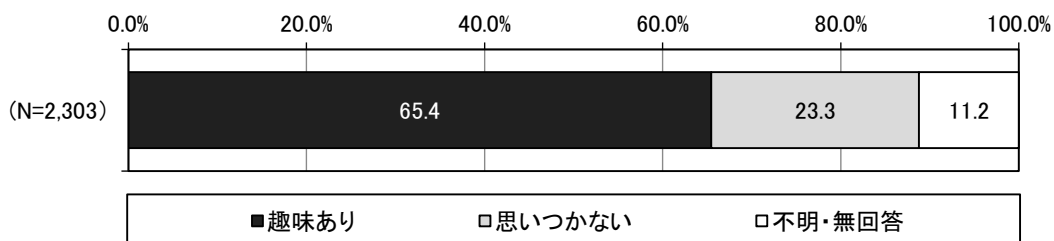
問4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)

若い人に自分から話しかけることがあるかについてみると、「はい」が80.9%、「いいえ」が14.0%となっています。



問4-17 趣味はありますか。ある場合はその内容もお書きください。(1つに○)

趣味があるかについてみると、「趣味あり」が65.4%、「思いつかない」が23.3%となっています。



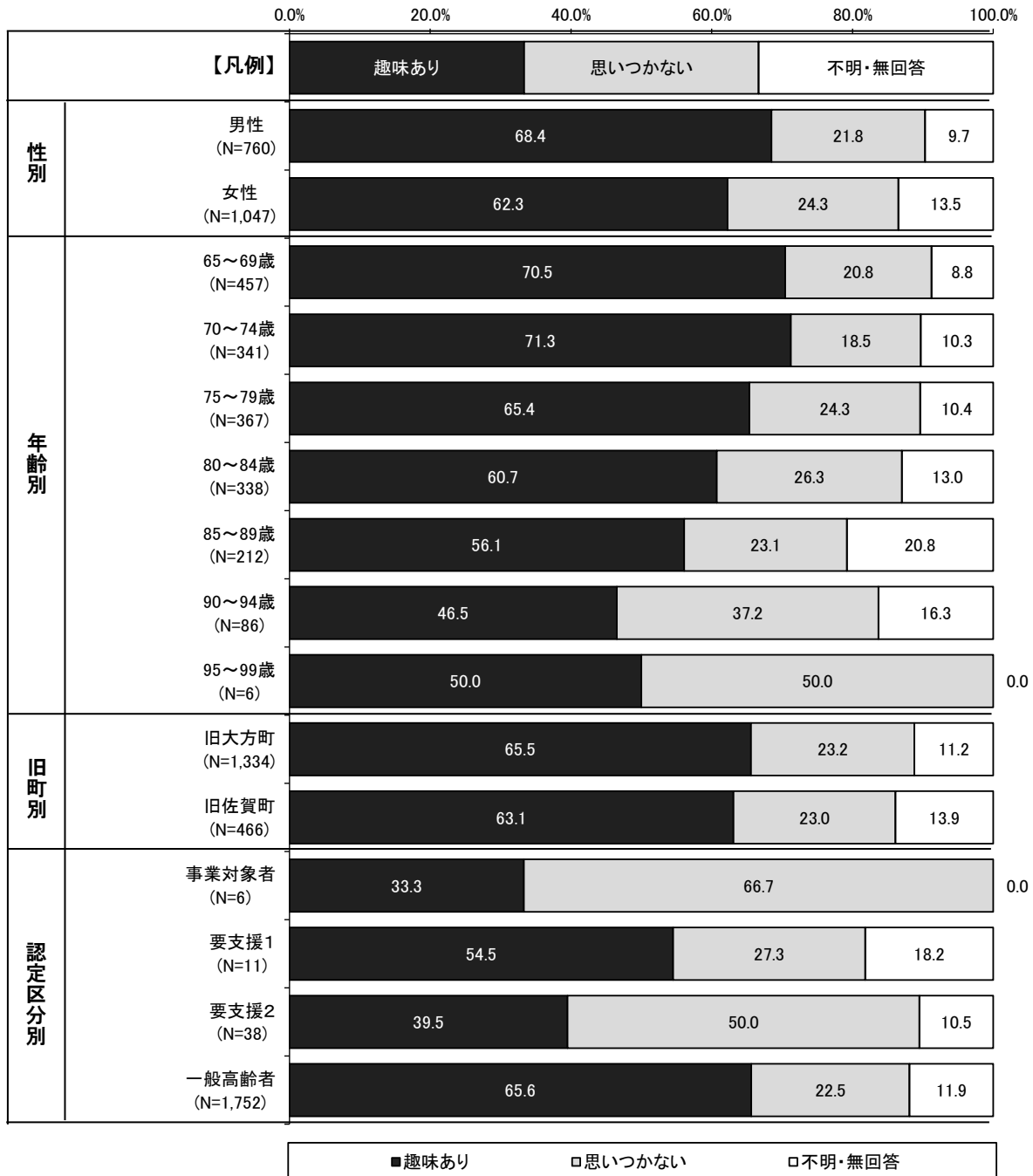
■問4-17 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別では、同じ傾向を示しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『思いつかない』の割合が高くなる傾向があります。

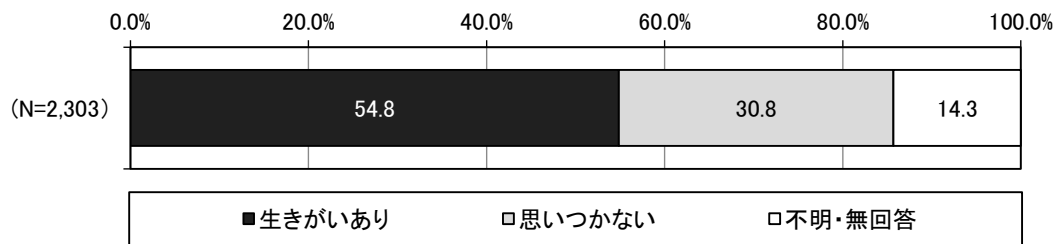
旧町別では、同じ傾向を示しています。

認定区分別にみると、「事業対象者」「要支援2」において『思いつかない』が50.0%以上となっています。



問4-18 生きがいがありますか。ある場合はその内容もお書きください。(1つに○)

生きがいがあるかについてみると、「生きがいあり」が54.8%、「思いつかない」が30.8%となっています。



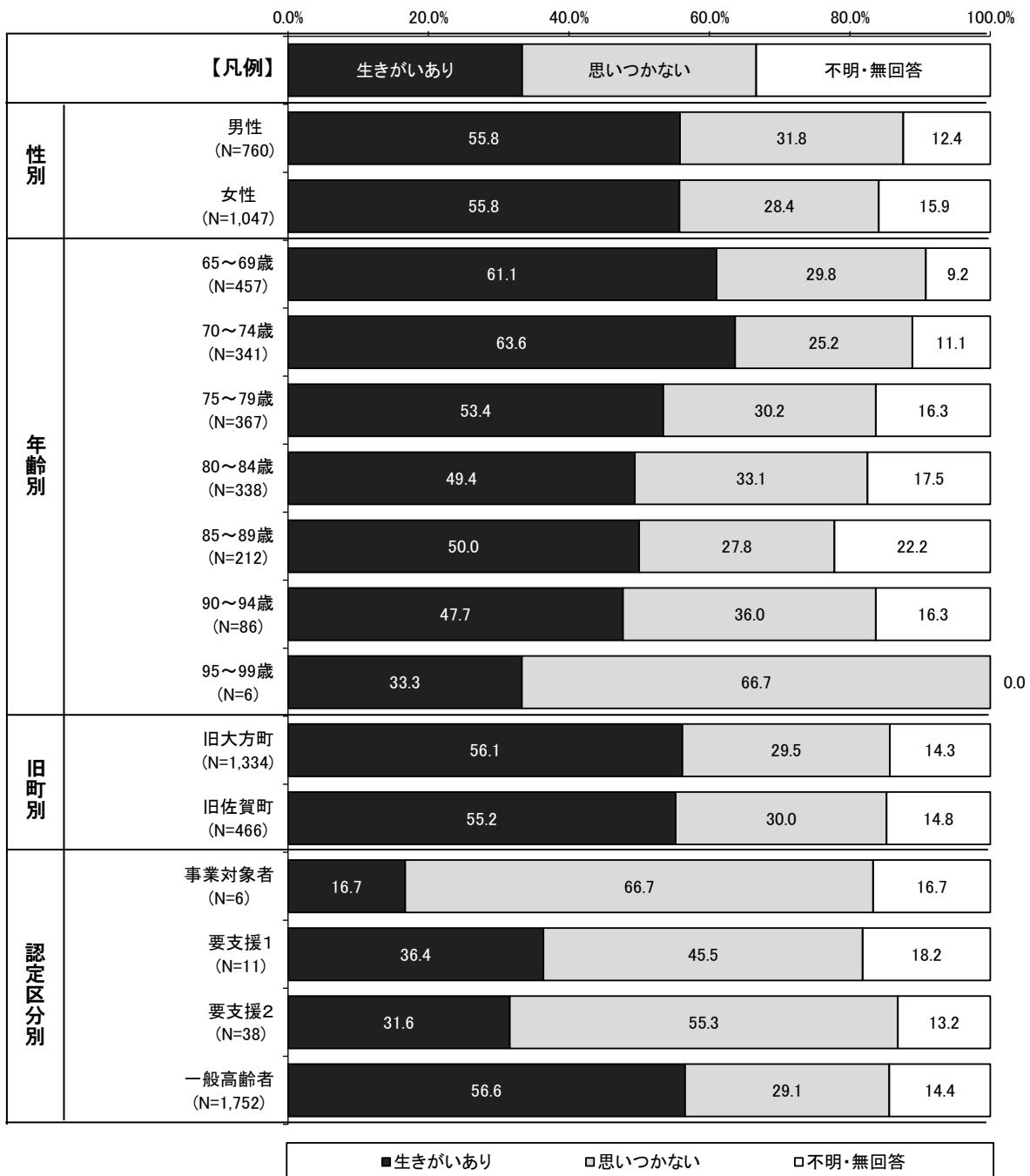
■問4-18 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別では、同じ傾向を示しています。

年齢別にみると、「80～84歳」「90歳以上」において『生きがいあり』が50.0%未満となっています。

旧町別では、同じ傾向を示しています。

認定区分別にみると、「事業対象者」「要支援2」において『思いつかない』が50.0%以上となっています。



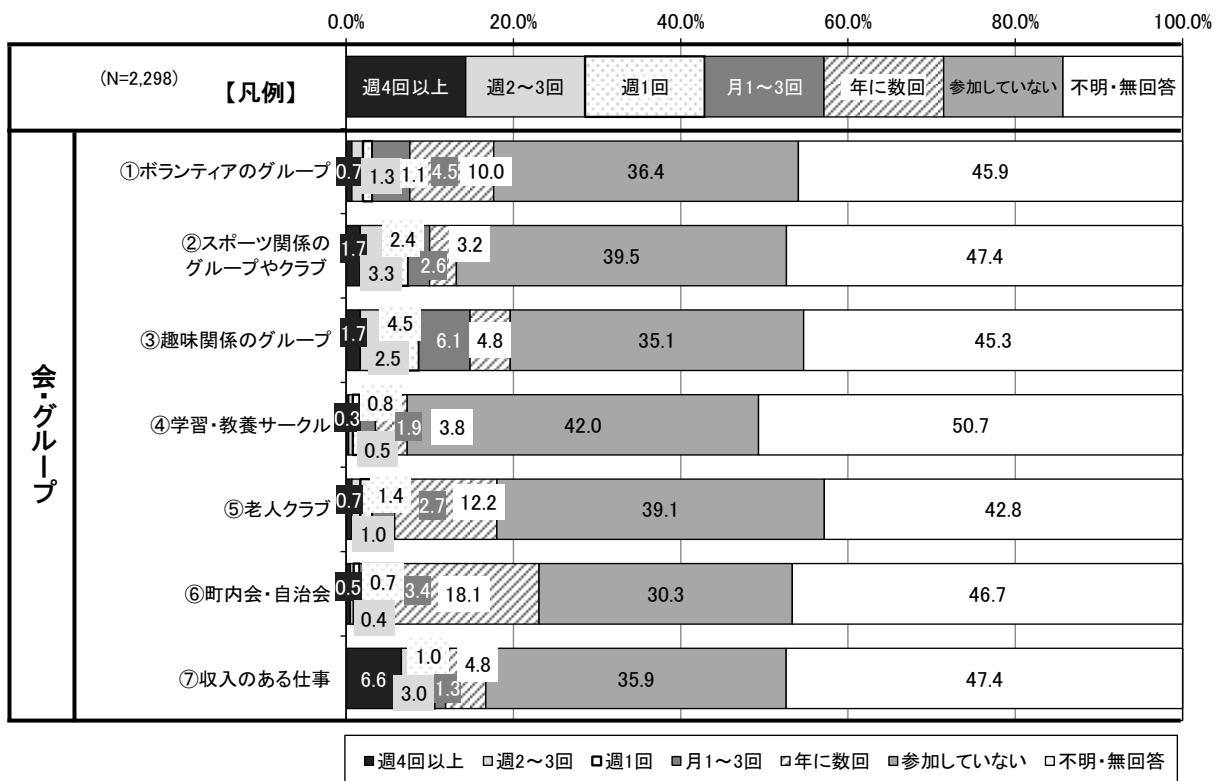
5. 地域での活動についておたずねします

問5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑦それぞれに回答してください。（それぞれ1つに○）

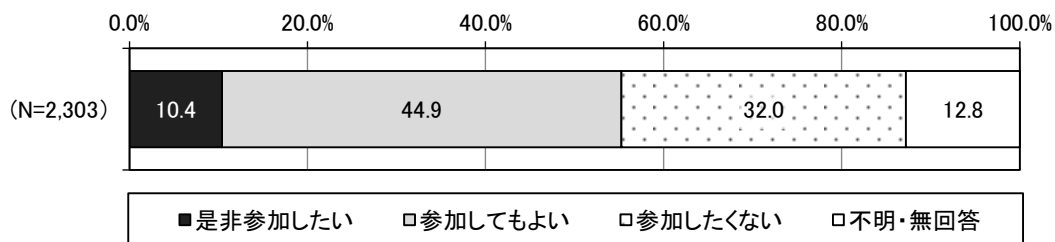
会・グループ等にどのくらいの頻度で参加しているかについてみると、いずれの会・グループも「参加していない」が3～4割ともっとも高くなっています（不明・無回答を除く）。

「4回以上」「週2～3回」では、『⑦収入のある仕事』がもっとも高く、「週1回」「月1～3回」では『③趣味関係のグループ』、「年に数回」では『⑥町内会・自治会』がそれぞれもっとも高くなっています。



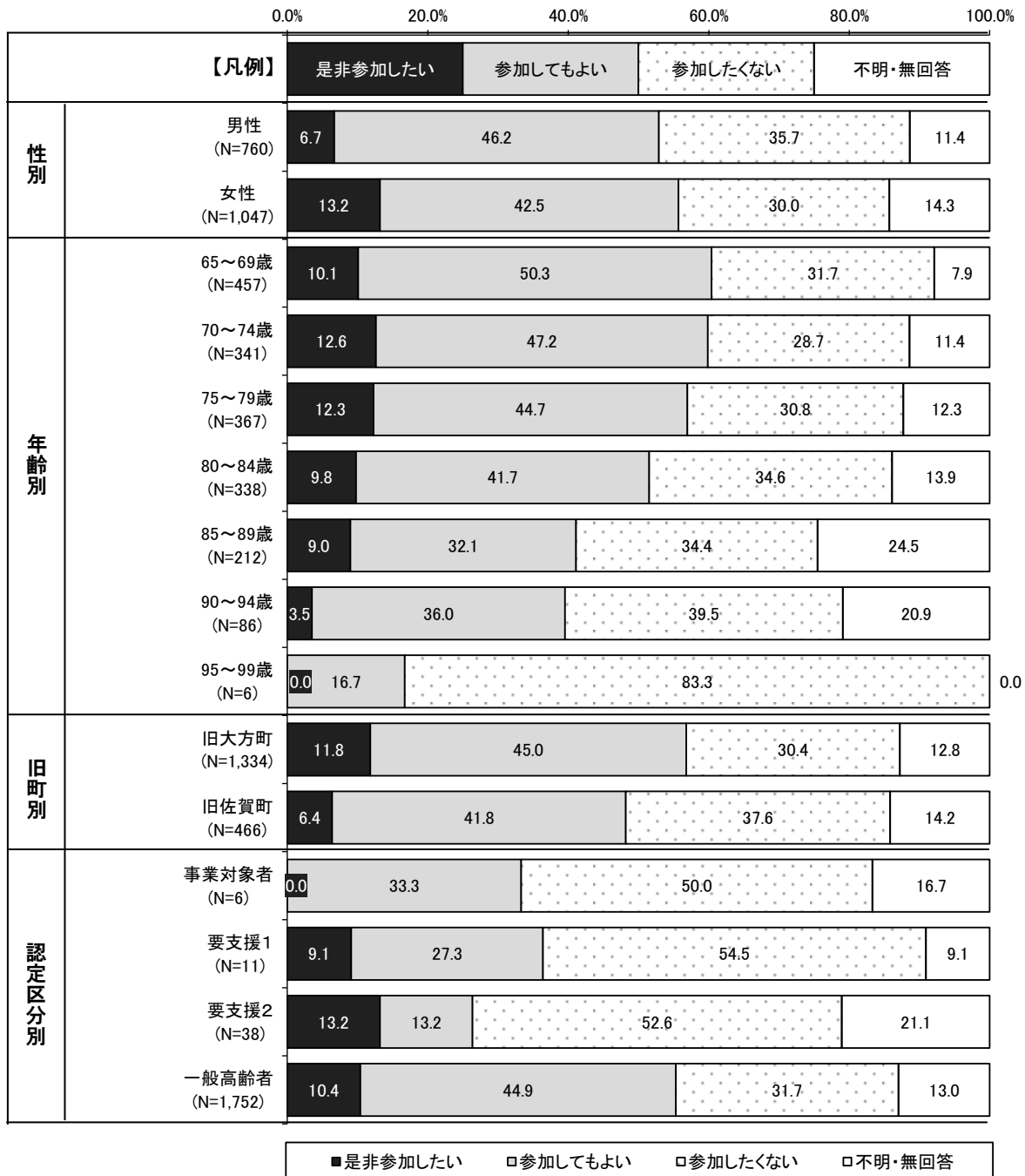
問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進める場合に、その活動に参加者として参加してみたいと思うかについてみると、「参加してもよい」が44.9%ともっとも高く、次いで「参加したくない」が32.0%、「是非参加したい」が10.4%となっています（不明・無回答を除く）。



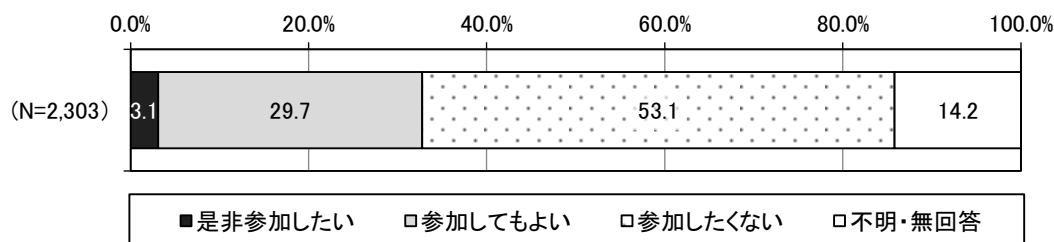
■問5-2 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別にみると、「女性」において『是非参加したい』が13.2%と「男性」の約2倍となっています。
 年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『参加したくない』の割合が高くなる傾向があります。
 旧町別にみると、「旧大方町」において『是非参加したい+参加してもよい』が56.8%と半数以上となっています。
 認定区分別にみると、「一般高齢者」を除いて『参加したくない』が50.0%以上となっています。



問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進める場合に、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかについてみると、「参加したくない」が53.1%ともっとも高く、次いで「参加してもよい」が29.7%、「是非参加したい」が3.1%となっています（不明・無回答を除く）。



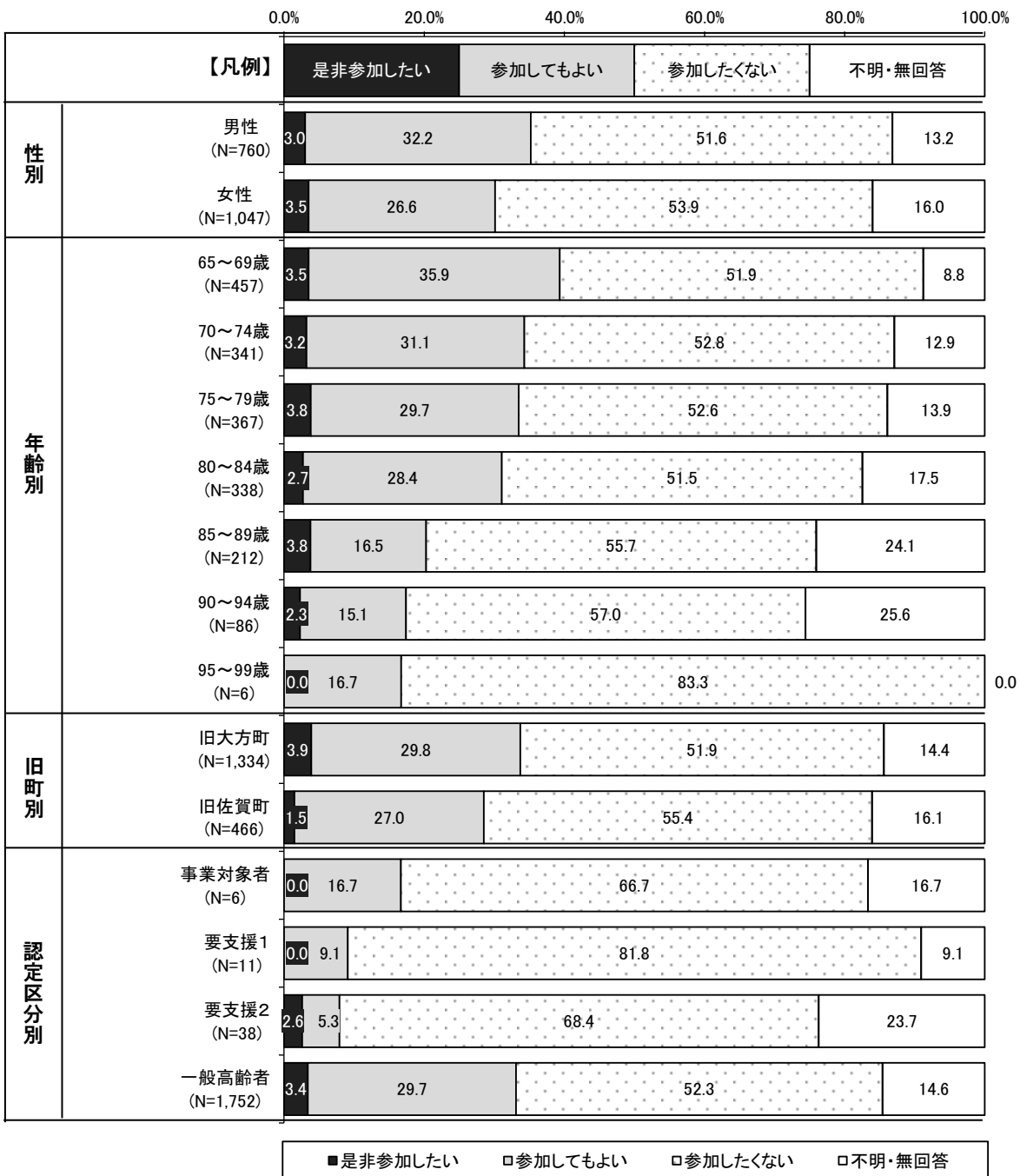
■問5-3 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別では、同じ傾向を示しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『是非参加したい+参加してもよい』の割合が低くなっています。

旧町別では、同じ傾向を示しています。

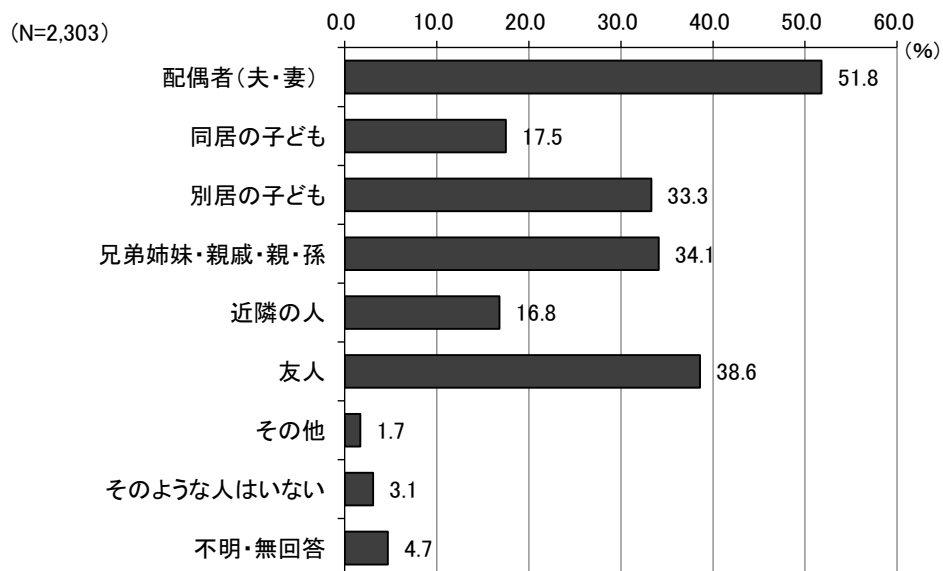
認定区分別にみると、「要支援1」「要支援2」において『是非参加したい+参加してもよい』が1割未満となっています。



6. たすけあいについておたずねします

問6-1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいるかについてみると、「配偶者(夫・妻)」が51.8%ともっとも高く、次いで「友人」が38.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.1%となっています。



■問6-1 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別にみると、「男性」では『配偶者』がもっとも高く、「女性」では『友人』がもっとも高くなっています。

年齢別では、「65～69歳」～「80～84歳」では、『配偶者』がもっとも高く、「85歳～89歳」「90歳～94歳」では『別居の子ども』がもっとも高くなっています。

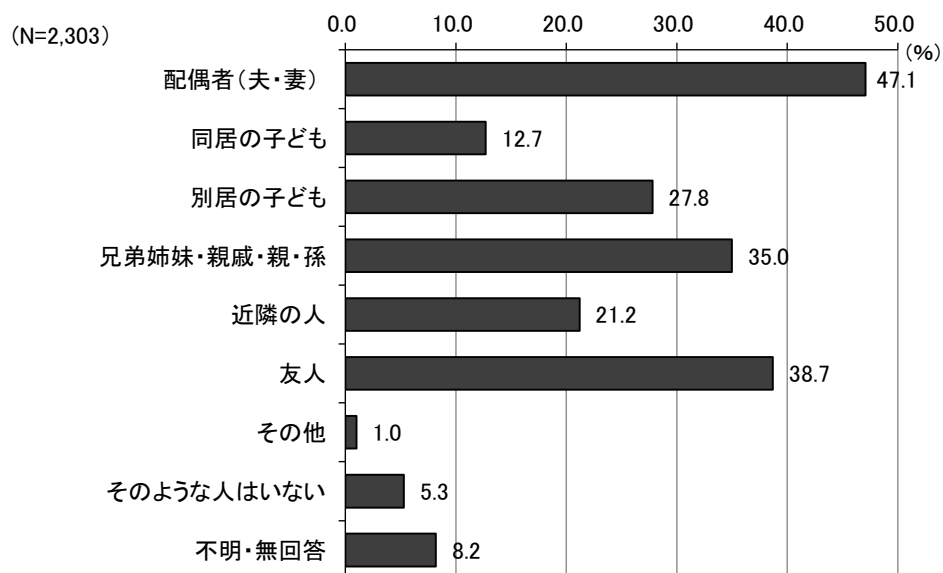
旧町別では、同じ傾向を示しています。

認定区分別にみると、「要支援1」「要支援2」において『別居の子ども』がもっとも高くなっています。

上段:度数 下段:%		問6(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか									
		合計	配偶者	同居の子 ども	別居の子 ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのよう な人は いない	不明・無 回答
性別	男性	760	516	92	174	187	72	205	12	33	43
		100.0	67.9	12.1	22.9	24.6	9.5	27.0	1.6	4.3	5.7
	女性	1,047	403	236	404	413	230	475	22	24	48
		100.0	38.5	22.5	38.6	39.4	22.0	45.4	2.1	2.3	4.6
年齢別	65～69歳	457	277	77	132	158	79	227	15	12	18
		100.0	60.6	16.8	28.9	34.6	17.3	49.7	3.3	2.6	3.9
	70～74歳	341	196	37	113	116	54	159	5	12	9
		100.0	57.5	10.9	33.1	34.0	15.8	46.6	1.5	3.5	2.6
	75～79歳	367	210	58	100	116	50	134	5	15	18
		100.0	57.2	15.8	27.2	31.6	13.6	36.5	1.4	4.1	4.9
	80～84歳	338	158	68	109	105	58	96	3	8	19
		100.0	46.7	20.1	32.2	31.1	17.2	28.4	0.9	2.4	5.6
	85～89歳	212	61	54	84	71	43	52	5	6	20
		100.0	28.8	25.5	39.6	33.5	20.3	24.5	2.4	2.8	9.4
	90～94歳	86	15	30	39	31	17	12	1	4	7
		100.0	17.4	34.9	45.3	36.0	19.8	14.0	1.2	4.7	8.1
	95～99歳	6	2	4	1	3	1	-	-	-	-
		100.0	33.3	66.7	16.7	50.0	16.7	-	-	-	-
旧町別	旧大方町	1,334	682	239	414	432	201	500	26	42	70
		100.0	51.1	17.9	31.0	32.4	15.1	37.5	1.9	3.1	5.2
	旧佐賀町	466	236	89	160	165	100	179	8	13	21
		100.0	50.6	19.1	34.3	35.4	21.5	38.4	1.7	2.8	4.5
認定区分別	事業対象者	6	1	1	1	3	-	1	-	-	2
		100.0	16.7	16.7	16.7	50.0	-	16.7	-	-	33.3
	要支援1	11	4	1	5	4	-	1	-	1	1
		100.0	36.4	9.1	45.5	36.4	-	9.1	-	9.1	9.1
	要支援2	38	5	8	16	9	7	7	-	5	4
		100.0	13.2	21.1	42.1	23.7	18.4	18.4	-	13.2	10.5
一般高齢者	1,752	909	318	556	584	295	671	34	51	84	
	100.0	51.9	18.2	31.7	33.3	16.8	38.3	1.9	2.9	4.8	

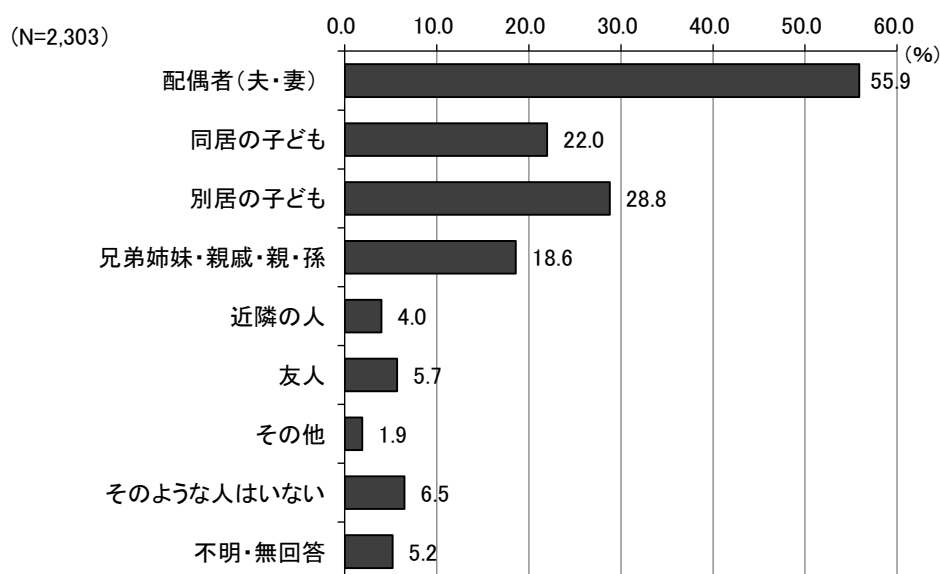
問6-2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。」
(〇はいくつでも)

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいるかについてみると、「配偶者(夫・妻)」が47.1%ともっとも高く、次いで「友人」が38.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.0%となっています。



問6-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
(〇はいくつでも)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいるかについてみると、「配偶者(夫・妻)」が55.9%ともっとも高く、次いで「別居の子ども」が28.8%、「同居の子ども」が22.0%となっています。



■問6-3 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別にみると、「男性」「女性」とともに『配偶者』がもっとも高くなっています。

年齢別では、「65～69歳」～「80～84歳」では、『配偶者』がもっとも高く、「85歳～89歳」「90歳～94歳」では『別居の子ども』がもっとも高くなっています。

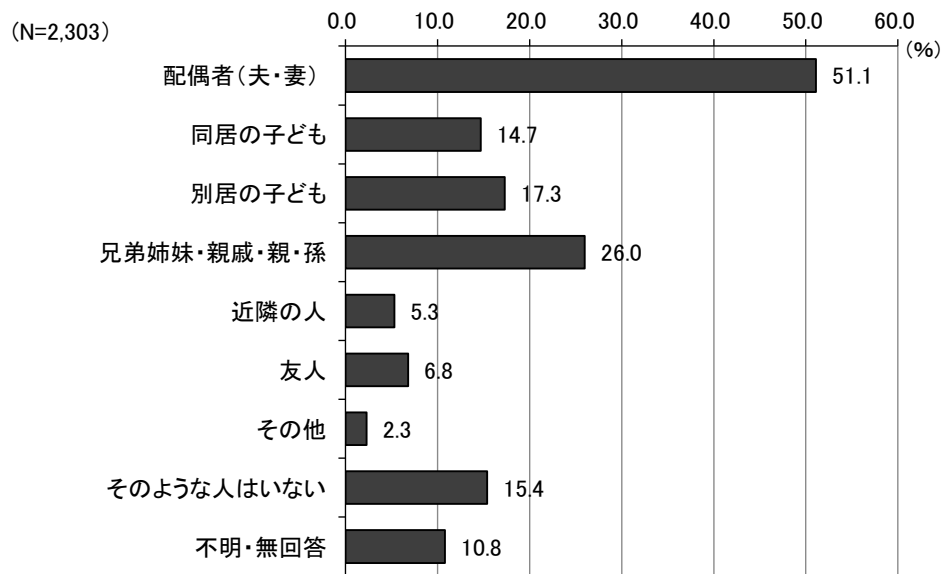
旧町別では、同じ傾向を示しています。

認定区分別にみると、「要支援1」「要支援2」において『別居の子ども』がもっとも高くなっています。

上段:度数 下段:%		問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか									
		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような 人はいない	不明・無回 答
性別	男性	760	552	118	162	122	20	29	6	43	43
		100.0	72.6	15.5	21.3	16.1	2.6	3.8	0.8	5.7	5.7
	女性	1,047	417	287	362	211	46	81	31	75	62
		100.0	39.8	27.4	34.6	20.2	4.4	7.7	3.0	7.2	5.9
年齢別	65～69歳	457	301	97	110	92	14	41	11	28	20
		100.0	65.9	21.2	24.1	20.1	3.1	9.0	2.4	6.1	4.4
	70～74歳	341	213	52	88	60	15	25	5	28	11
		100.0	62.5	15.2	25.8	17.6	4.4	7.3	1.5	8.2	3.2
	75～79歳	367	228	71	103	73	10	14	3	22	17
		100.0	62.1	19.3	28.1	19.9	2.7	3.8	0.8	6.0	4.6
	80～84歳	338	153	84	107	50	12	16	10	24	24
		100.0	45.3	24.9	31.7	14.8	3.6	4.7	3.0	7.1	7.1
	85～89歳	212	58	64	81	35	11	11	5	14	24
		100.0	27.4	30.2	38.2	16.5	5.2	5.2	2.4	6.6	11.3
	90～94歳	86	14	33	34	21	4	3	3	2	9
		100.0	16.3	38.4	39.5	24.4	4.7	3.5	3.5	2.3	10.5
	95～99歳	6	2	4	1	2	-	-	-	-	-
		100.0	33.3	66.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-
旧町別	旧大方町	1,334	716	290	380	240	42	72	28	88	86
		100.0	53.7	21.7	28.5	18.0	3.1	5.4	2.1	6.6	6.4
	旧佐賀町	466	252	115	140	91	24	38	7	30	19
		100.0	54.1	24.7	30.0	19.5	5.2	8.2	1.5	6.4	4.1
認定区分別	事業対象者	6	-	-	2	1	-	-	-	-	3
		100.0	-	-	33.3	16.7	-	-	-	-	50.0
	要支援1	11	3	2	5	1	-	-	-	2	1
		100.0	27.3	18.2	45.5	9.1	-	-	-	18.2	9.1
	要支援2	38	6	8	16	8	2	2	1	3	6
		100.0	15.8	21.1	42.1	21.1	5.3	5.3	2.6	7.9	15.8
	一般高齢者	1,752	960	395	501	323	64	108	36	113	95
		100.0	54.8	22.5	28.6	18.4	3.7	6.2	2.1	6.4	5.4

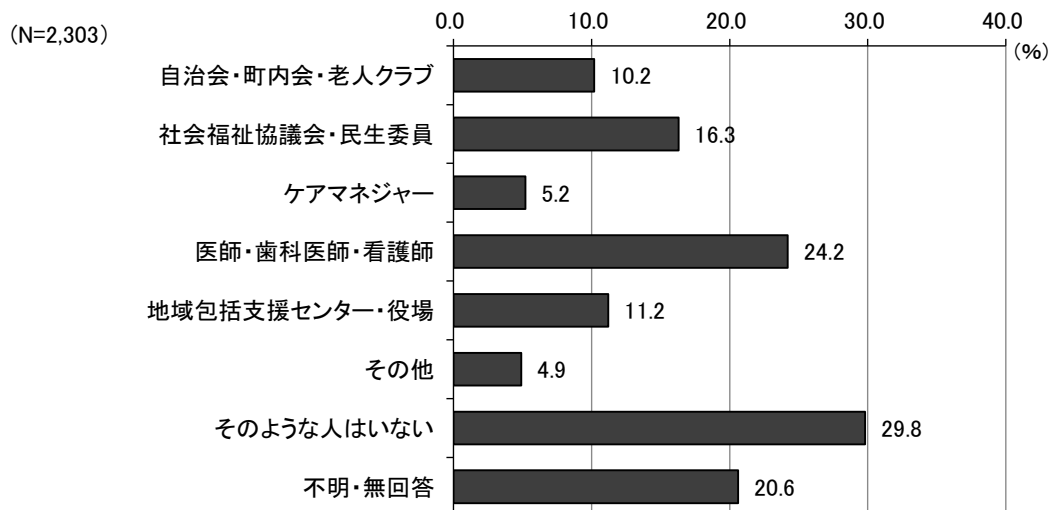
問6-4 反対に、看病や世話をしあける人はいますか。(〇はいくつでも)

看病や世話をしあける人はいるかについてみると、「配偶者(夫・妻)」が51.1%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.0%、「別居の子ども」が17.3%となっています。



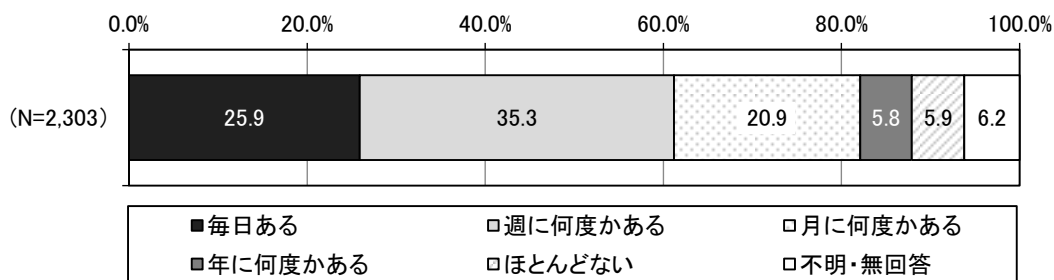
問6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が29.8%ともっとも高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が24.2%、「社会福祉協議会・民生委員」が16.3%となっています（不明・無回答を除く）。



問6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

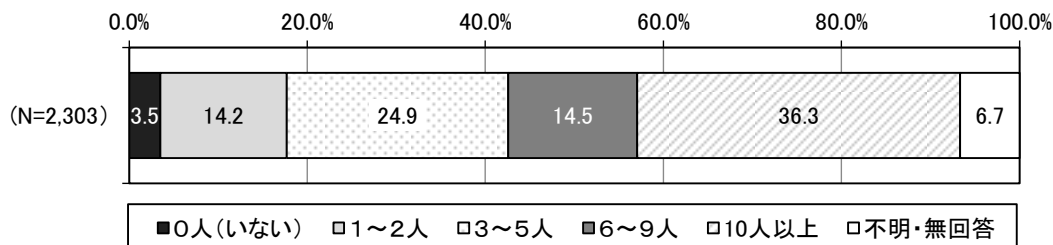
友人・知人と会う頻度についてみると、「週に何度かある」が35.3%ともっとも高く、次いで「毎日ある」が25.9%、「月に何度かある」が20.9%となっています。



問6-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

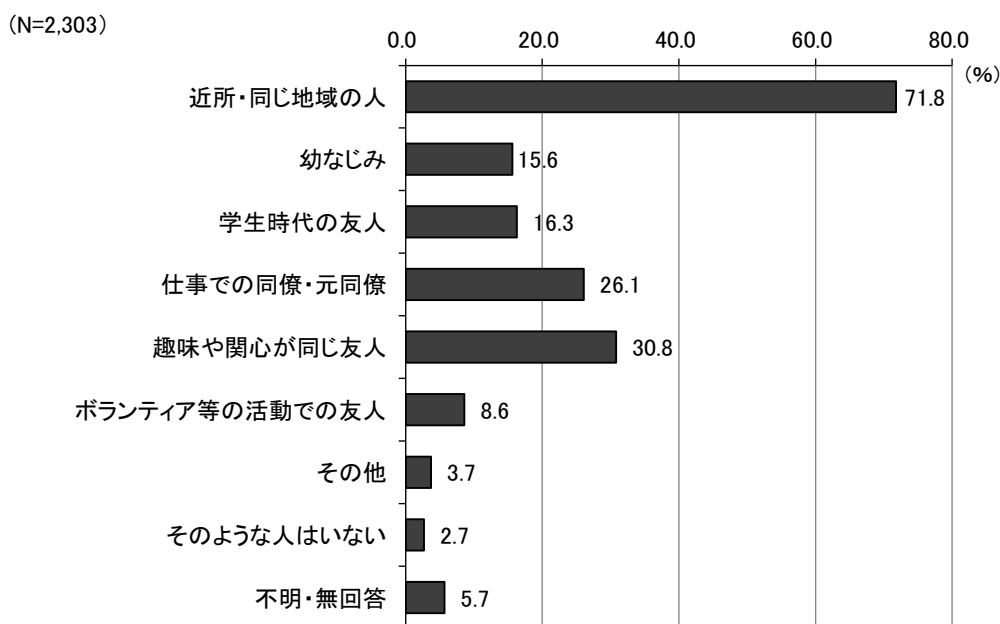
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに○)

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについてみると、「10人以上」が36.3%と最も高く、次いで「3～5人」が24.9%、「6～9人」が14.5%となっています。



問6-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

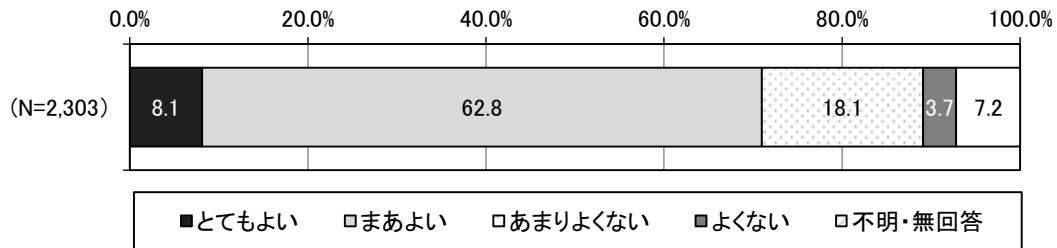
よく会う友人・知人はどんな関係の人かについてみると、「近所・同じ地域の人」が71.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が30.8%、「仕事での同僚・元同僚」が26.1%となっています。



7. 健康についておたずねします

問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

現在の健康状態についてみると、「まあよい」が62.8%と最も高く、次いで「あまりよくない」が18.1%、「とてもよい」が8.1%となっています。



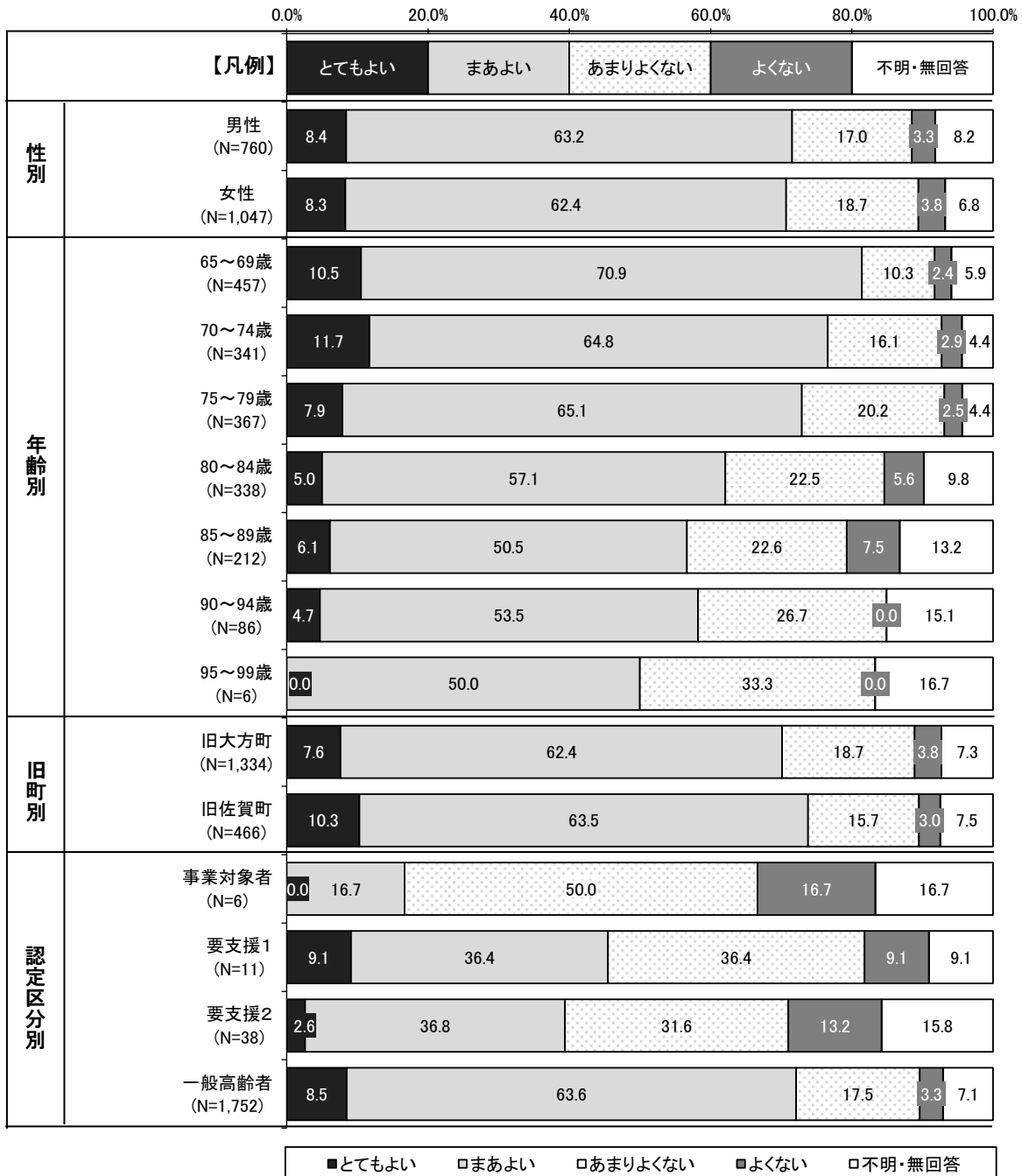
■問7-1 × [性別・年齢別・旧町別・認定区分別] クロス集計

性別では、同じ傾向を示しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ『とてもよい+まあよい』の割合が低くなる傾向があります。

旧町別では、同じ傾向を示しています。

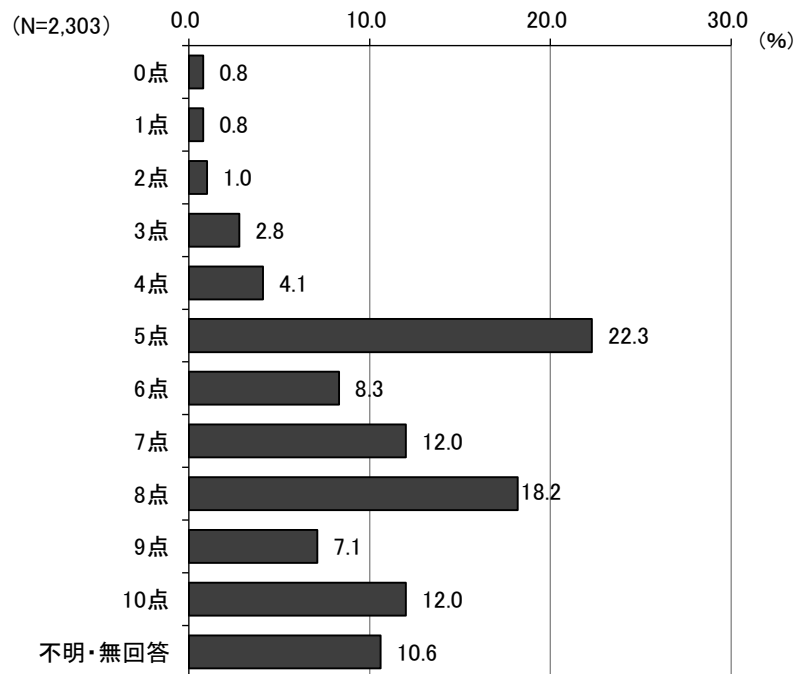
認定区分別にみると、「事業対象者」において『あまりよくない+よくない』が66.7%（4人）、「要支援1」「要支援2」において約45.0%となっています。



問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

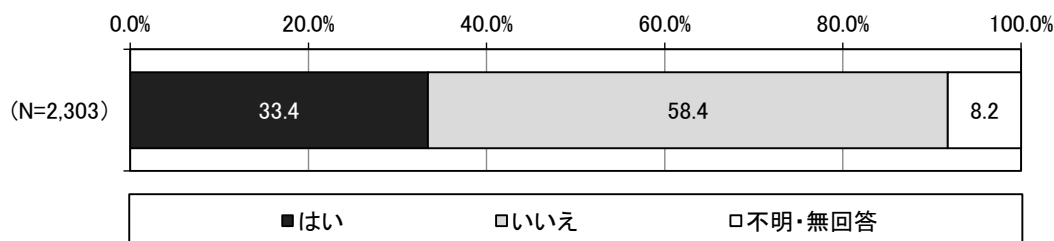
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数1つに○)

現在の幸せ度についてみると、「5点」が22.3%ともっとも高く、次いで「8点」が18.2%、「7点」「10点」がそれぞれ12.0%となっています。



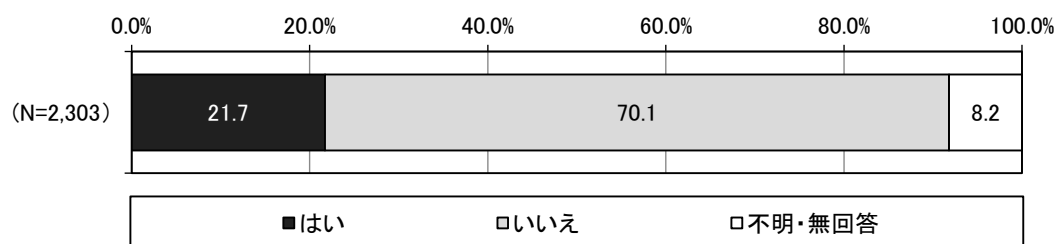
問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについてみると、「いいえ」が58.4%、「はい」が33.4%となっています。



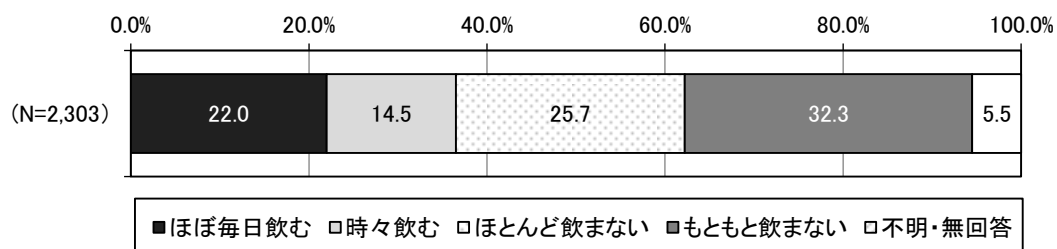
問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについてみると、「いいえ」が70.1%、「はい」が21.7%となっています。



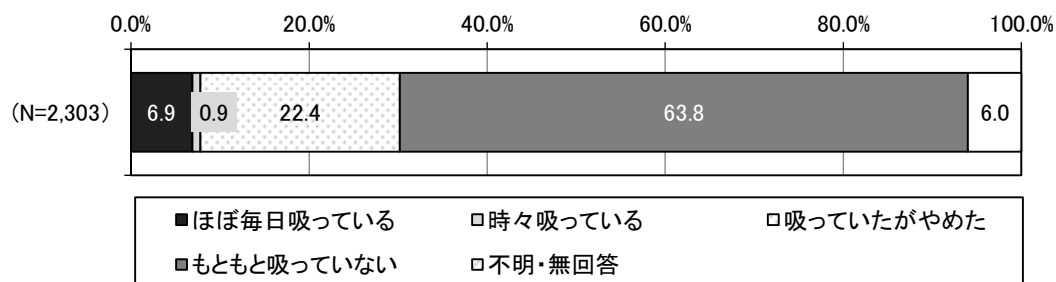
問7-5 お酒は飲みますか。(1つに○)

お酒を飲むかどうかについてみると、「もともと飲まない」が32.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が25.7%、「ほぼ毎日飲む」が22.0%となっています。



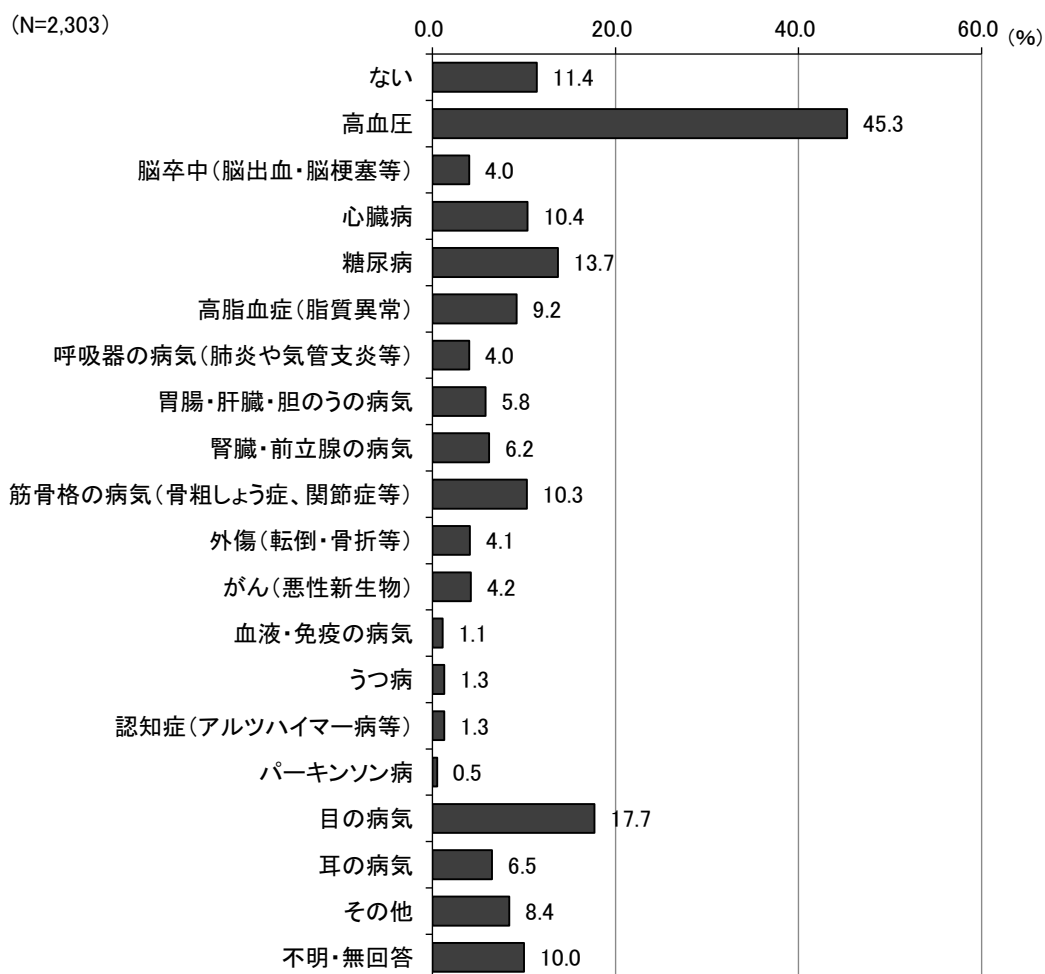
問7-6 タバコは吸っていますか。(1つに○)

タバコを吸っているかについてみると、「もともと吸っていない」が63.8%ともっとも高く、次いで「吸っていたがやめた」が22.4%、「ほぼ毎日吸っている」が6.9%となっています。



問7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気があるかについてみると、「高血圧」が45.3%ともっとも高く、次いで「目の病気」が17.7%、「糖尿病」が13.7%となっています。



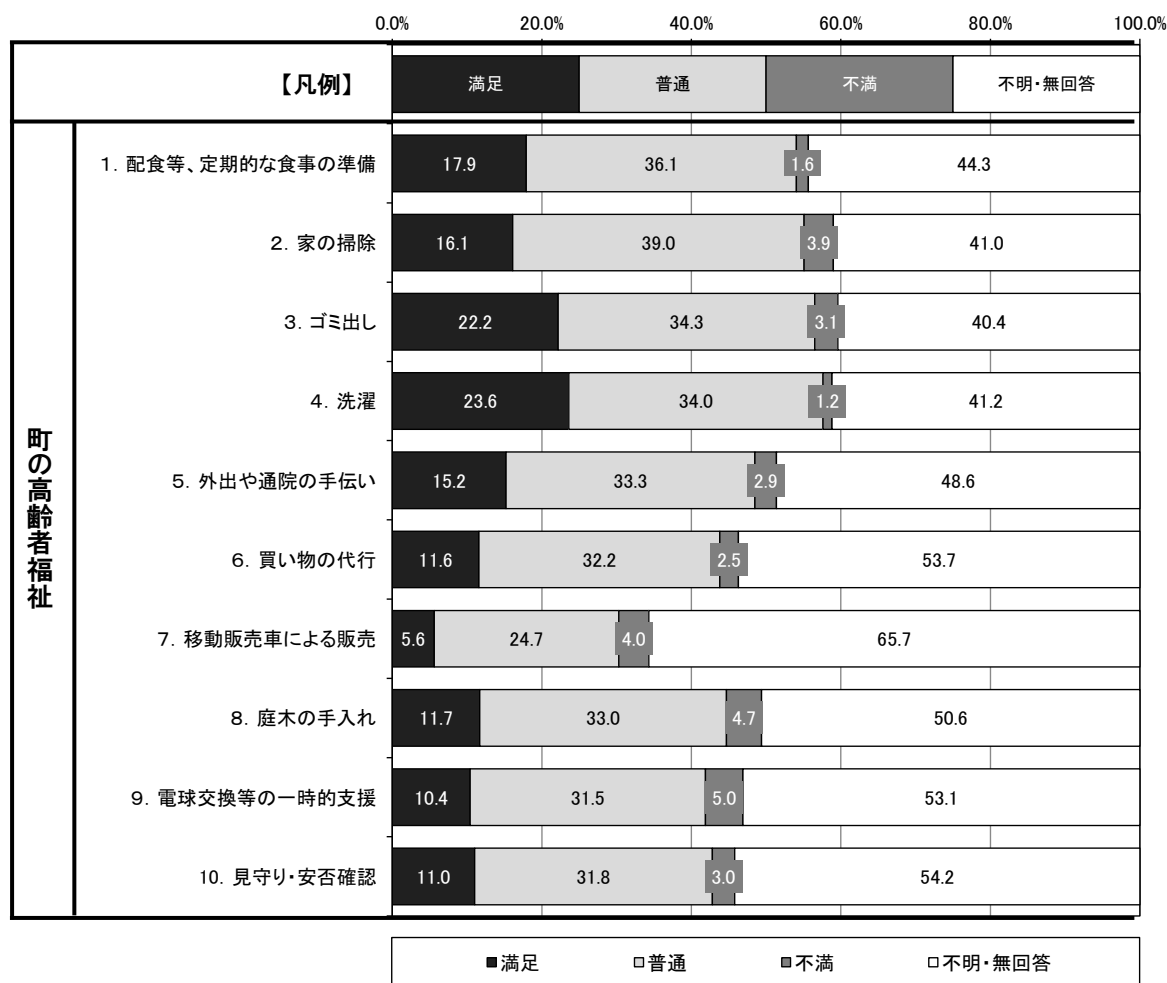
8. 町の高齢者福祉についておたずねします

問8-1 あなたの普段の暮らしについて、①現在の満足度と②今後の重要度をお答えください。※1～10 それぞれに回答してください。（それぞれ1つに○）

普段の暮らしについて、①現在の満足度についてみると、『満足』においては「4. 洗濯」が23.6%と最も高く、次いで「ゴミ出し」が22.2%となっています。

一方、『不満』においては、「9. 電球交換等の一時的支援」が5.0%、「8. 庭木の手入れ」が4.7%となっています。

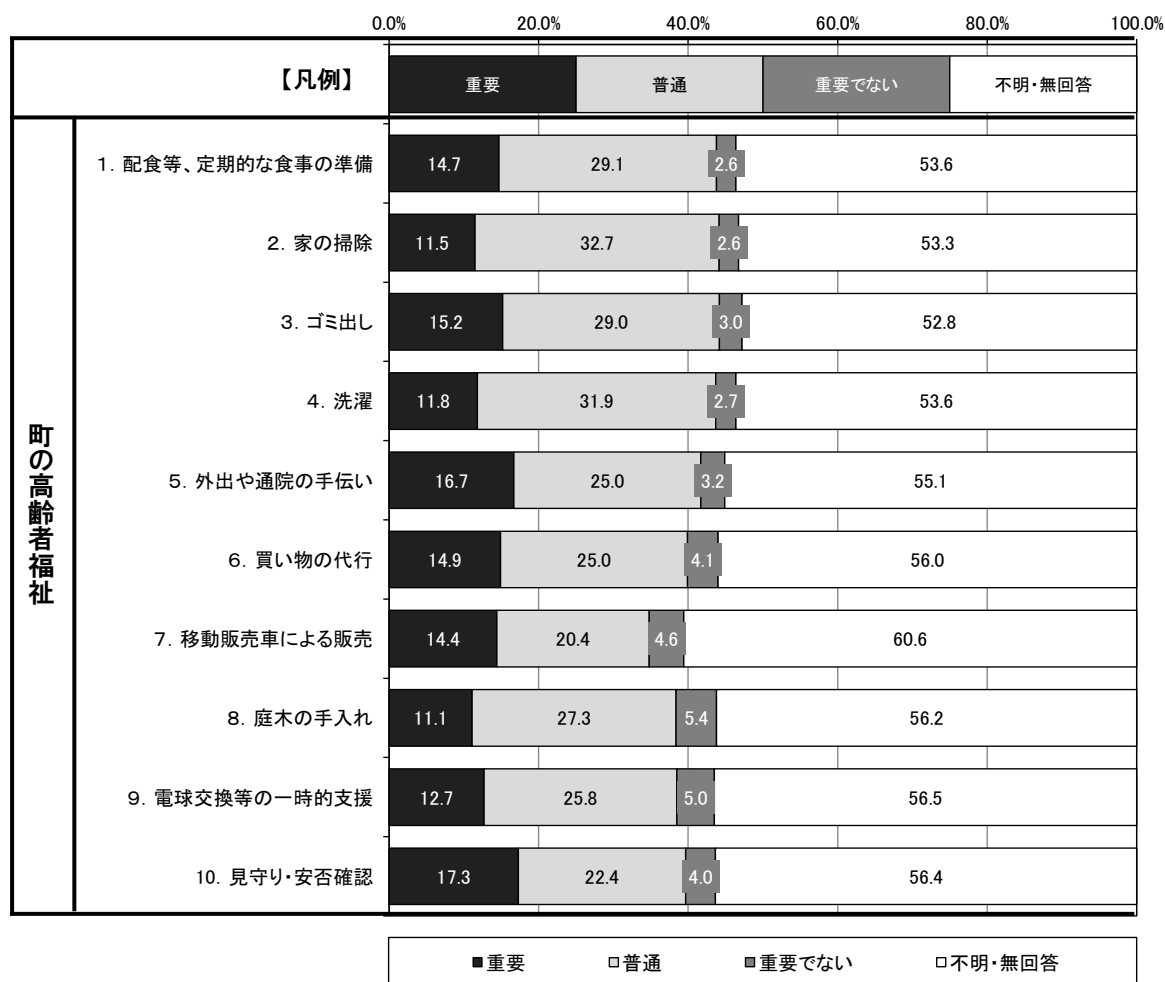
【現在の満足度(N=2,303)】



普段の暮らしについて、②今後の重要度についてみると、『重要』においては「10. 見守り・安否確認」が17.3%ともっとも高く、次いで「5. 外出や通院の手伝い」が16.7%となっています。

一方、『重要でない』においては「8. 庭木の手入れ」が5.4%、「9. 電球交換等の一時的支援」が5.0%となっています。

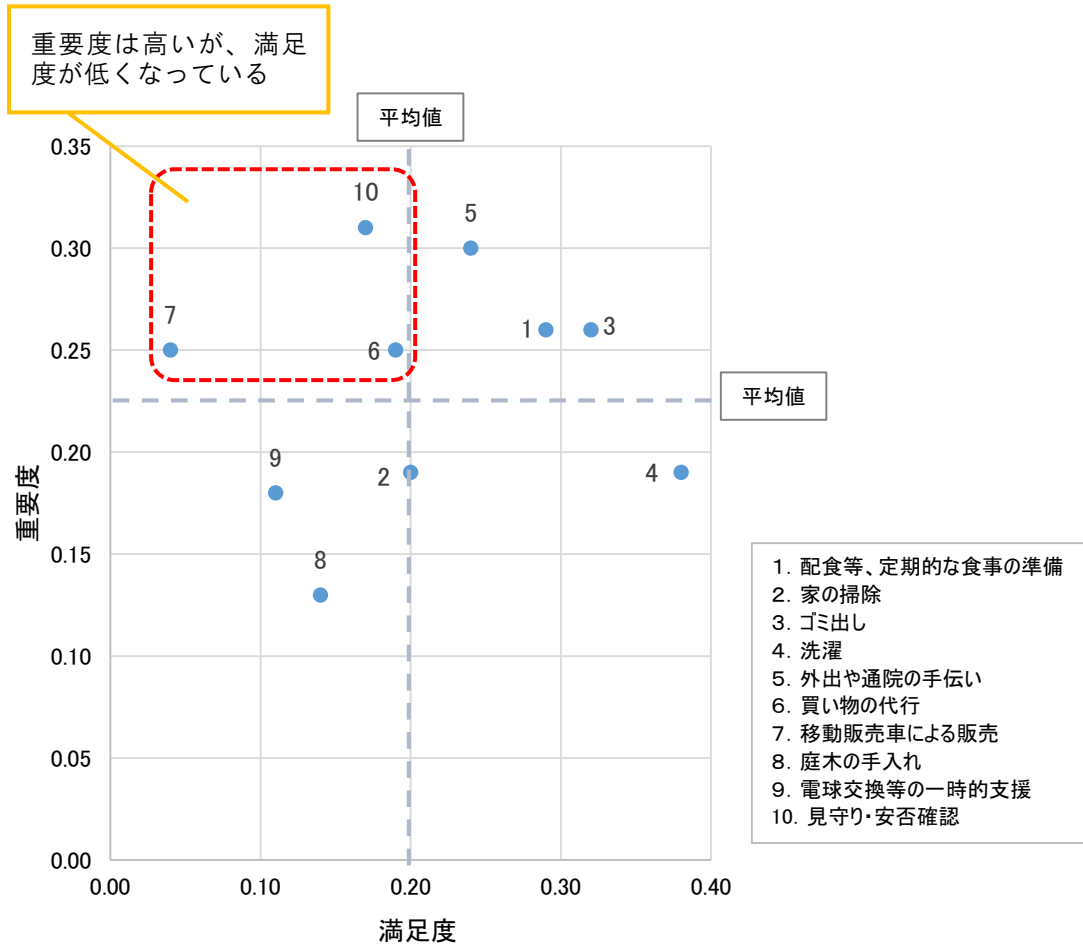
【今後の重要度(N=2,303)】



満足度×重要度のポートフォリオ分析

普段の暮らしについて、『満足度』と『重要度』を

一方、『重要でない』においては「8. 庭木の手入れ」が5.4%、「9. 電球交換等の一時的支援」が5.0%となっています。

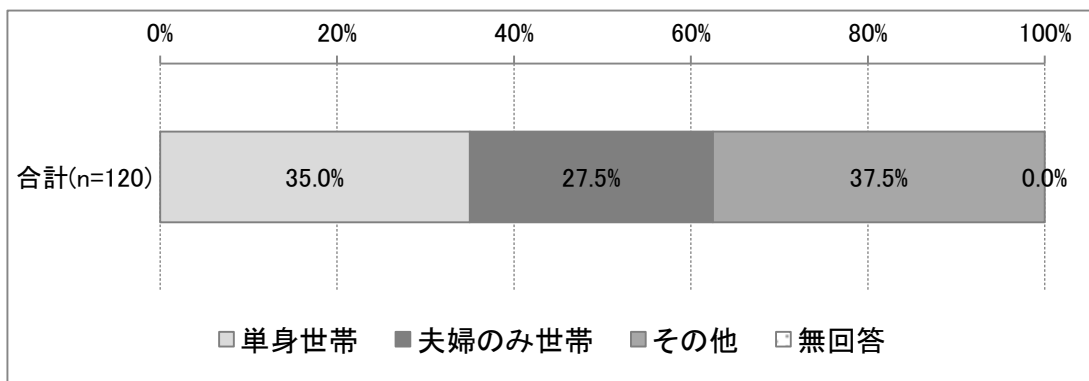


3 調査結果（在宅介護実態調査）

1. ご回答者について

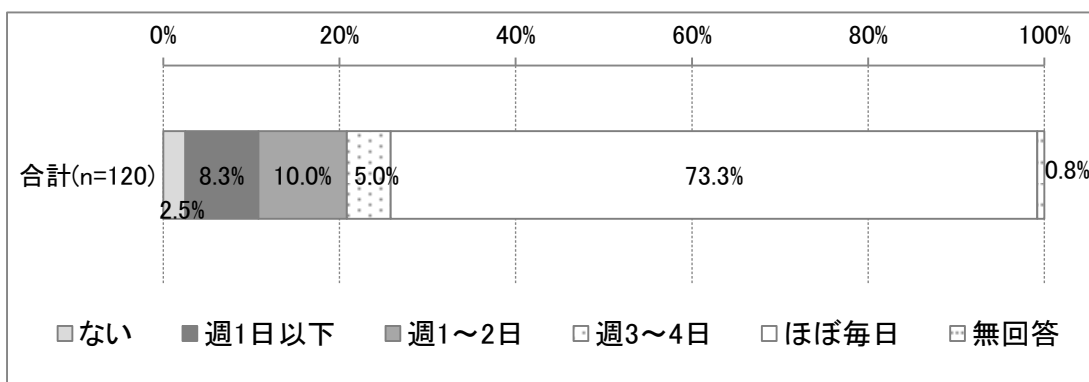
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）

世帯類型についてみると、「単身世帯」が35.0%、「夫婦のみ世帯」が27.5%、「その他」が37.5%となっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに○）

家族や親族による介護の頻度についてみると、「ほぼ毎日」が73.3%と最も高く、次いで「週1～2日」が10.0%、「週1日以下」が8.3%となっています。

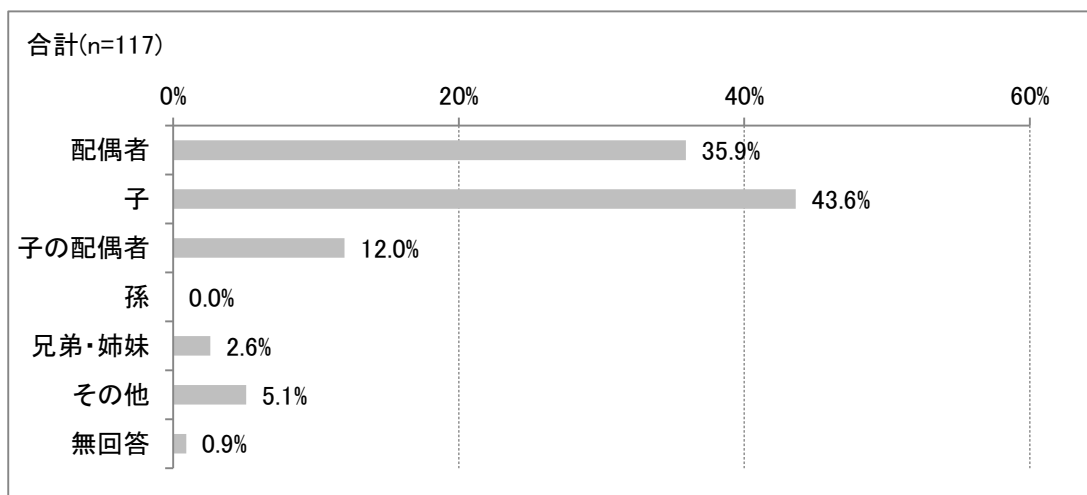


2. 主な介護者について

【問2において「1 ない」以外を選択した方のみ】

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）

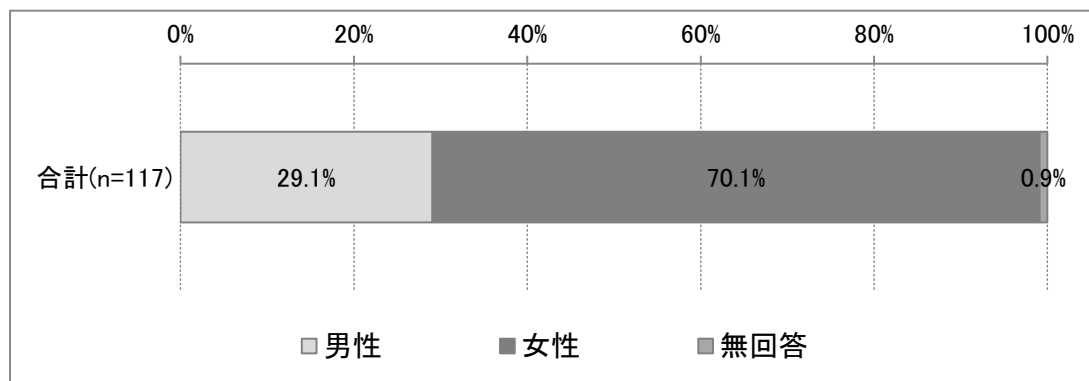
主な介護者についてみると、「子」が43.6%ともっとも高く、次いで「配偶者」が35.9%となっています。



【問2において「1 ない」以外を選択した方のみ】

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）

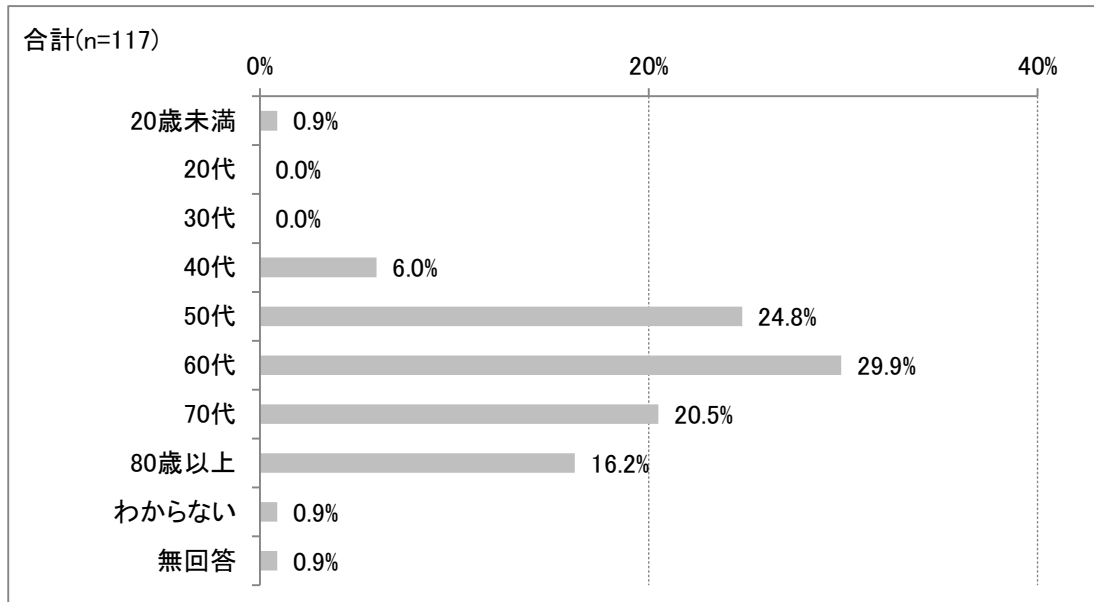
主な介護者の方の性別についてみると、「男性」が29.1%、「女性」が70.1%となっています。



【問2において「1 ない」以外を選択した方のみ】

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）

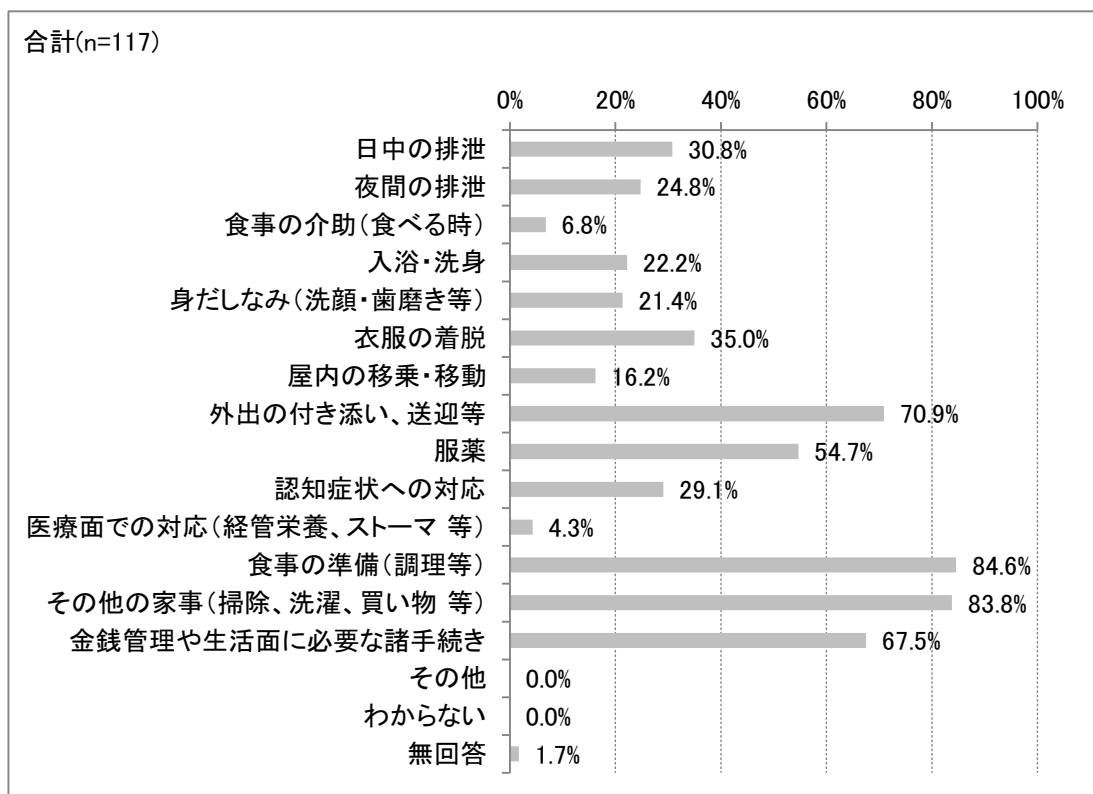
主な介護者の方の年齢についてみると、「60代」が29.9%と最も高く、次いで「50代」が24.8%、「70代」が20.5%となっています。



【問2において「1 ない」以外を選択した方のみ】

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるものに○）

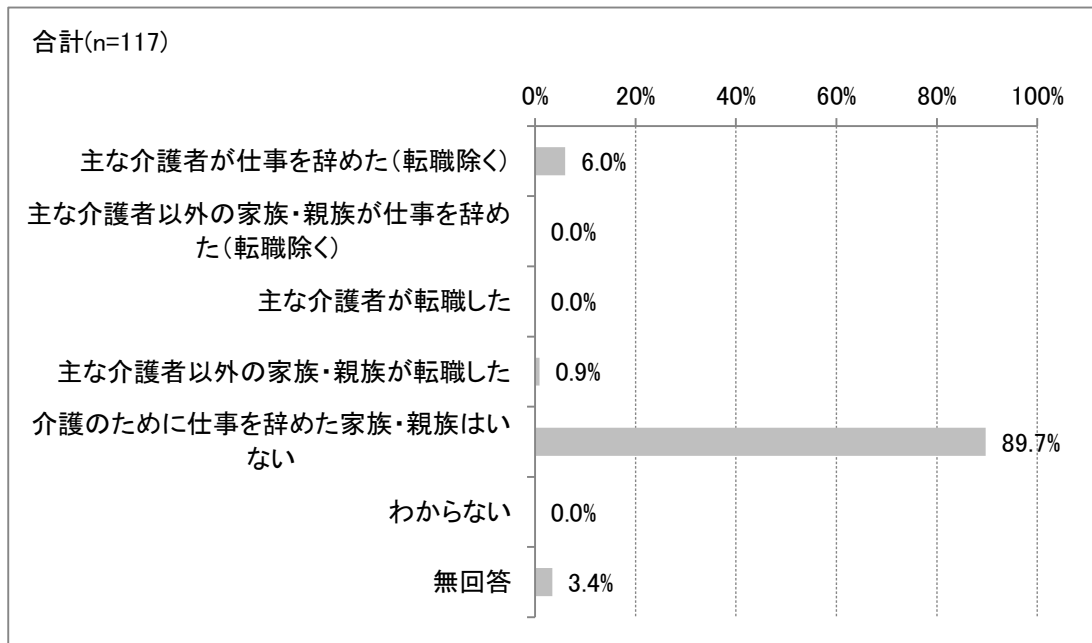
主な介護者の方が行っている介護についてみると、「食事の準備（調理等）」が84.6%と最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.8%、「外出の付き添い、送迎等」が70.9%となっています。



【問2において「1 ない」以外を選択した方のみ】

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（あてはまるものに○）

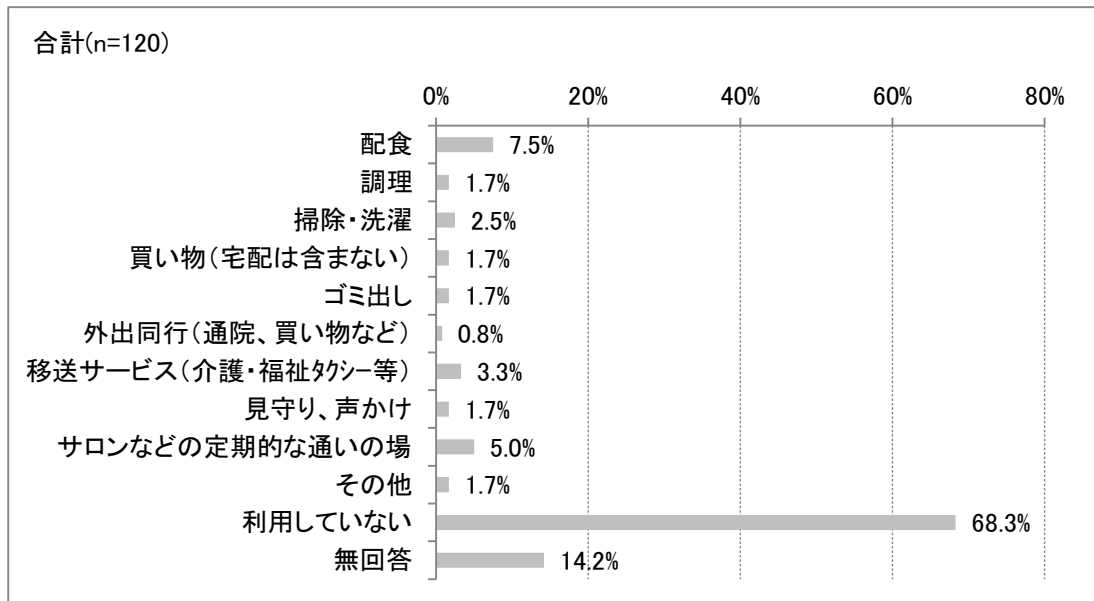
過去1年間の、介護が理由による離職の状況についてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が89.7%と最も高くなっています。



3. サービスの利用状況について

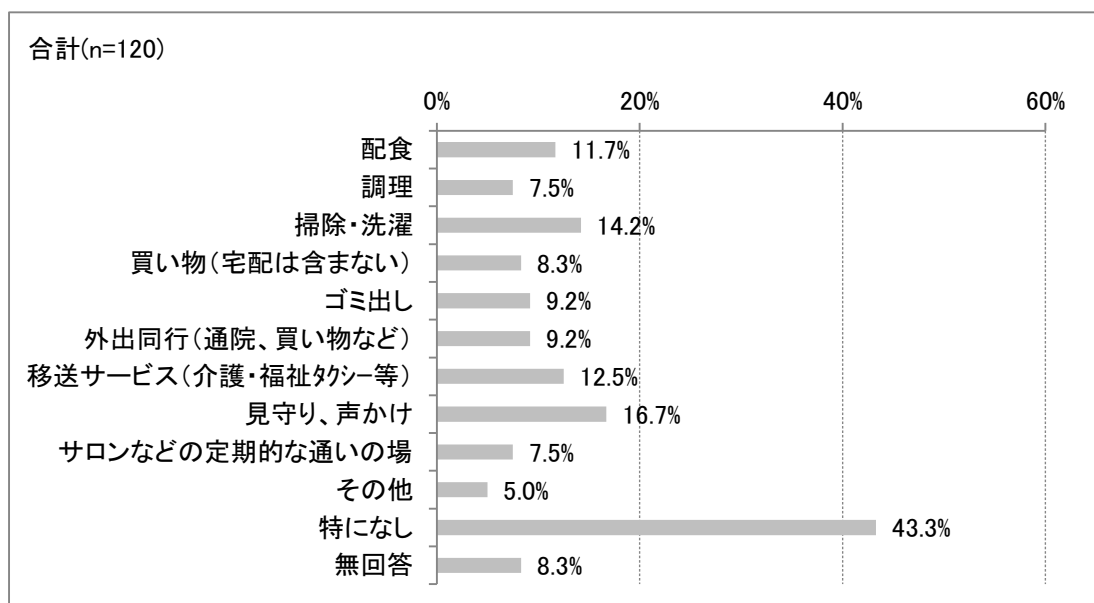
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（あてはまるものに○）

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況についてみると、「利用していない」が68.3%と最も高く、次いで「配食」が7.5%、「サロンなどの定期的な通いの場」が5.0%となっています。（無回答除く）



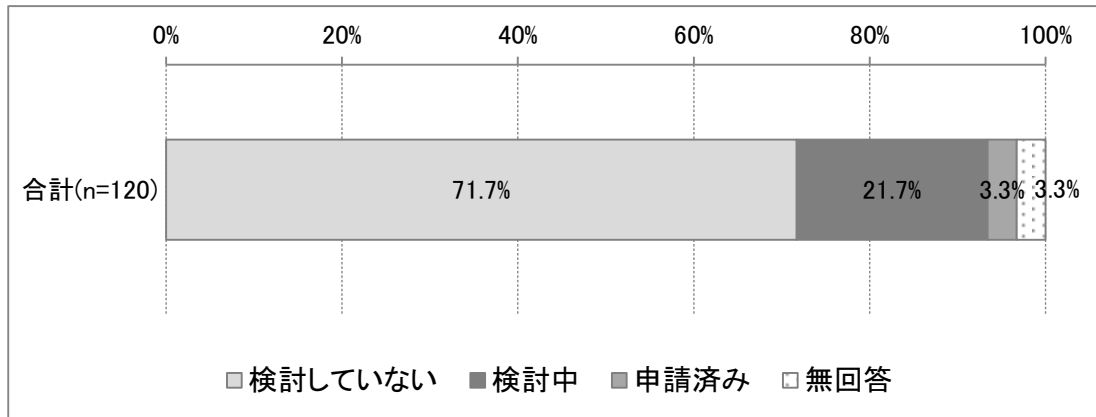
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるものに○）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「特になし」が43.3%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」が16.7%、「掃除・洗濯」が14.2%となっています。



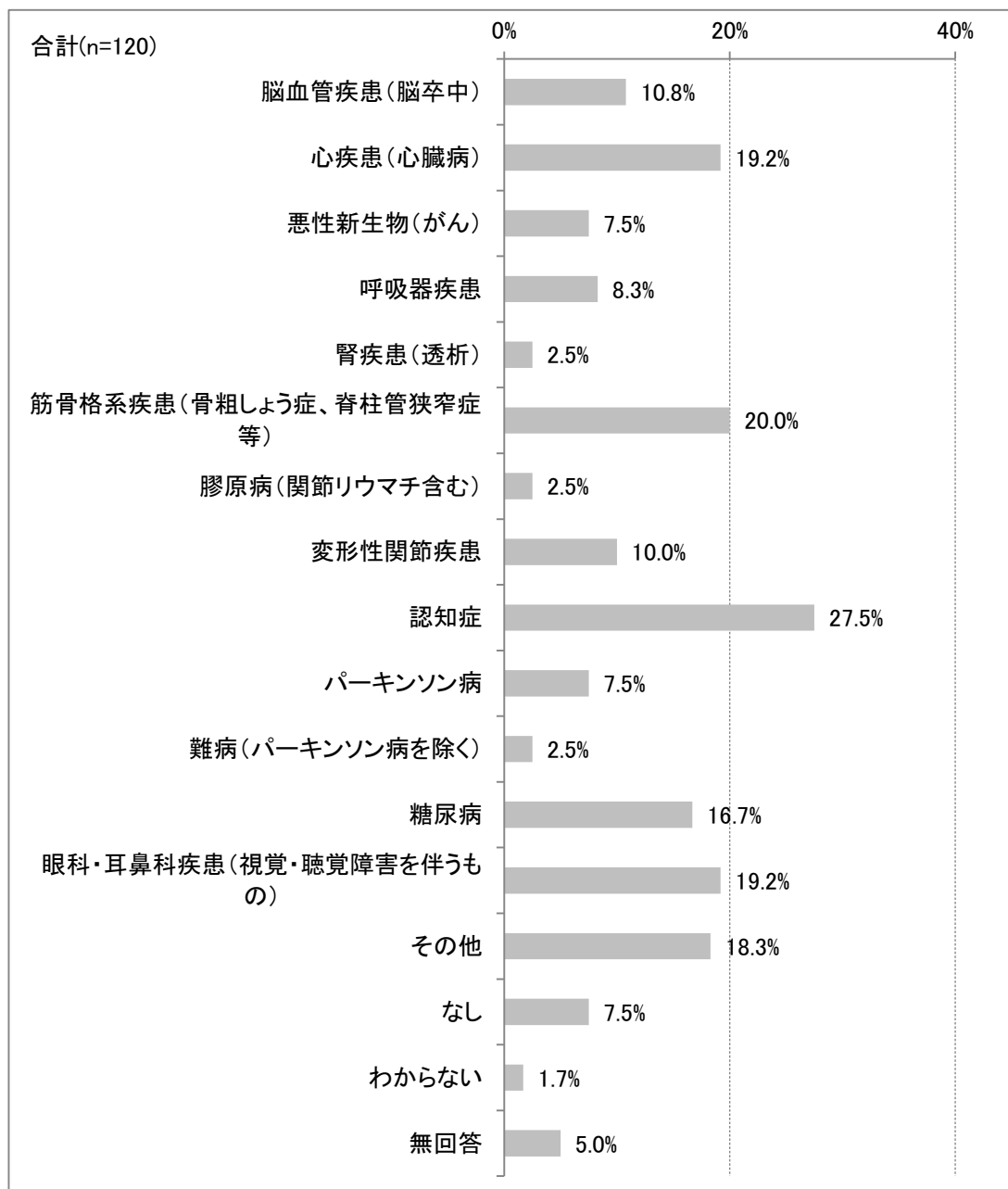
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）

施設等への入所・入居の検討状況についてみると、「検討していない」が71.7%と最も高く、次いで「検討中」が21.7%、「申請済」が3.3%となっています。



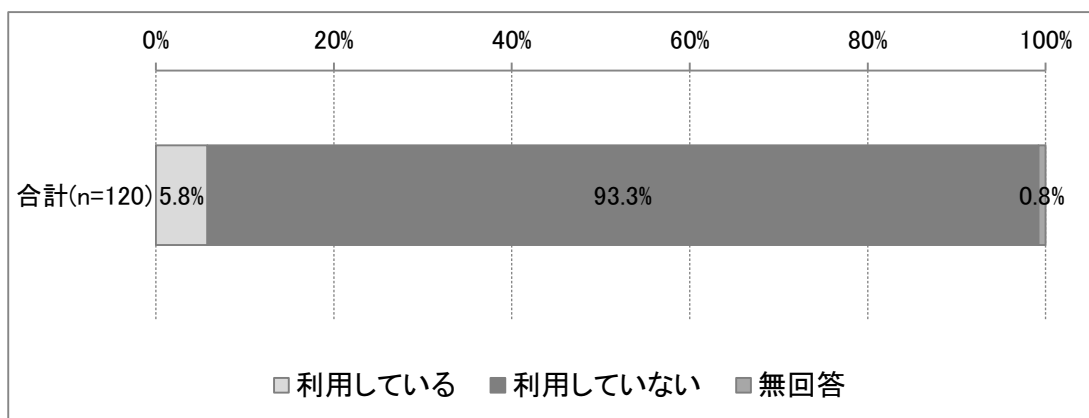
問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（あてはまるものに○）

調査対象者が現在抱えている傷病についてみると、「認知症」が27.5%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が20.0%、「心疾患（心臓病）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」がそれぞれ19.2%となっています。



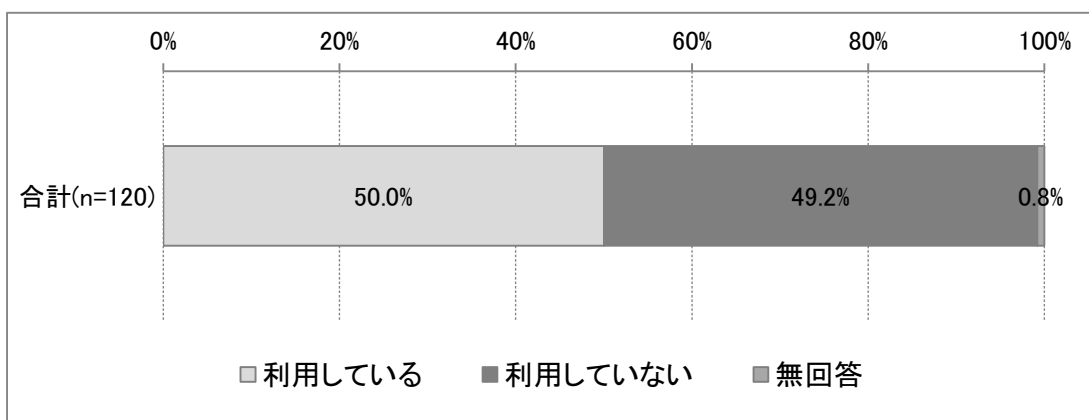
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）

訪問診療の利用についてみると、「利用していない」が 93.3%、「利用している」が 5.8%となっています。



問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つに○）

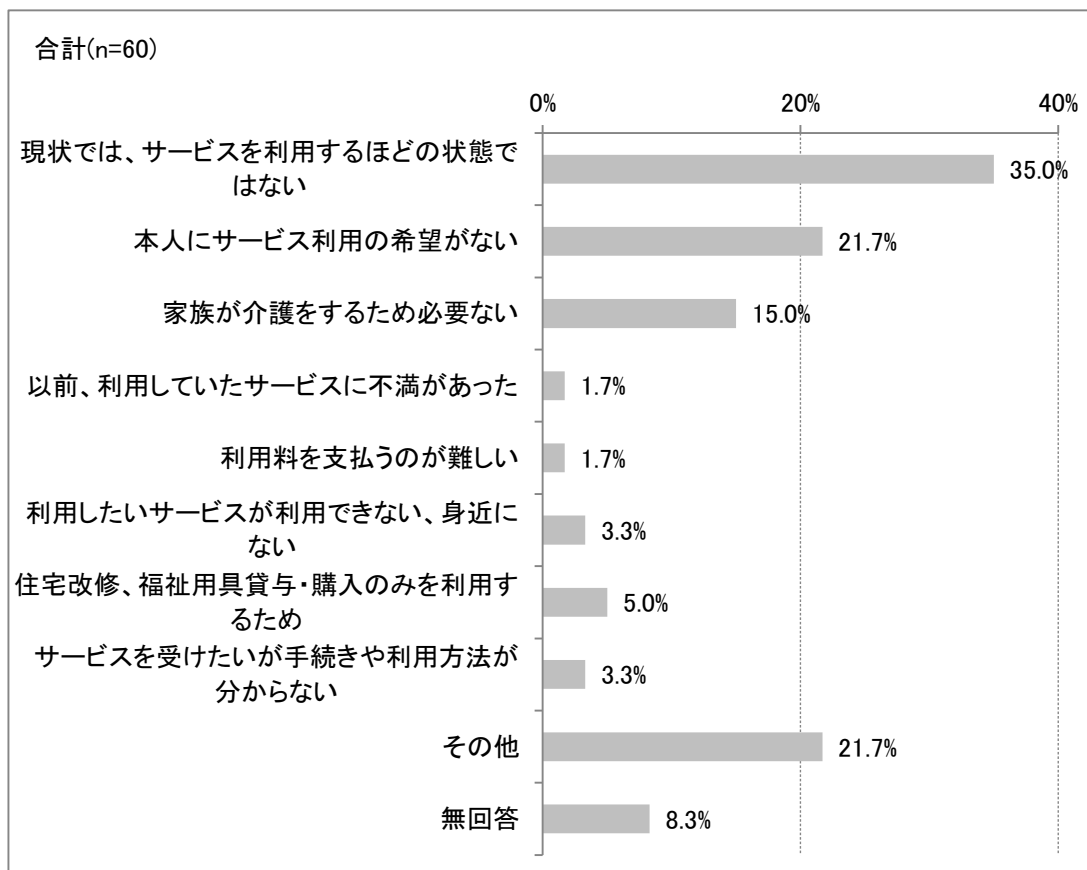
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用についてみると、「利用している」が 50.0%、「利用していない」が 49.2%となっています。



【問 13 において「2 利用していない」を選択した方のみ】

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（あてはまるものに○）

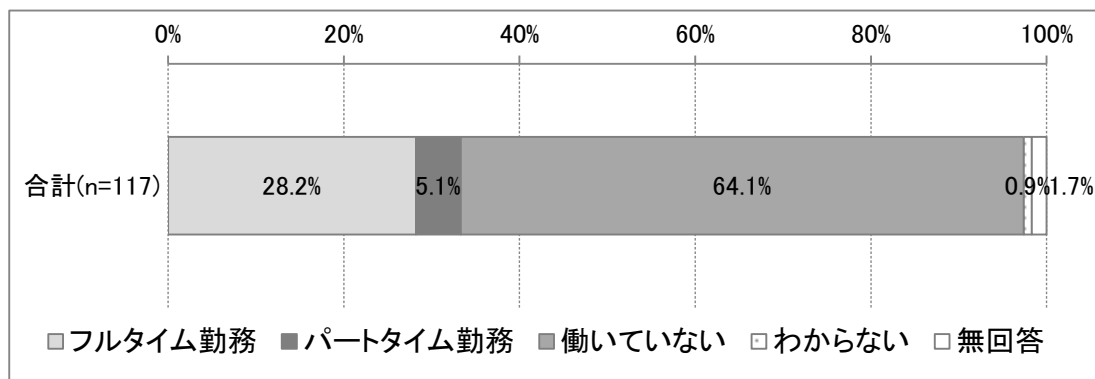
介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 35.0%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」「その他」がそれぞれ 21.7%となっています。



4. 介護者の勤務状況について

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに○）

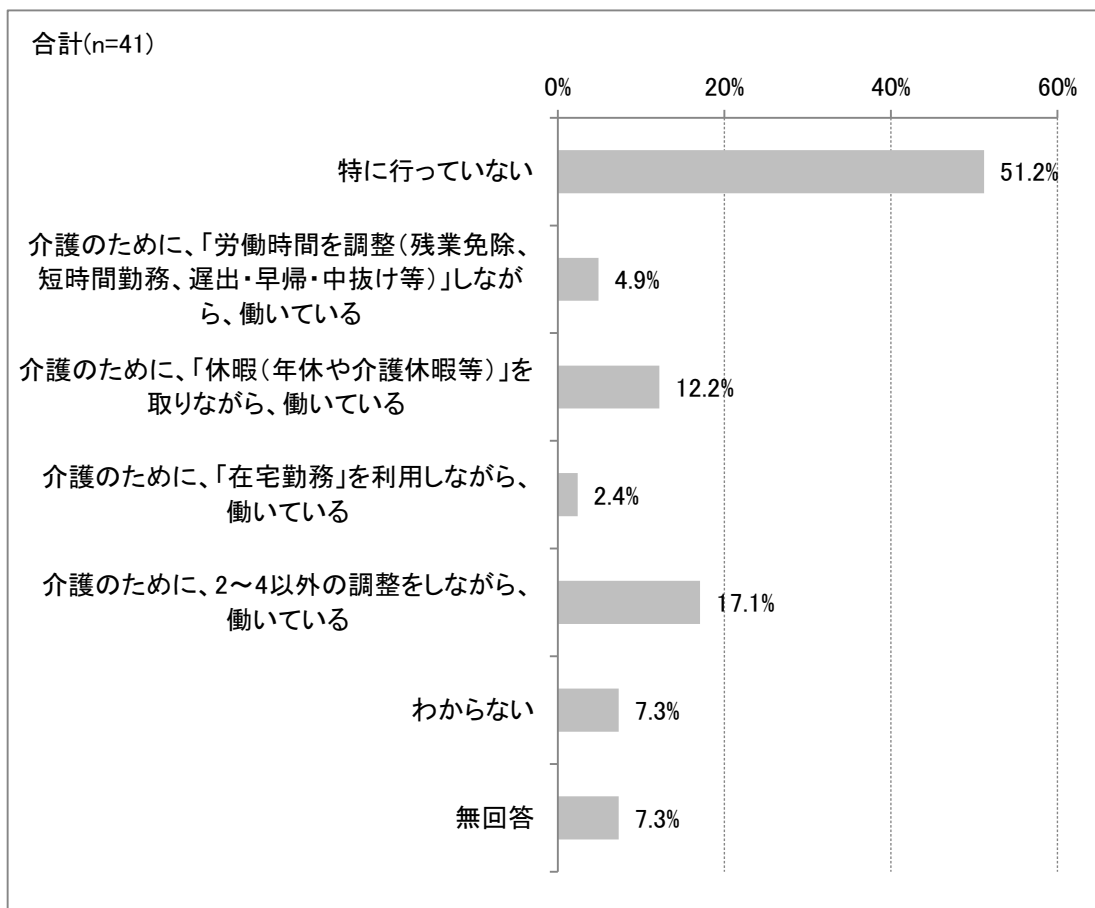
主な介護者の勤務形態についてみると、「働いていない」が64.1%ともっとも高く、次いで「フルタイム勤務」が28.2%、「パートタイム勤務」が5.1%となっています。



【問1において「1 フルタイム勤務」「2 パートタイム勤務」を選択した方のみ】

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか（あてはまるものに○）

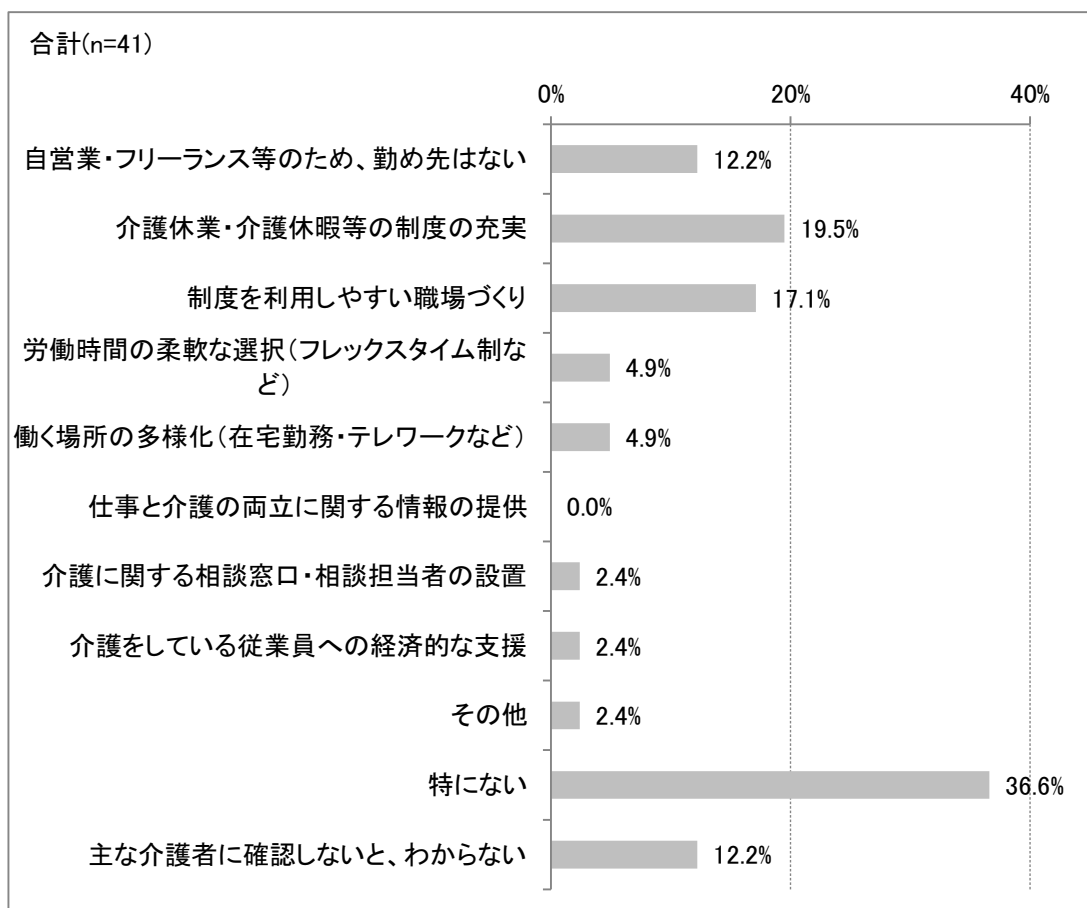
介護をするにあたっての働き方の調整についてみると、「特に行っていない」が51.2%ともっとも高く、次いで「介護のために2～4以外の調整をしながら、働いている」が17.1%となっています。



【問1において「1 フルタイム勤務」「2 パートタイム勤務」を選択した方のみ】

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまでに○）

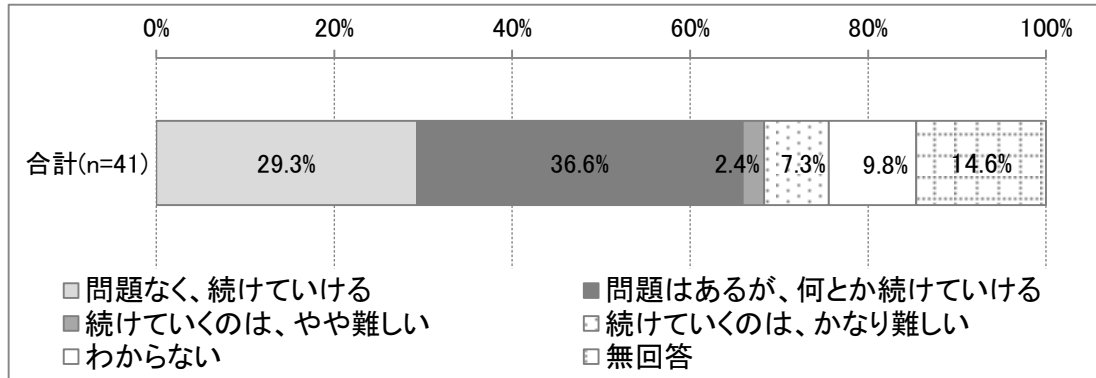
仕事と介護の両立のために効果的な勤め先からの支援についてみると、「特にない」が36.6%ともっとも高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が19.5%、「制度を利用しやすい職場づくり」が17.1%となっています。



【問1において「1 フルタイム勤務」「2 パートタイム勤務」を選択した方のみ】

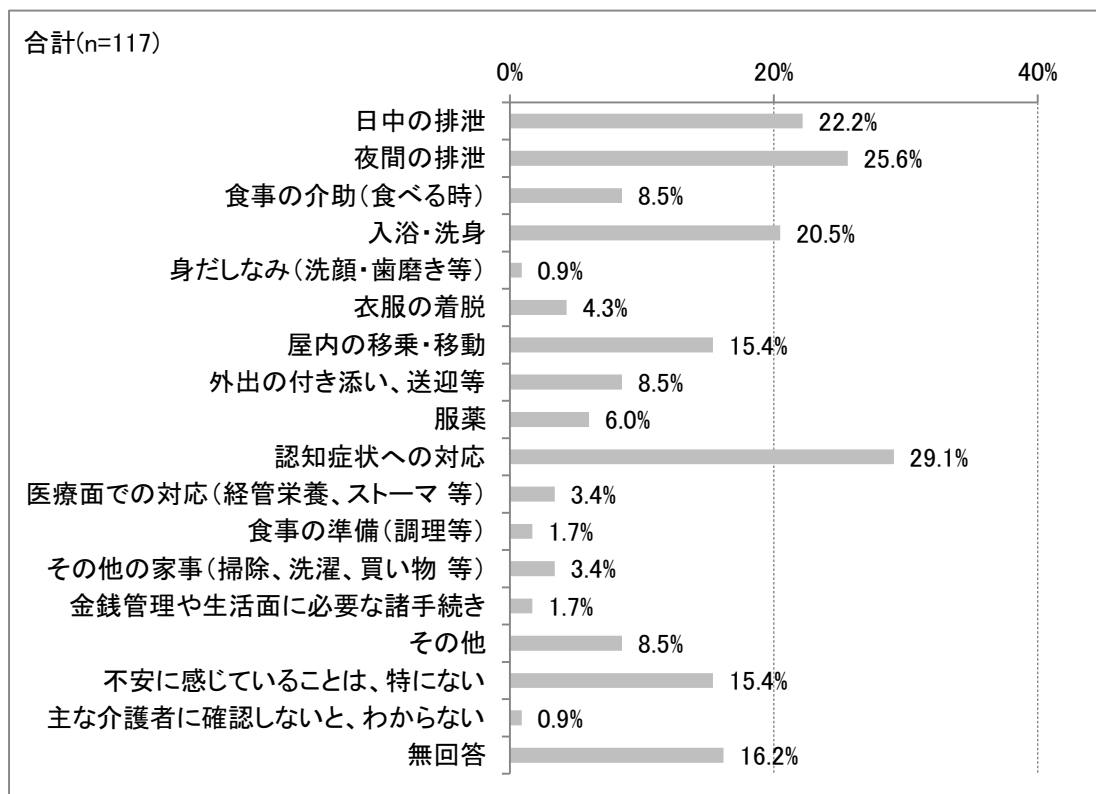
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに○）

今後も働きながら介護を継続できるかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が36.6%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が29.3%となっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（3つまでに○）

現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護等についてみると、「認知症状への対応」が29.1%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が25.6%となっています。

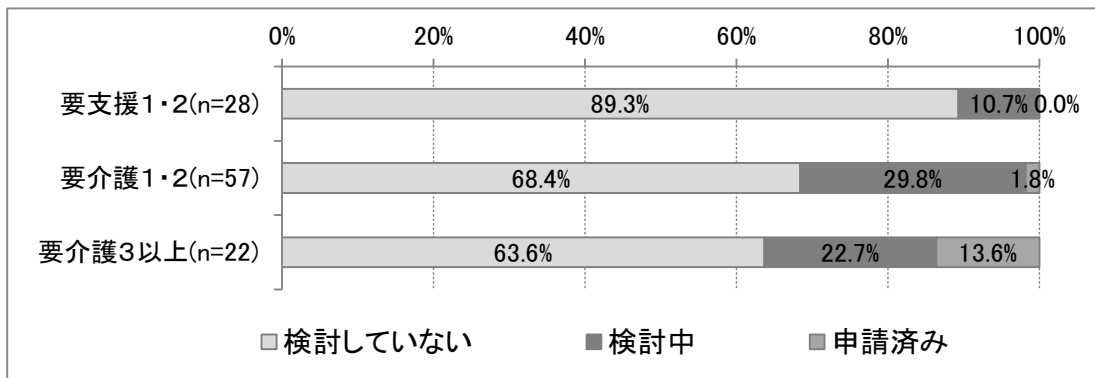


5. 介護における意識について

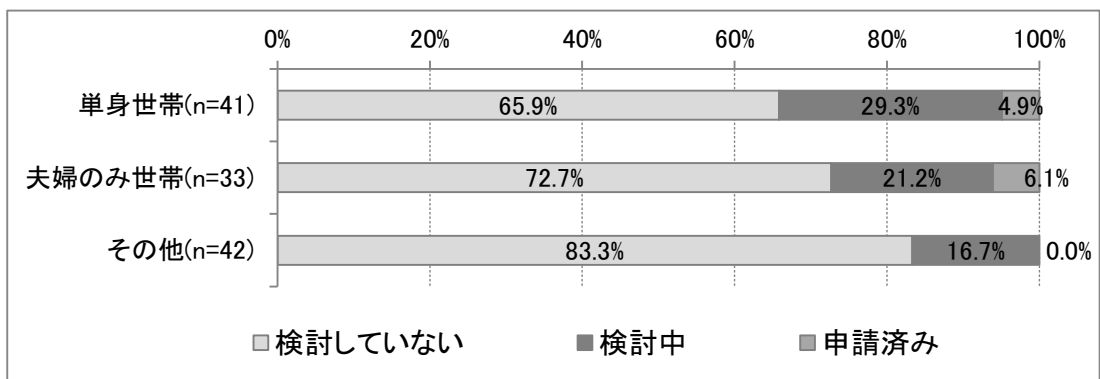
① 施設等への入所・入居の検討状況

施設等への入所・入居の検討状況について、要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。また、世帯類型別でみると、[単身世帯]の場合に「検討中」の割合が高くなっています。

■ 要介護度別 × 施設等検討の状況



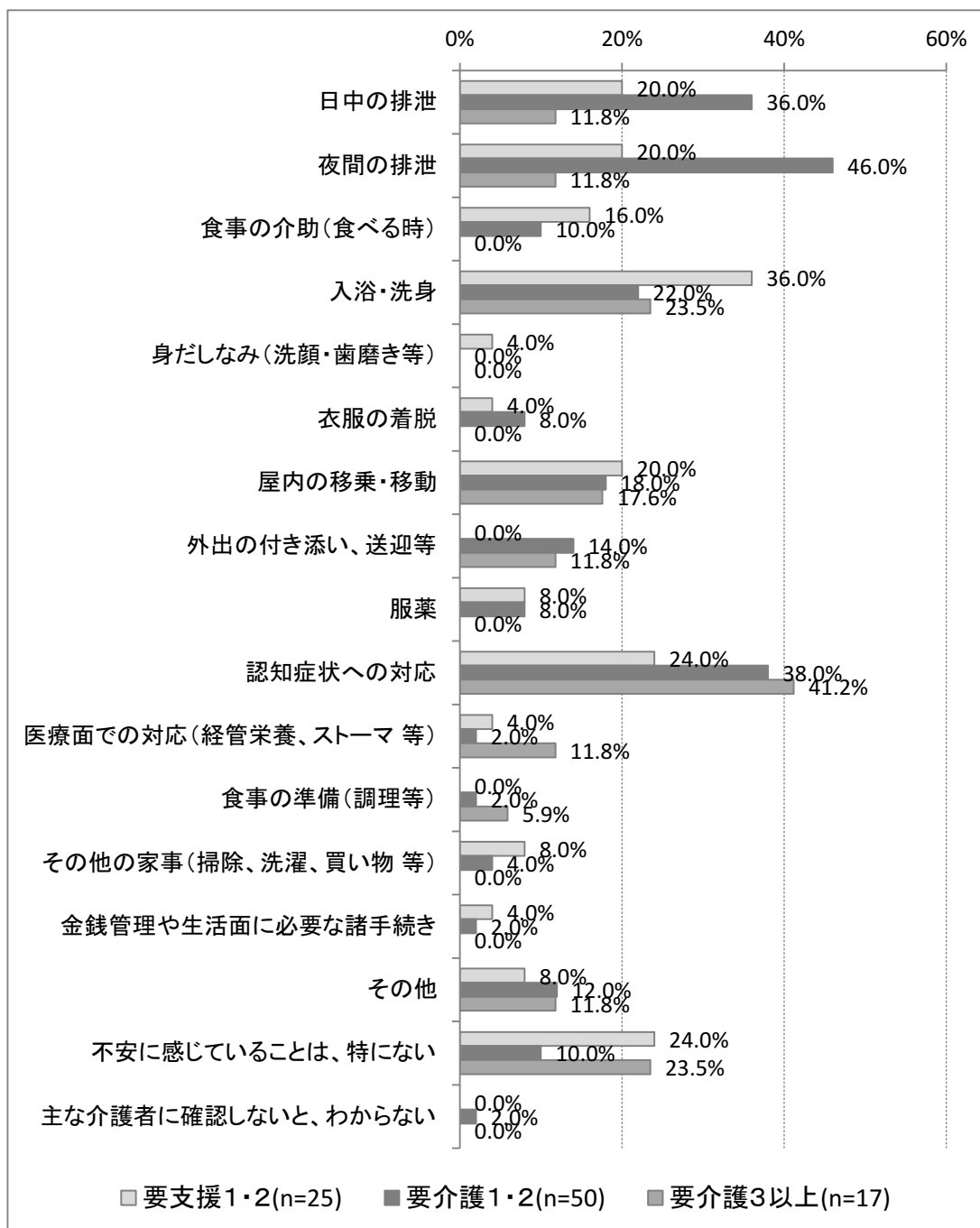
■ 世帯類型別 × 施設等検討の状況



② 不安を感じる介護等の内容

不安を感じる介護等の内容について、要介護度別で見ると、[要支援1・2]の場合では「入浴・洗身」、[要介護1・2]の場合では「夜間の排泄」、[要介護3以上]の場合では「認知症状への対応」の割合がもっとも高くなっています。

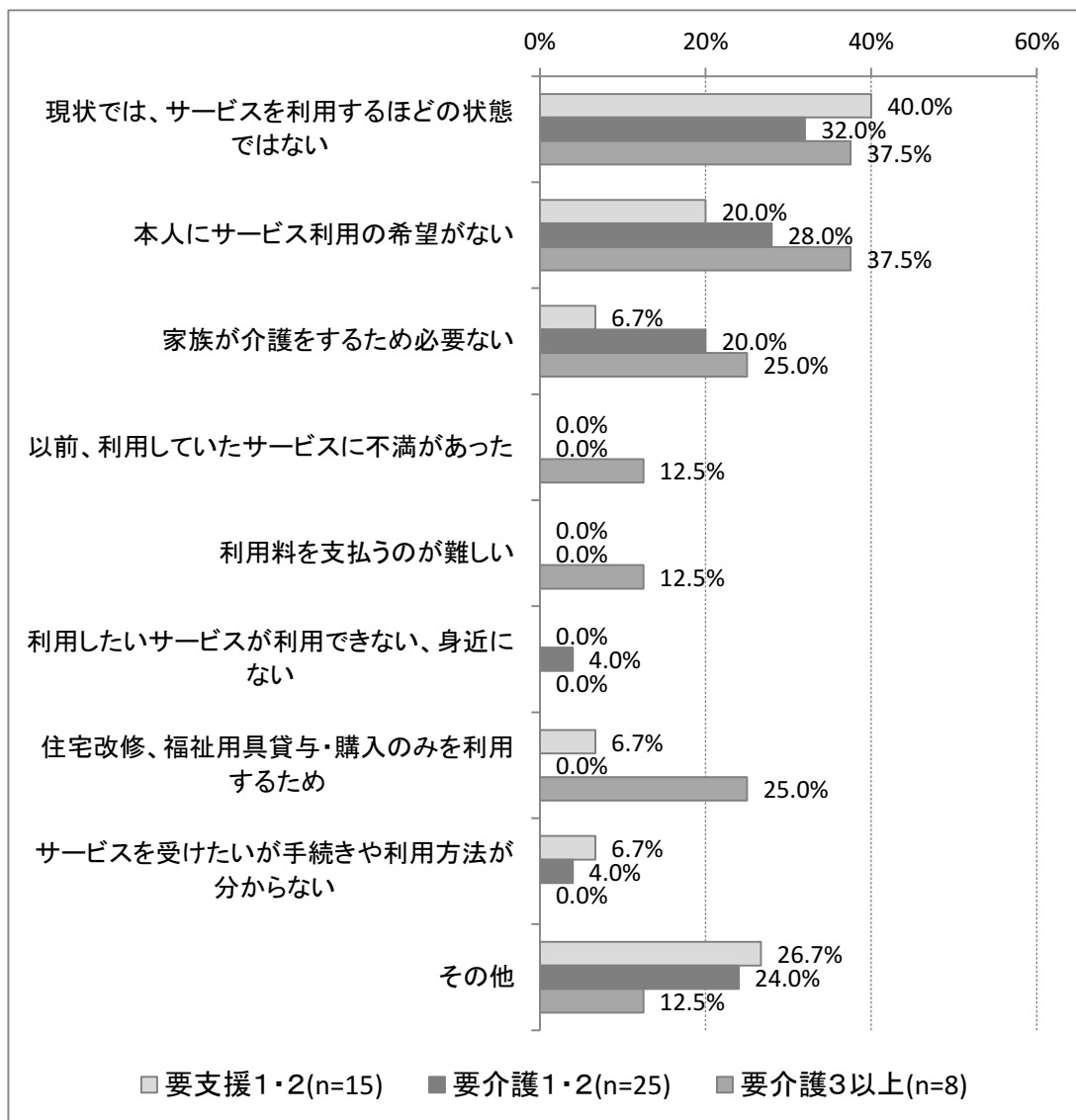
■ 要介護度別×介護者が不安を感じる介護



③ 介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由について、要介護度別でみると、[要支援1・2] および [要介護1・2] の場合には「現在では、サービスを利用するほどの状態ではない」、[要介護3以上] の場合には「現在では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」の割合がもっとも高くなっています。

■要介護度別×介護保険サービスを利用していない理由

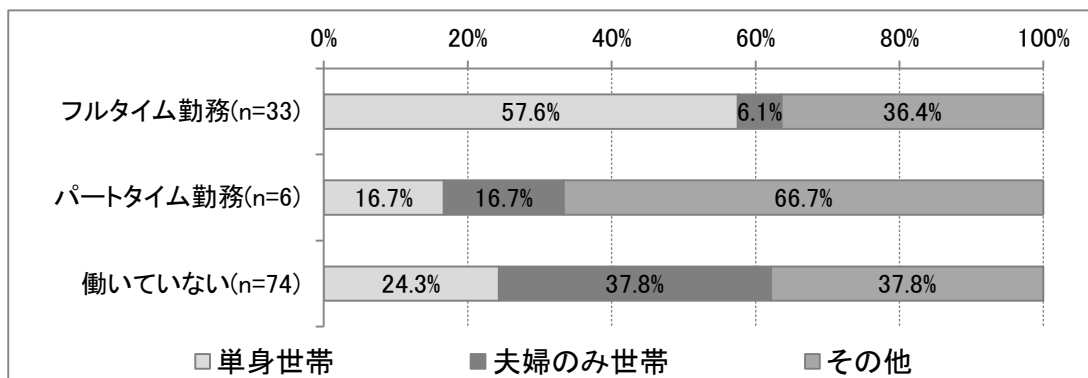


6. 就労状況別でみる介護者の基本属性について

① 就労状況別でみる世帯類型

世帯類型について、就労状況別でみると、[フルタイム勤務] の場合では「単身世帯」、[パートタイム勤務] の場合では「その他」、[働いていない] 場合では「夫婦のみ世帯」がもっとも高くなっています。

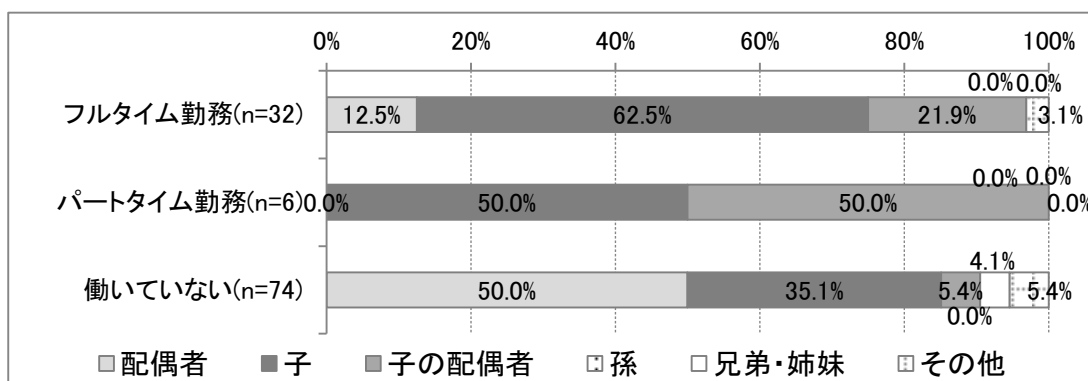
■ 就労状況別 × 世帯類型



② 就労状況別でみる主な介護者との関係性

主な介護者との関係性について、就労状況別でみると、[フルタイム勤務] [パートタイム勤務] の場合では「子」、[働いていない] 場合では「配偶者」がもっとも高くなっています。

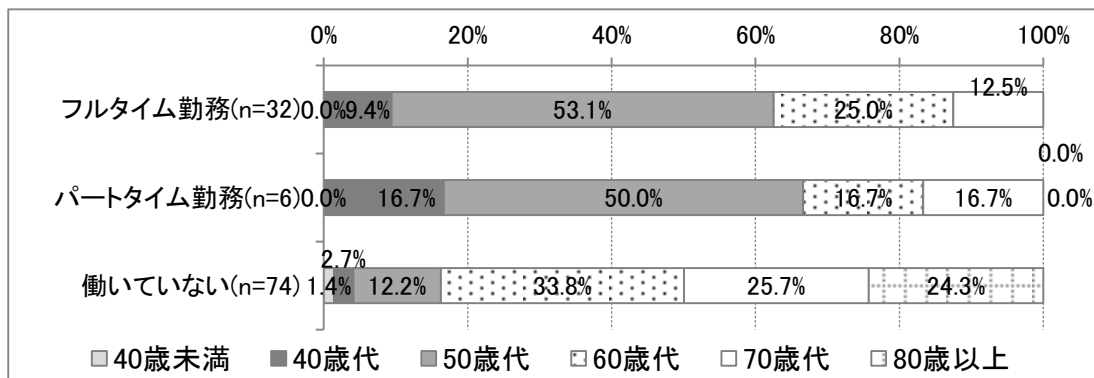
■ 就労状況別 × 主な介護者の本人との関係



③ 就労状況別でみる主な介護者の年齢

主な介護者の年齢について、就労状況別で見ると、[フルタイム勤務] [パートタイム勤務] の場合は「50歳代」、[働いていない] 場合には「60歳代」がもっとも高くなっています。

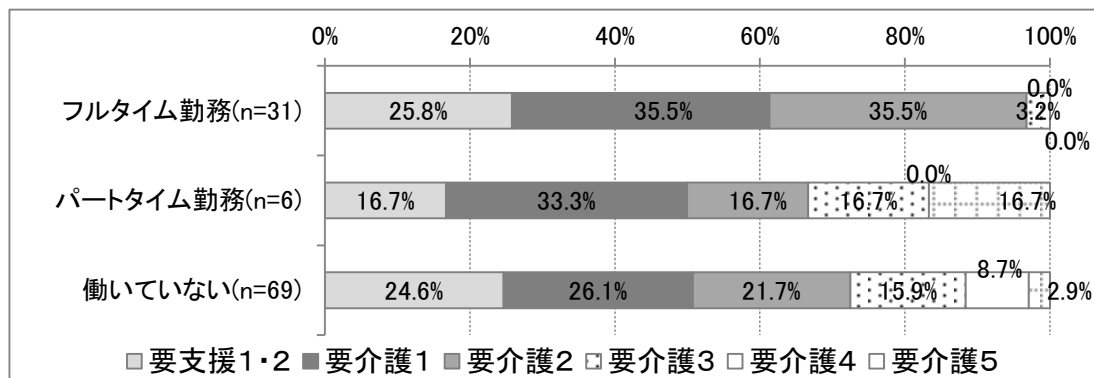
■就労状況別 × 主な介護者の年齢



④ 就労状況別でみる要介護度

要介護度について、就労状況別で見ると、[フルタイム勤務] の場合は「要介護1」「要介護2」、[パートタイム勤務] [働いていない] の場合は「要介護1」がもっとも高くなっています。

■就労状況別 × 要介護度

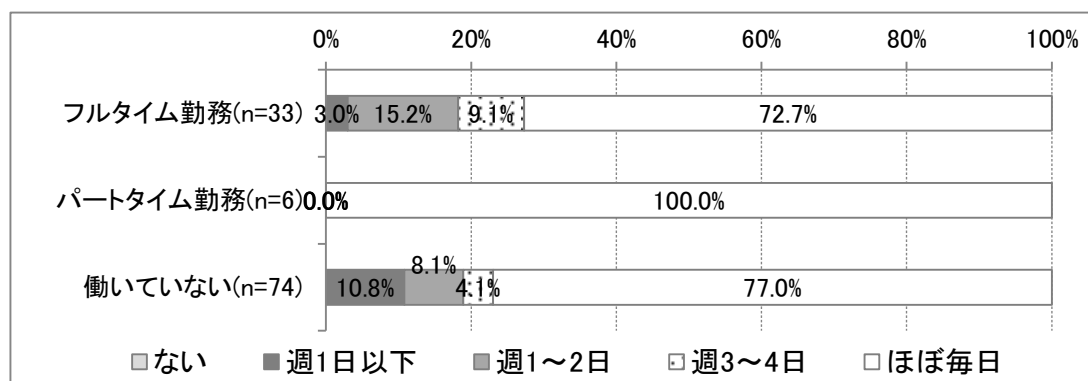


7. 就労状況別でみる在宅介護の現状について

① 就労状況別でみる主な介護者の介護頻度

主な介護者の介護頻度について、就労状況別でみると、[フルタイム勤務] [パートタイム勤務] [働いていない] 場合のいずれも、「ほぼ毎日」がもっとも高くなっています。

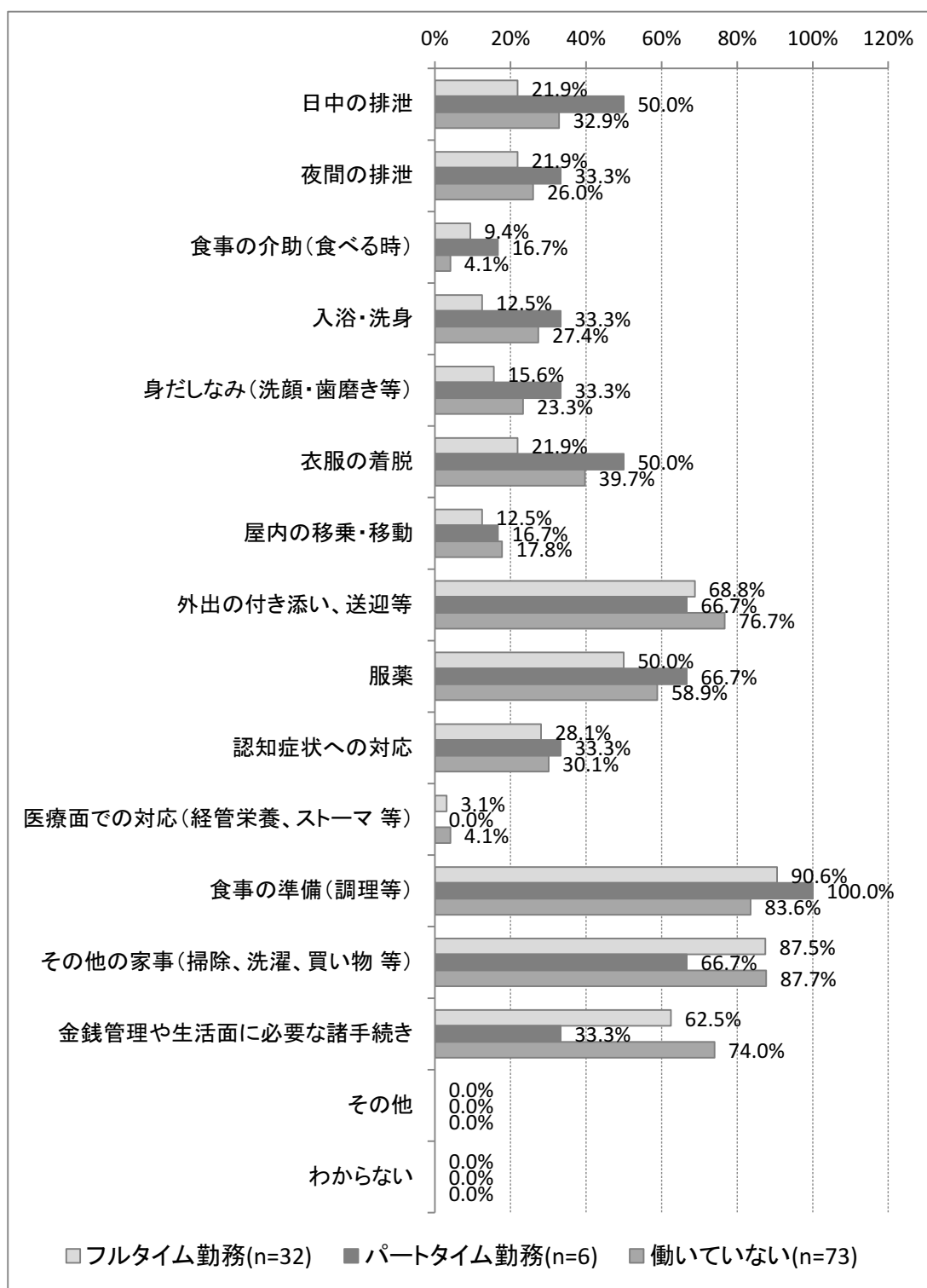
■ 就労状況別×家族等による介護の頻度



② 就労状況別でみる主な介護者が行っている介護

主な介護者が行っている介護について、就労状況別でみると、[フルタイム勤務][パートタイム勤務]の場合では、「食事の準備（調理等）」、[働いていない]場合では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」もっとも高くなっています。

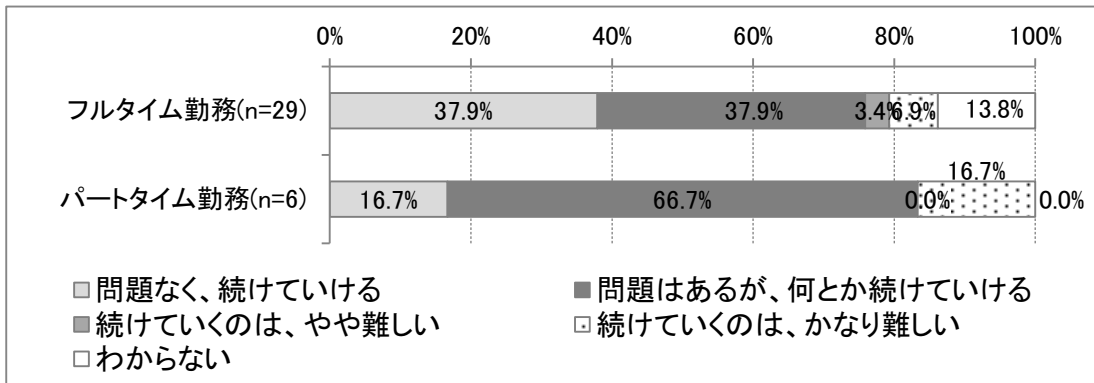
■就労状況別×主な介護者が行っている介護



③ 就労状況別でみる就労継続の見込み

主な介護者の就労継続の見込みについて、就労状況別でみると、[フルタイム勤務] の場合には「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」、[パートタイム勤務] の場合には「問題はあるが、何とか続けていける」がもっとも高くなっています。

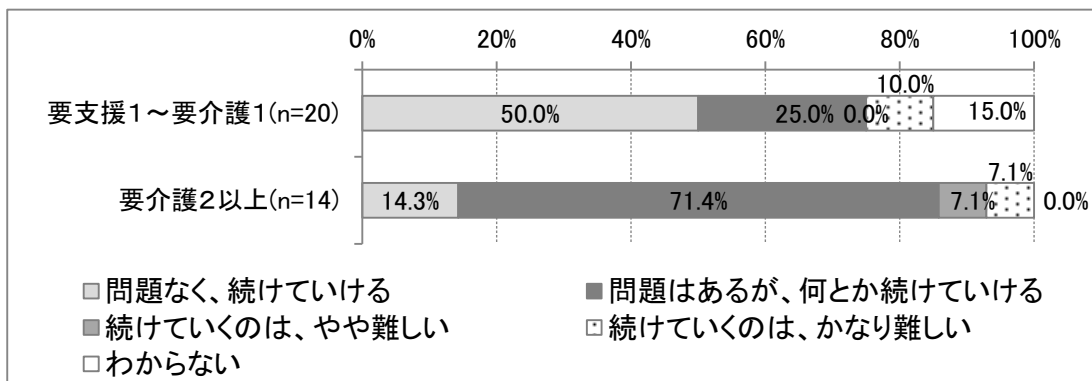
■ 就労状況別 × 就労継続見込み



④ 要介護度別でみる就労継続の見込み

主な介護者の就労継続の見込みについて、要介護度別でみると、[要支援1～要介護1] の場合には「問題なく、続けていける」、[要介護2以上] の場合には「問題はあるが、何とか続けていける」がもっとも高くなっています。

■ 要介護度別 × 就労継続見込み

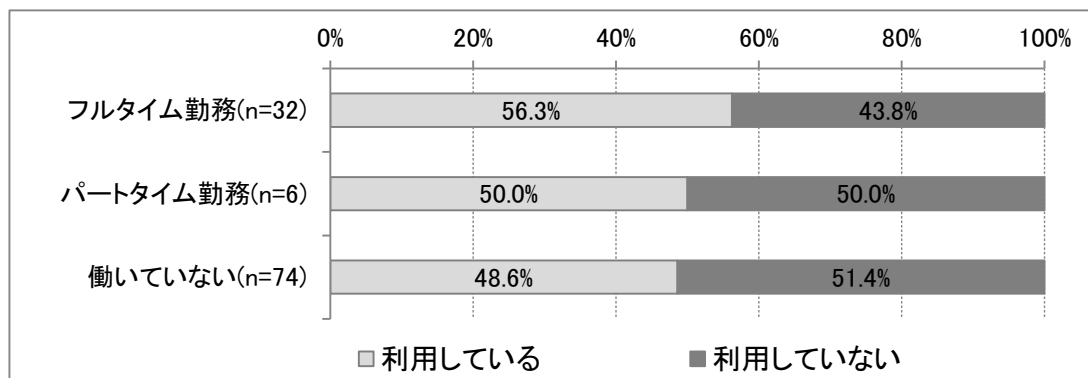


8. 就労状況別でみるサービスの利用状況について

① 就労状況別でみる介護保険サービス利用の有無

介護保険サービスの利用の有無について、就労状況別でみると、[フルタイム勤務～パートタイム勤務～働いていない]と変化するにつれて、「利用している」の割合が減少しています。

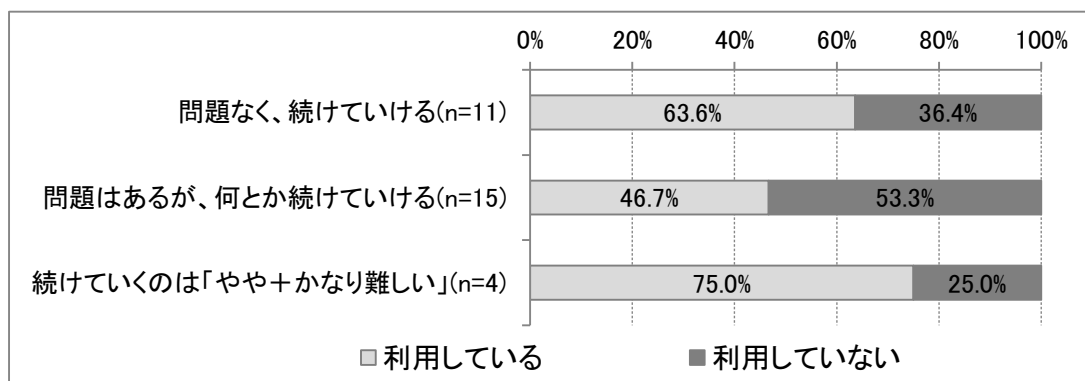
■就労状況別×サービスの利用状況



② 就労継続の見込み別でみる介護保険サービス利用の有無

介護保険サービスの利用の有無について、就労継続の見込み別でみると、[問題はあるが、何とか続けていける] 場合において「利用していない」が他よりも高くなっています。

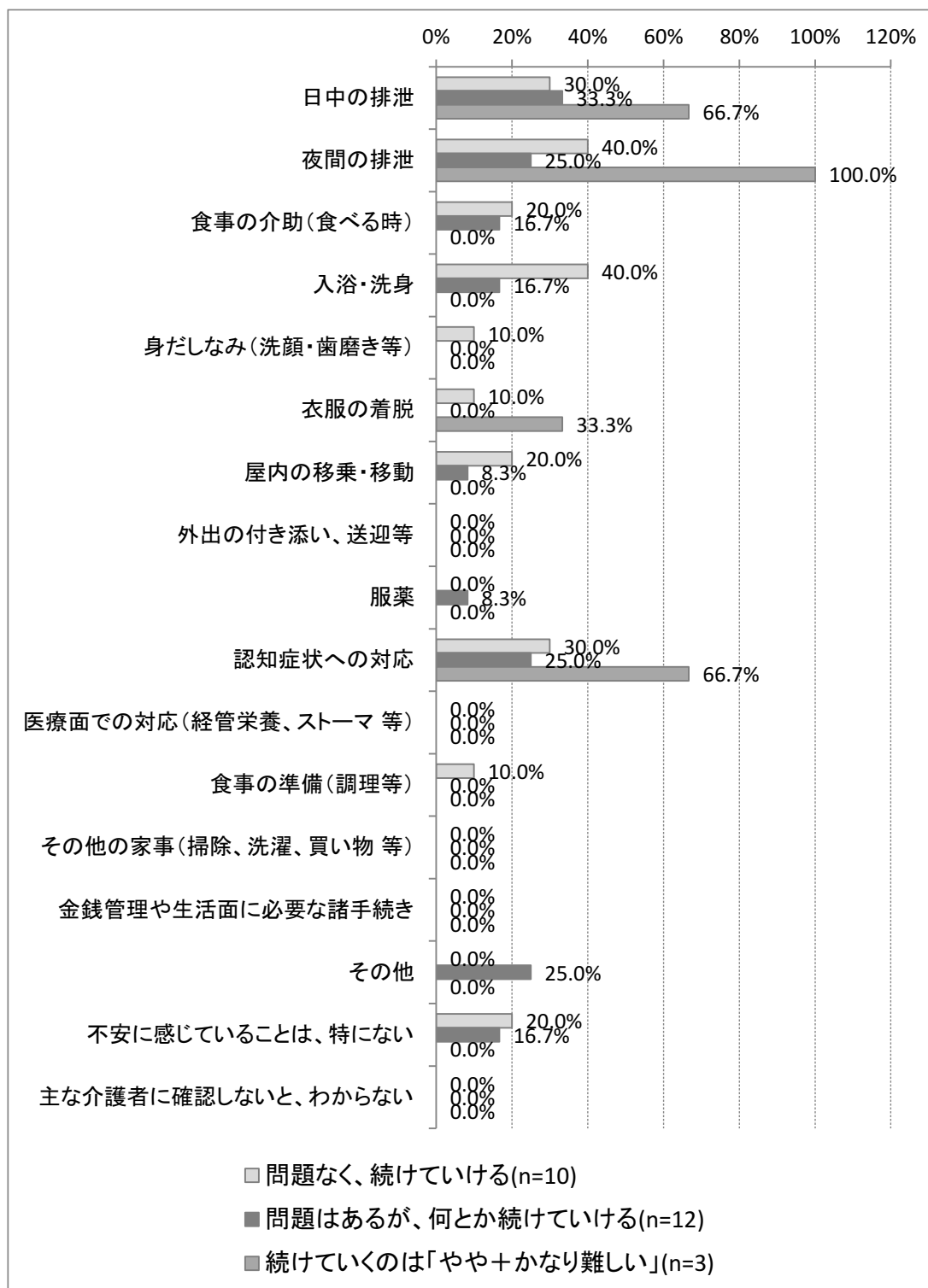
■サービスの利用状況×就労継続見込み



④ 就労継続の見込み別でみる介護への不安

介護者が不安に感じる介護等について、就労継続の見込み別でみると、[問題はあるが、何とか続けていける]では「日中の排泄」、[続けていくのは「やや+かなり難しい」]では「夜間の排泄」がもっとも高くなっています。

■ 就労継続見込み×介護者が不安に感じる介護

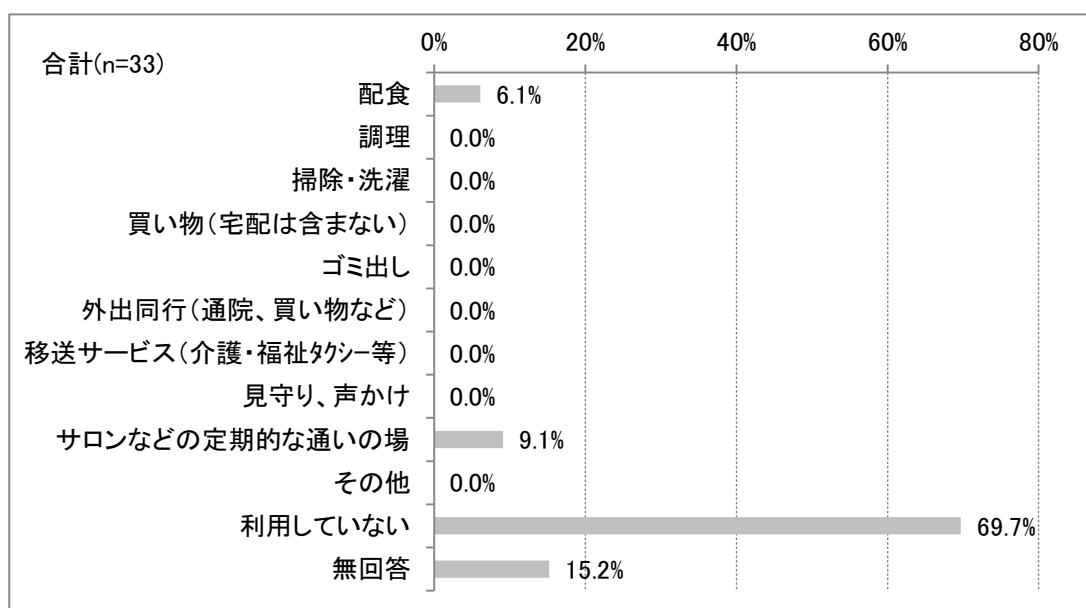


⑤ フルタイム勤務の場合でみる、利用している保険外のサービス、および在宅生活の継続に必要と感じるサービス

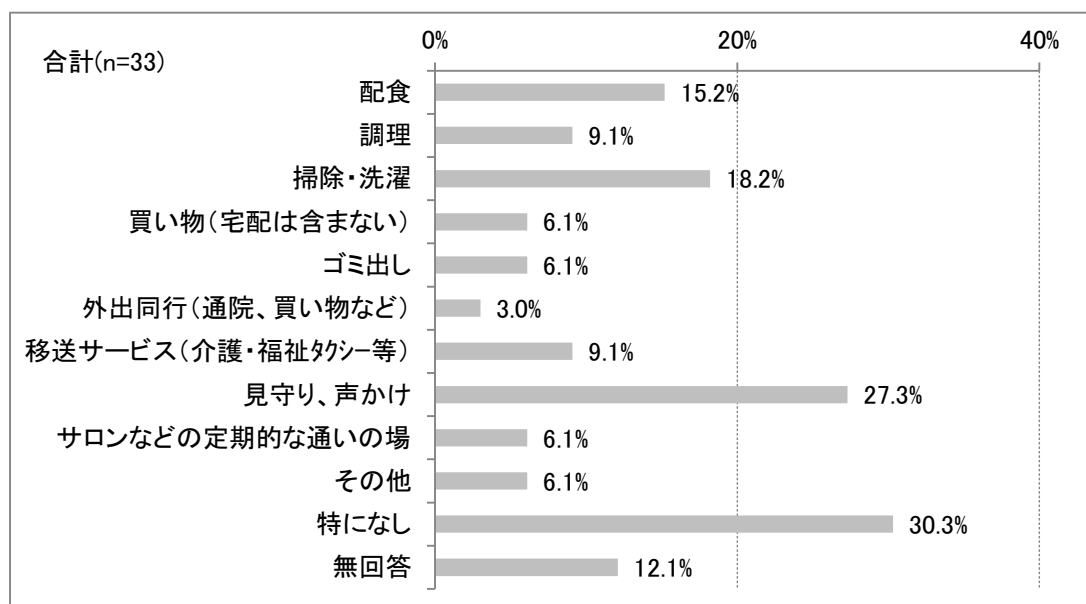
フルタイムで勤務している介護者について、利用している保険外のサービス、および在宅生活の継続に必要と感じるサービスをみると、[利用している保険外の支援・サービス]では「利用していない」がもっとも高くなっています

[在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス]では「特になし」がもっとも高く、次いで「見守り、声かけ」「掃除・洗濯」が高くなっています。

■就労状況（フルタイム勤務）×利用している保険外の支援・サービス



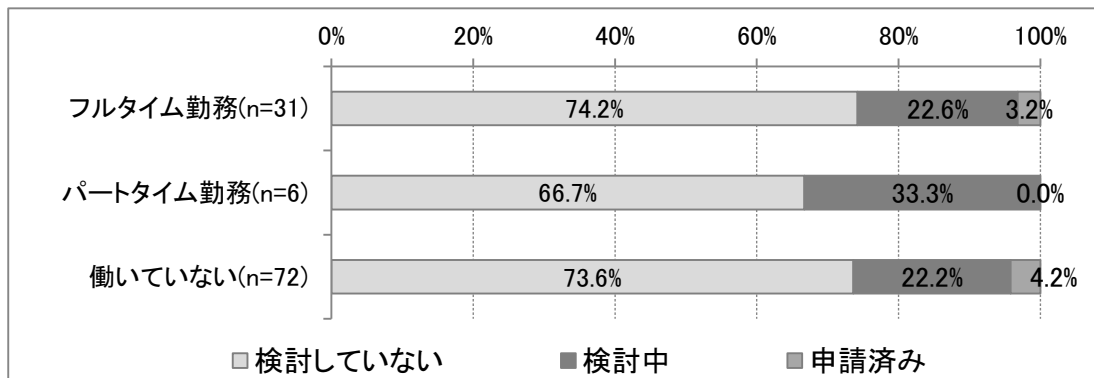
■就労状況（フルタイム勤務）×在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



⑥ 就労状況別でみる施設等への入所意向

施設等への入所意向について、就労状況別でみると、どの区分においても「検討していない」の割合がもっとも高くなっています。

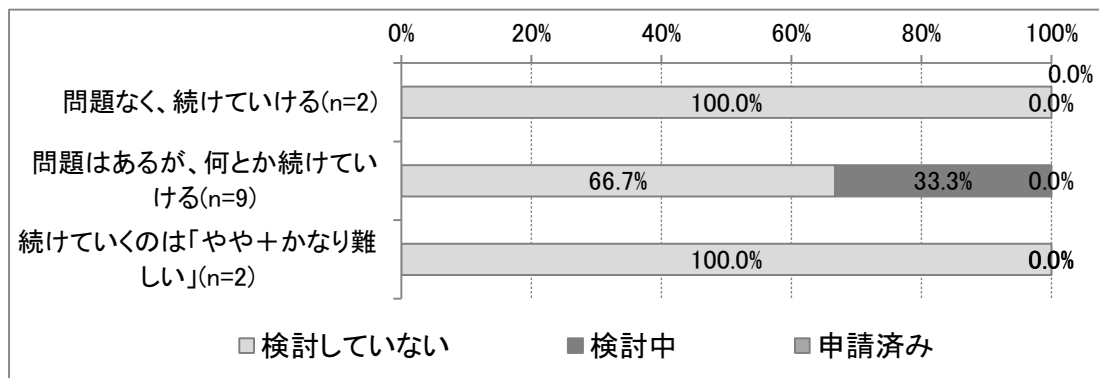
■ 就労状況 × 施設等検討の状況



⑦ 就労継続見込み別でみる施設等への入所意向

施設等への入所意向について、就労継続の見込み別でみると、[問題はあるが、何とか続けていける] 場合には、「検討中」の割合が他よりも高くなっています。

■ 就労継続見込み別 × 施設等検討の状況

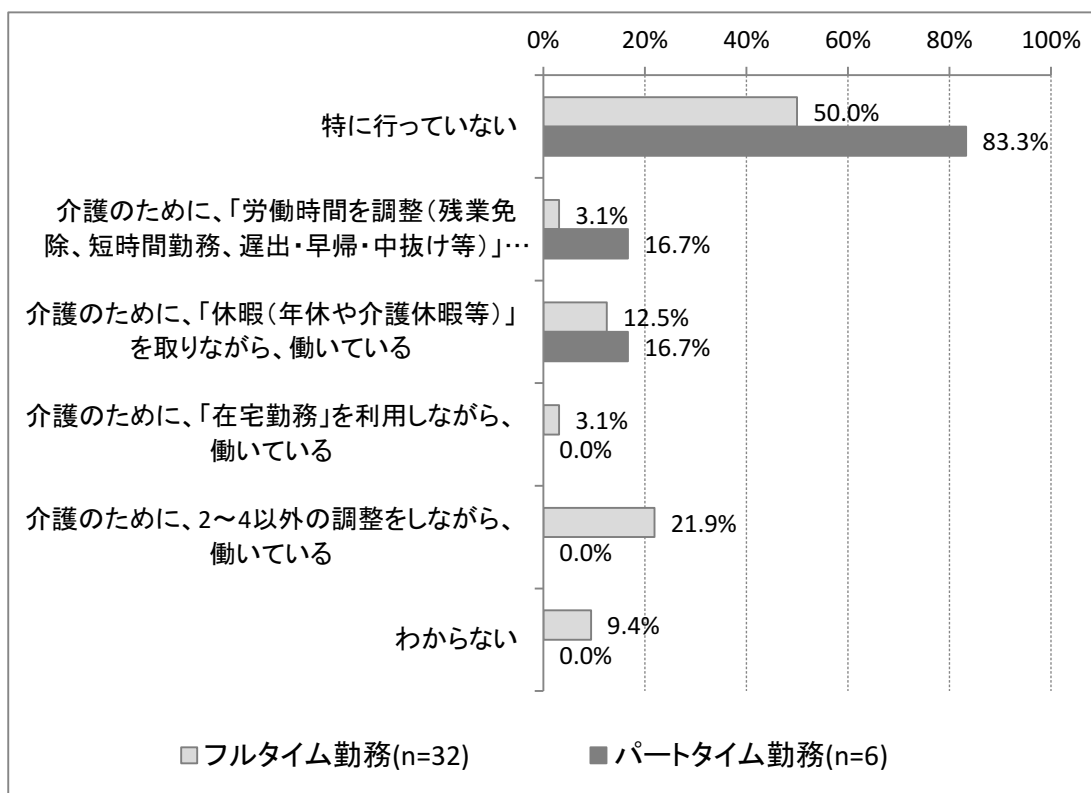


9. 職場における働き方の調整・支援について

① 就労状況別でみる介護のための働き方の調整

介護のための働き方の調整について、就労状況別でみると、[フルタイム勤務][パートタイム勤務]の場合ともに、「特に行っていない」がもっとも高くなっています。

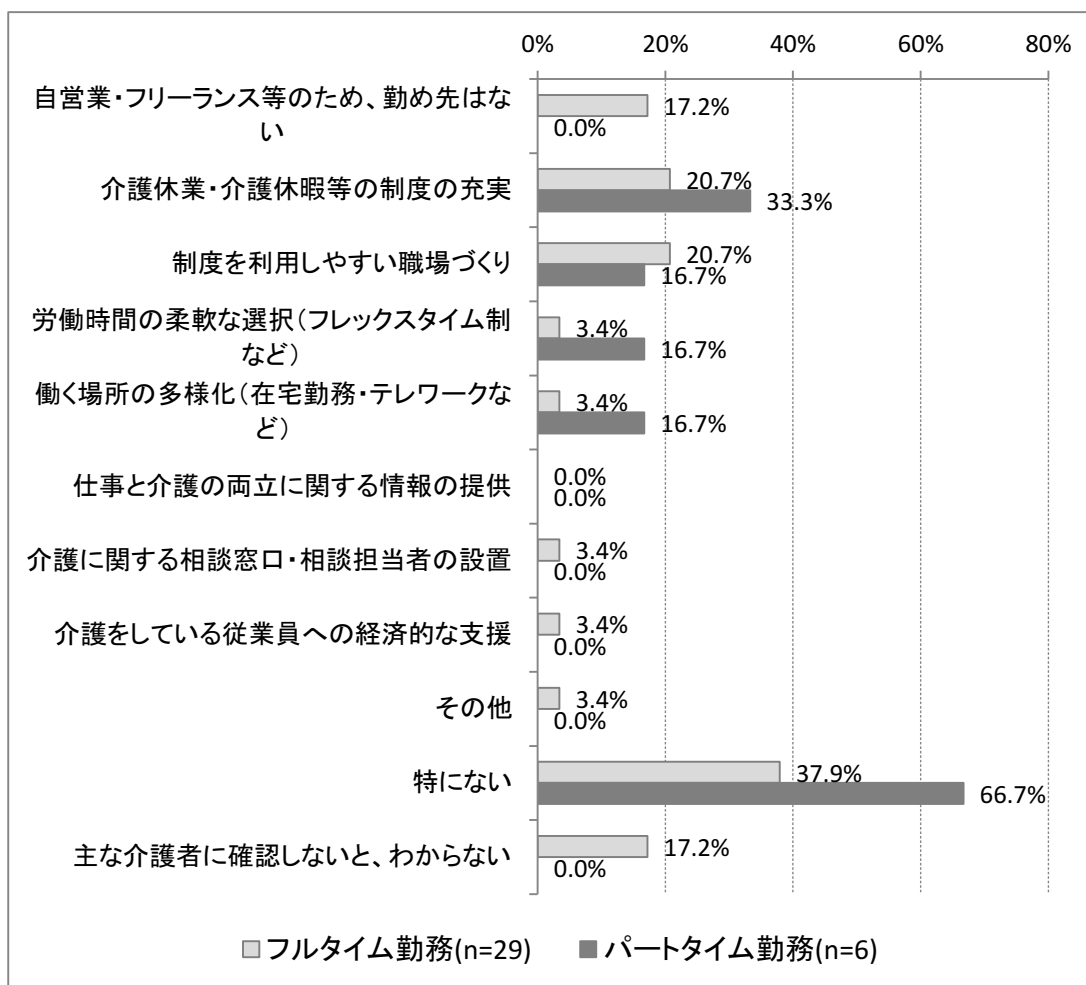
■ 就労状況別×介護のための働き方の調整



② 就労状況別でみる効果的な勤め先からの支援

効果的な勤め先からの支援について、就労状況別でみると、[フルタイム勤務] [パートタイム勤務] の場合ともに、「特にない」がもっとも高くなっており、次いで [フルタイム勤務] の場合では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」、[パートタイム勤務] の場合では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」となっています。

■ 就労状況別×効果的な勤め先からの支援

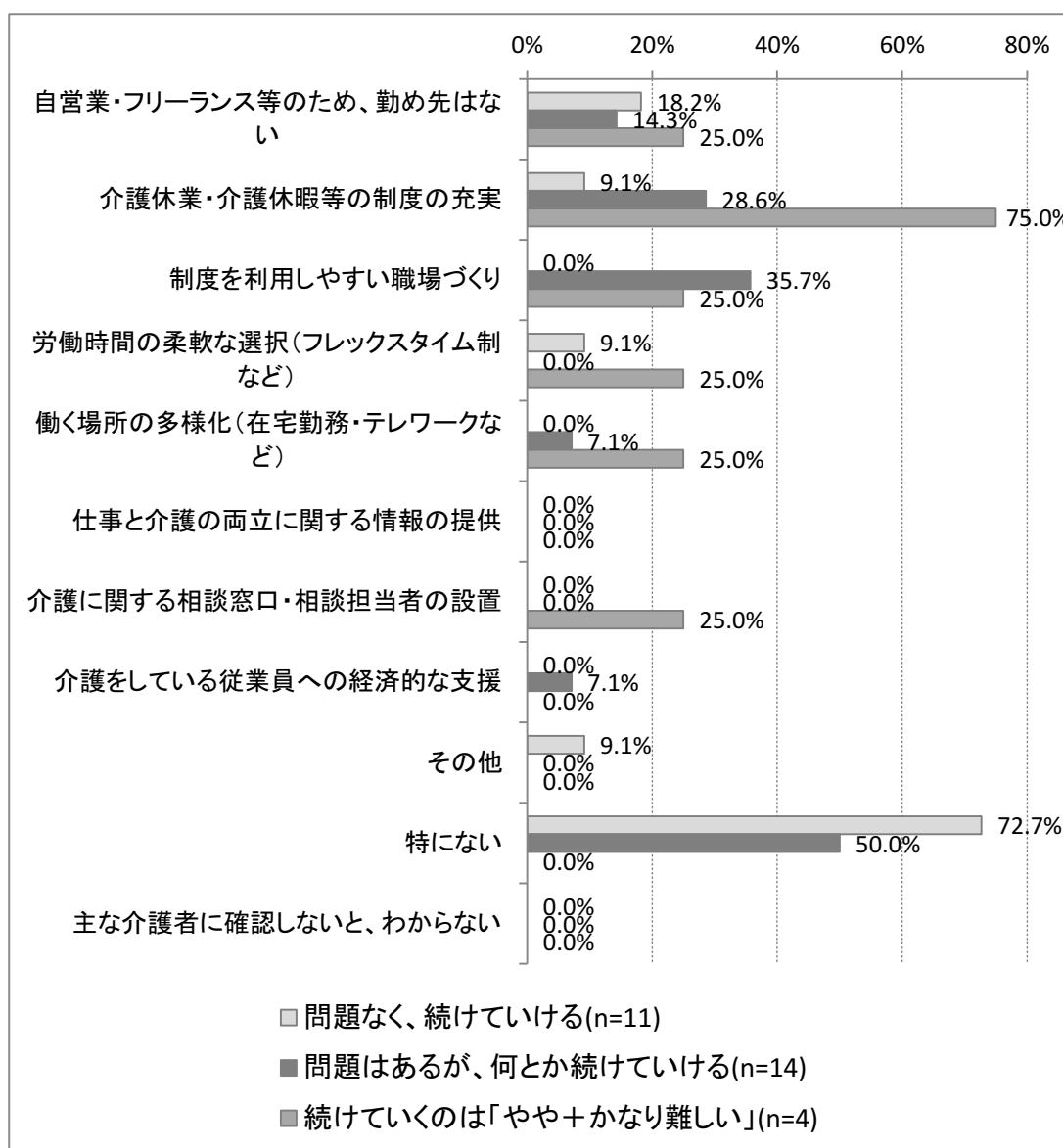


③ 就労継続の見込み別でみる効果的な勤め先からの支援

効果的な勤め先からの支援について、就労継続の見込み別でみると、[問題なく、続けていける] [問題はあるが、何とか続けていける] の場合には「特になし」、[続けていくのはやや+かなり難しい] の場合には「介護休業・介護休暇等の制度の充実」がもっとも高くなっています。

また、[続けていくのはやや+かなり難しい] では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制度など）」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」が他よりも高くなっています。

■就労継続見込み別×効果的な勤め先からの支援



4 リスク判定結果

① 運動器の機能低下

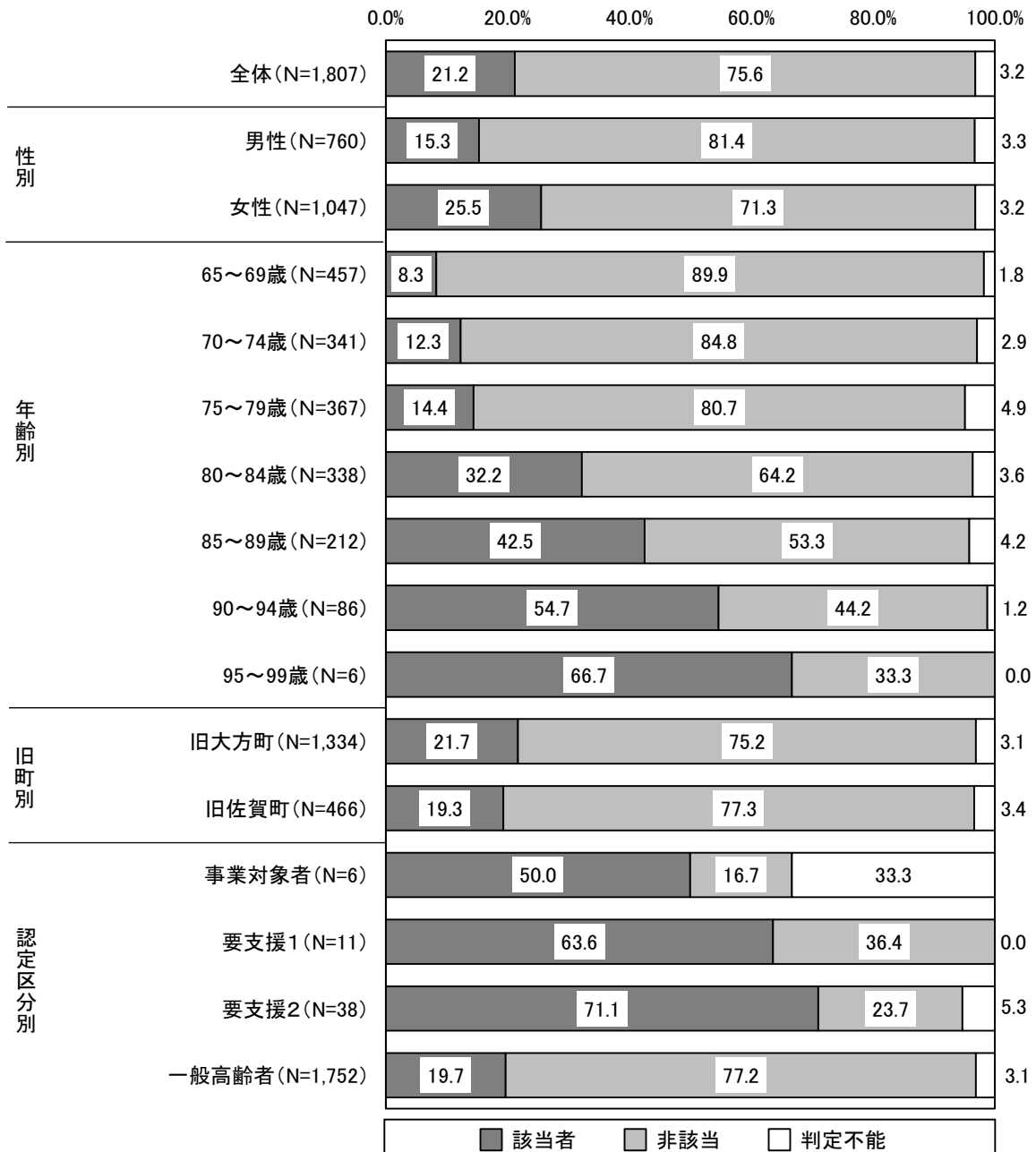
「該当」は21.2%、「非該当」は75.6%となっています。

性別でみると、「該当」は『男性』で15.3%、『女性』で25.5%と『女性』が10.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「該当」が高くなっています。

旧町別にみると、「該当」は『旧大方町』で21.7%、『旧佐賀町』で19.3%となっています。

認定区分別にみると、介護度が上がるにつれて割合も高くなっています。



② 転倒リスク

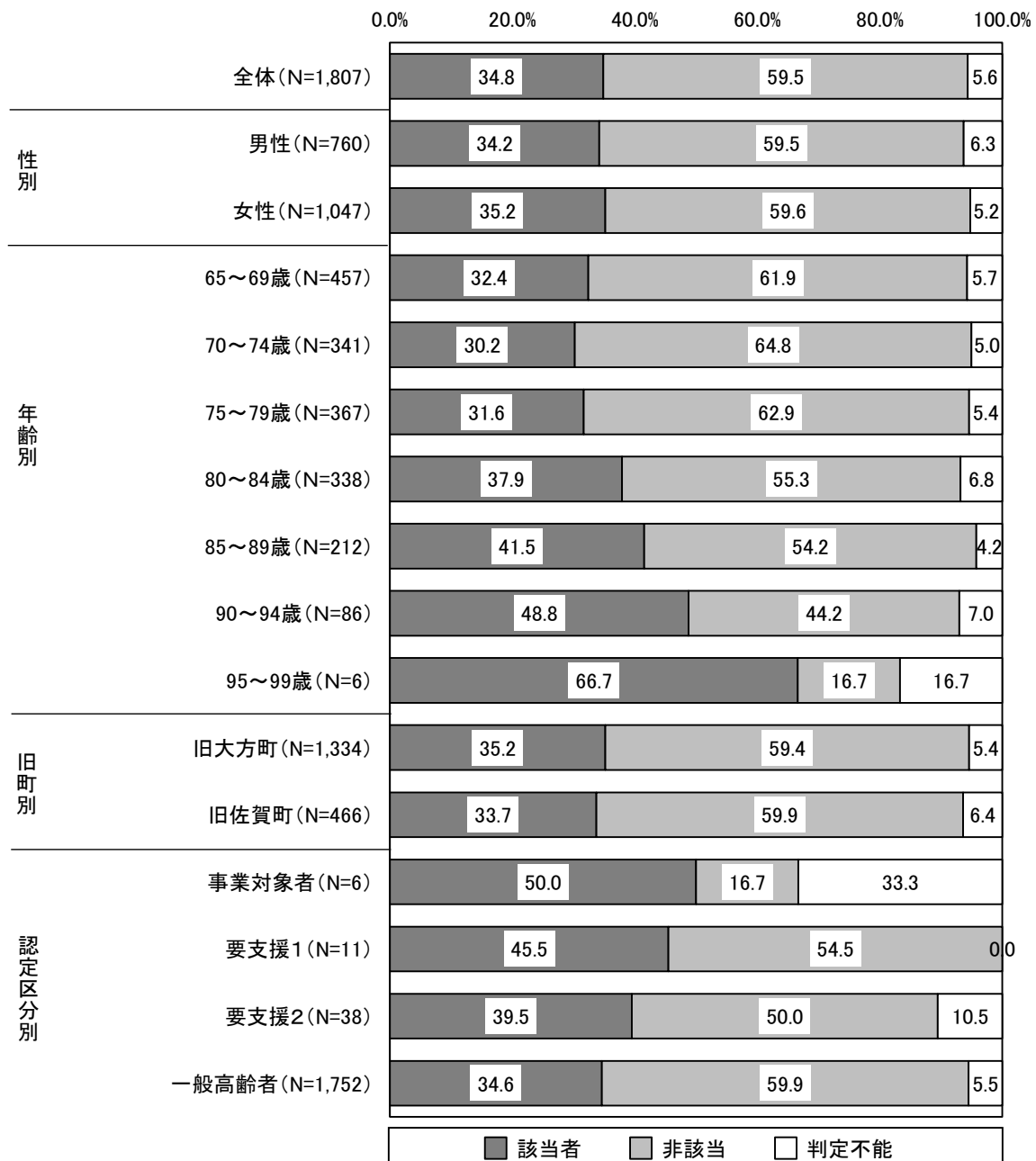
「該当」は34.8%、「非該当」は59.5%となっています。

性別でみると、「該当」は『男性』で34.2%、『女性』で35.2%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「該当」が高くなっています。

旧町別にみると、「該当」は『旧大方町』で35.2%、『旧佐賀町』で33.7%となっています。

認定区分別にみると、介護度が上がるにつれて割合も高くなっています。



③ 閉じこもり傾向

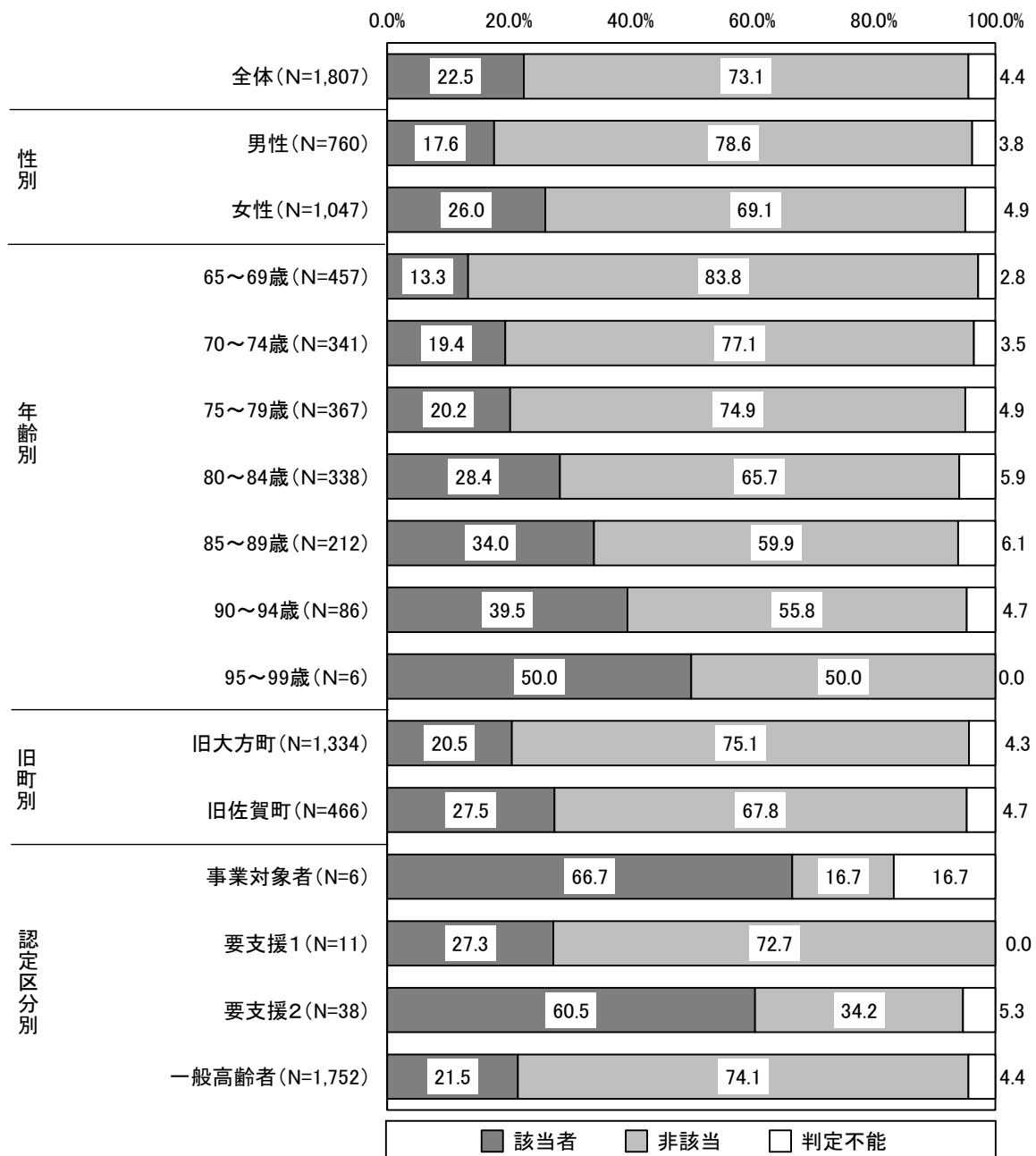
「該当」は22.5%、「非該当」は73.1%となっています。

性別でみると、「該当」は『男性』で17.6%、『女性』で26.0%と『女性』が8.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「該当」が高くなっています。

旧町別にみると、「該当」は『旧大方町』で20.5%、『旧佐賀町』で27.5%となっています。

認定区分別にみると、「該当」は『事業対象者』で66.7%、『要支援2』で60.5%と高くなっています。



④ 低栄養の傾向

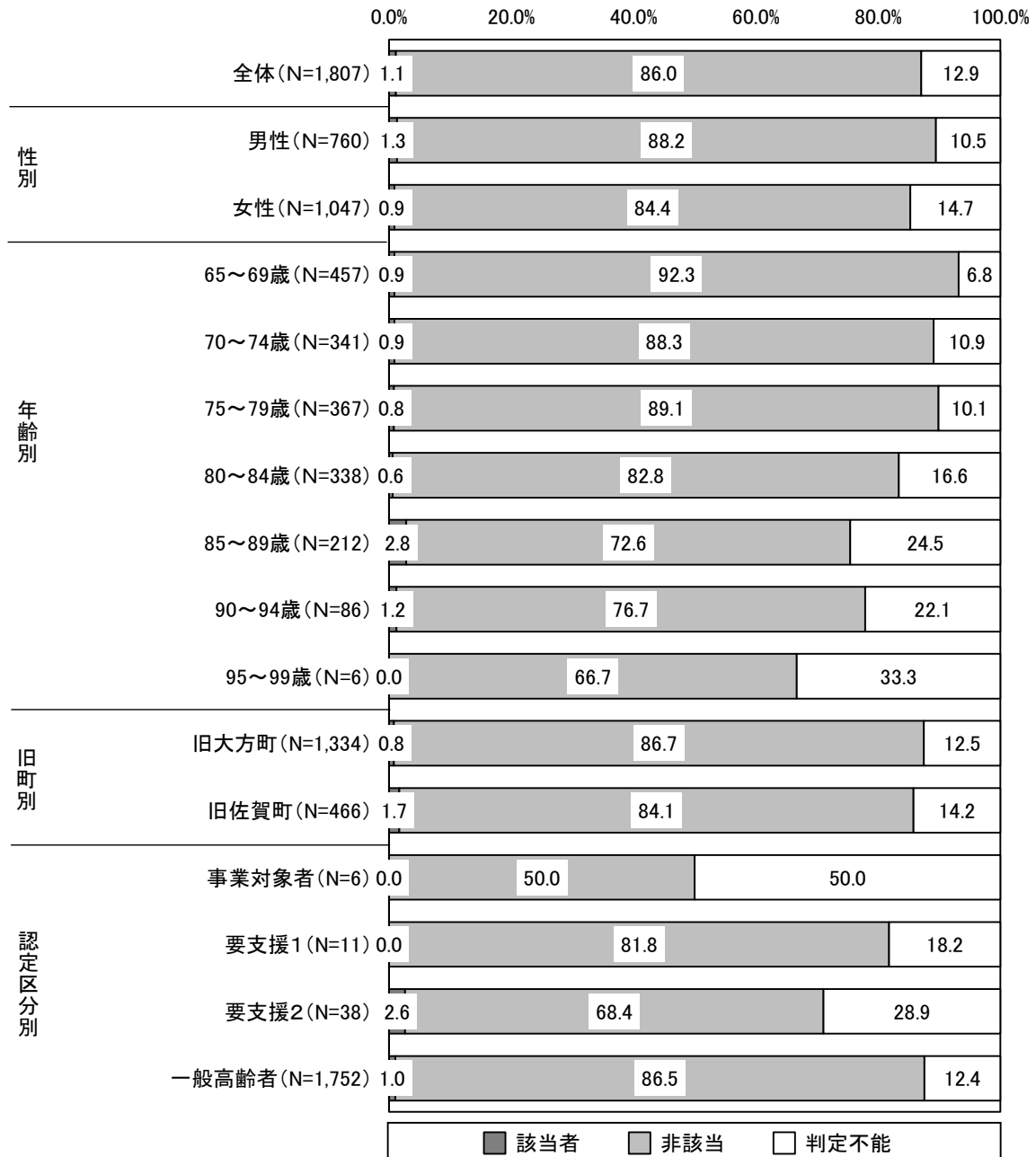
「該当」は 1.1%、「非該当」は 86.0%となっています。

性別でみると、「該当」は『男性』で 1.3%、『女性』で 0.9%となっています。

年齢別にみると、「該当」は『85～89 歳』で 2.8%ともっとも高くなっています。

旧町別にみると、「該当」は『旧大方町』で 0.8%、『旧佐賀町』で 1.7%となっています。

認定区分別にみると、「該当」は『要支援2』で 2.6%ともっとも高くなっています。



⑤ 口腔機能の低下

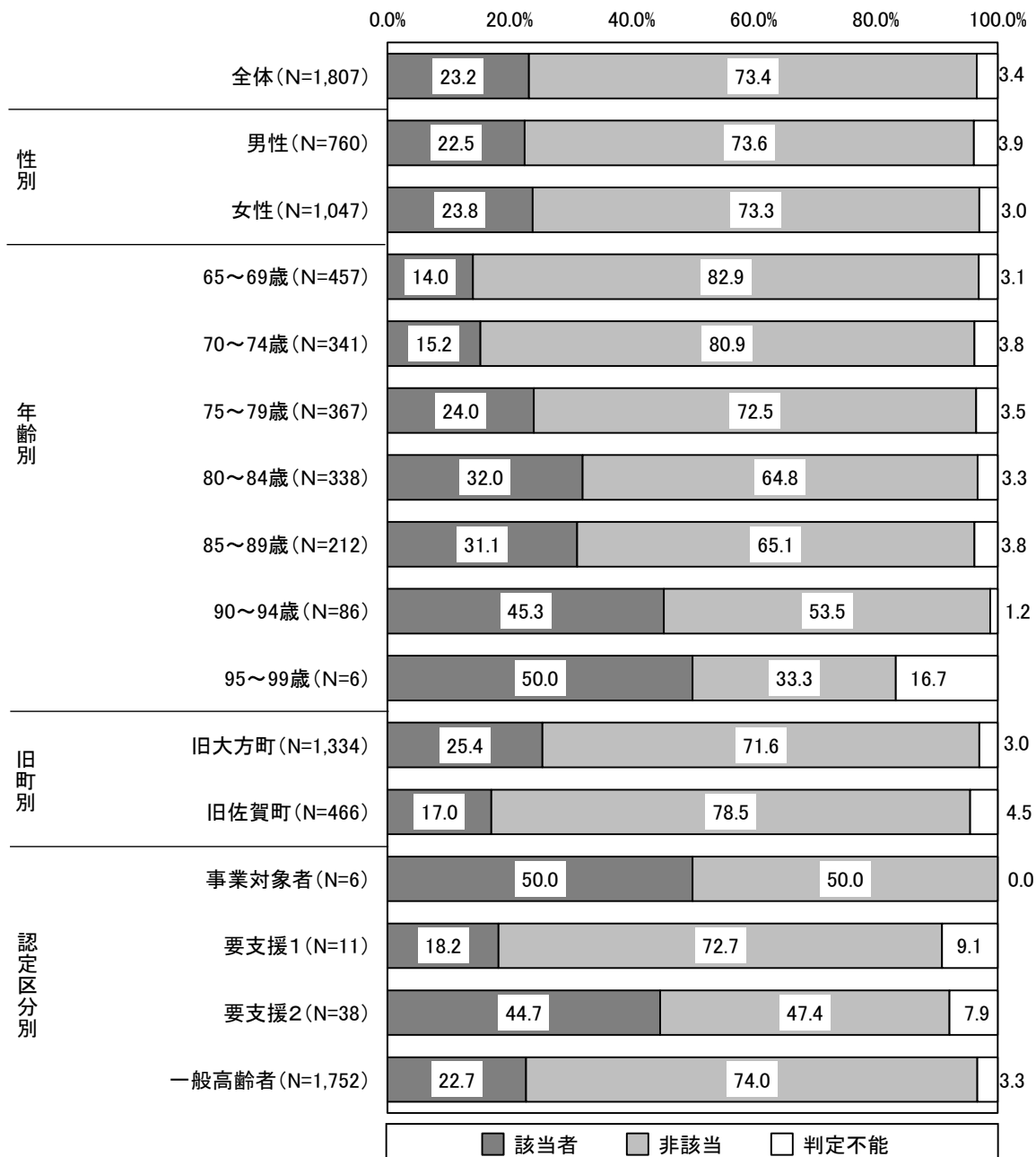
「該当」は23.2%、「非該当」は73.4%となっています。

性別でみると、「該当」は『男性』で22.5%、『女性』で23.8%となっています。

年齢別にみると、「該当」は『85～89歳』で2.8%ともっとも高くなっています。

旧町別にみると、「該当」は『旧大方町』で0.8%、『旧佐賀町』で1.7%となっています。

認定区分別にみると、「該当」は『要支援2』で2.6%ともっとも高くなっています。



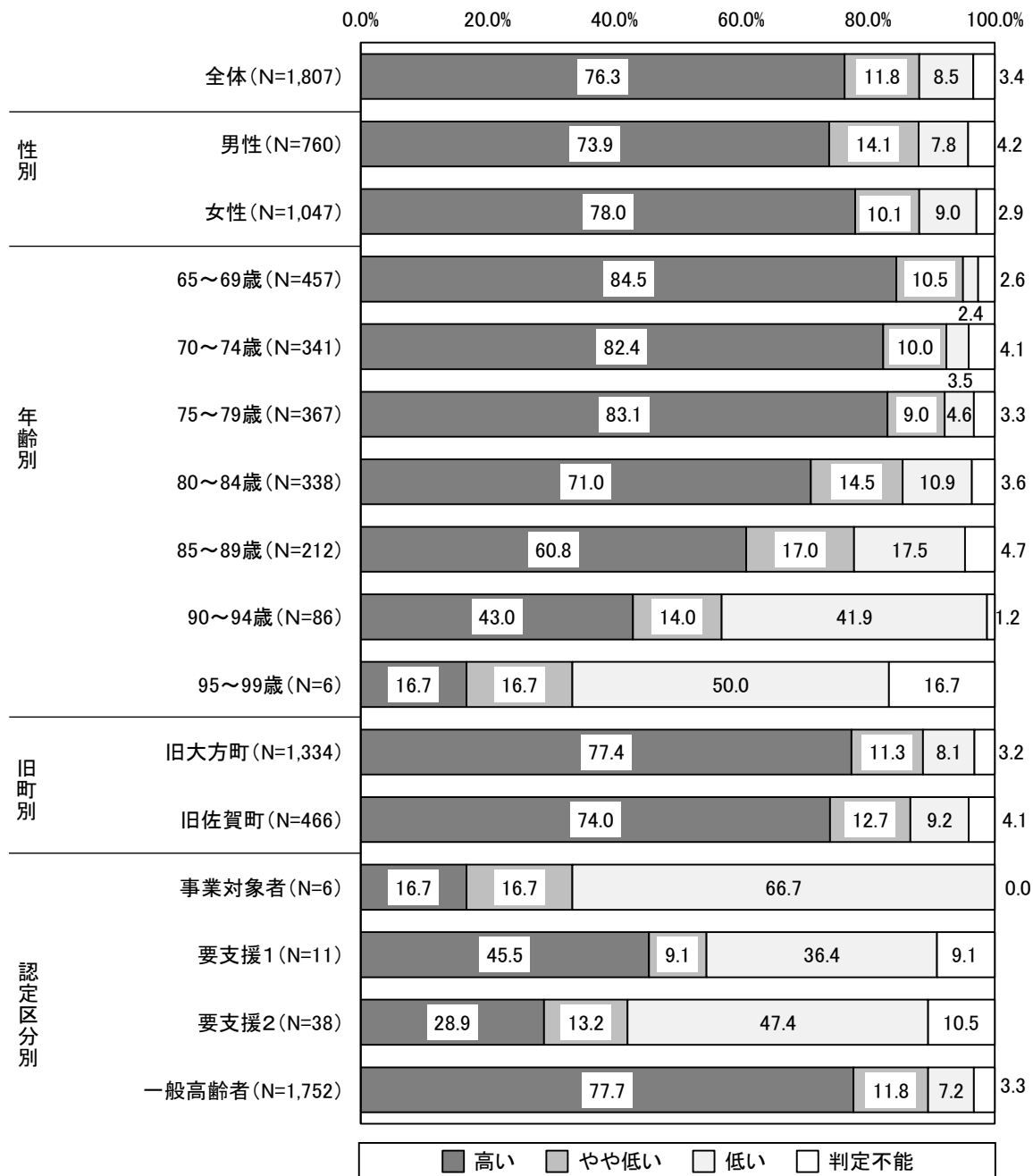
⑥ 手段的自立度【IADL】

「高い」は76.3%、「やや低い」は11.8%、「低い」は8.5%となっています。

性別でみると、「高い」は『男性』で73.9%、『女性』で78.0%となっています。「やや低い」は『男性』で14.1%、『女性』で10.1%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「低い」が高くなっています。

認定区分別にみると、「低い」は『事業対象者』で66.7%、『要支援1』で36.4%、『要支援2』で47.4%、『一般高齢者』で7.2%となっています。



⑦ うつ傾向

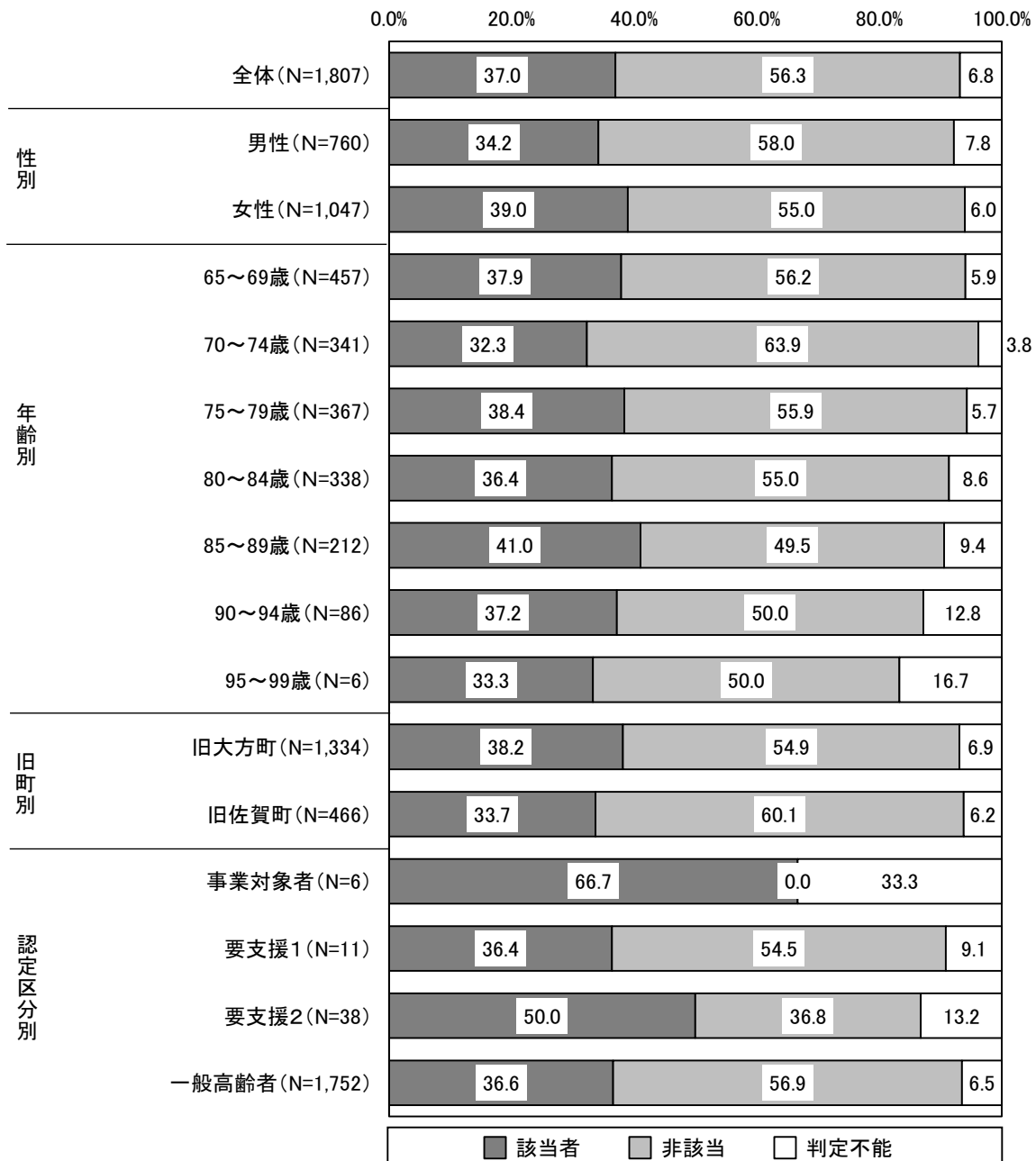
「該当」は37.0%、「非該当」は56.3%となっています。

性別でみると、「該当」は『男性』で34.2%、『女性』で39.0%となっています。

年齢別にみると、「該当」は『85～89歳』で41.0%と4割を超えています。

旧町別にみると、「該当」は『旧大方町』で38.2%、『旧佐賀町』で33.7%となっています。

認定区分別にみると、「該当」は『事業対象者』で66.7%ともっとも高くなっています。



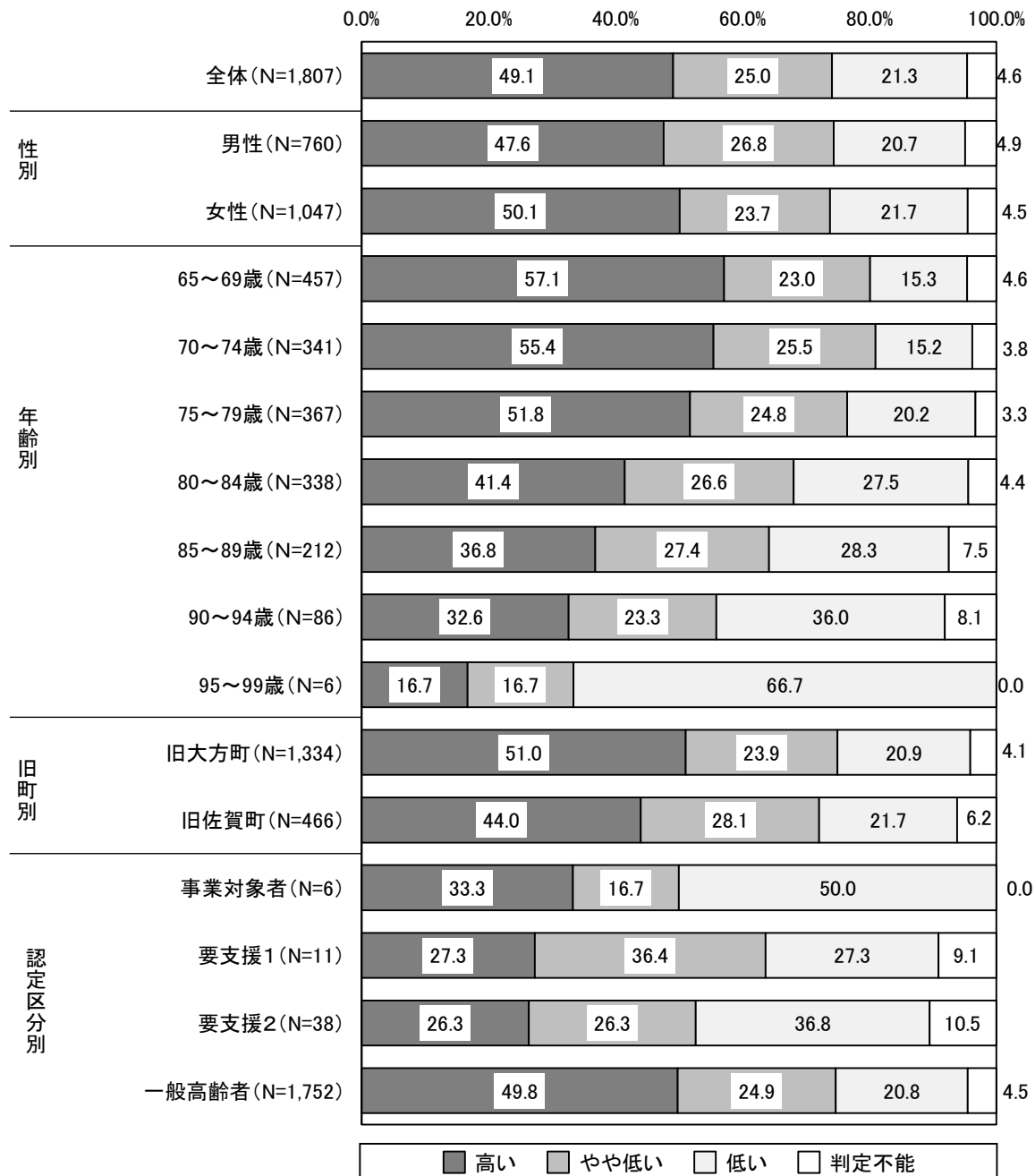
⑧ 知的能動性

「高い」は49.1%、「やや低い」は25.0%、「低い」は21.3%となっています。

性別でみると、「高い」は『男性』で47.6%、『女性』で50.1%となっています。「やや低い」は『男性』で26.8%、『女性』で23.7%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「低い」が高くなっています。

認定区分別にみると、「低い」は『事業対象者』で50.0%、『要支援1』で27.3%、『要支援2』で36.8%、『一般高齢者』で20.8%となっています。



⑨ 社会的役割

「高い」は53.5%、「やや低い」は21.9%、「低い」は19.2%となっています。

性別でみると、「高い」は『男性』で48.7%、『女性』で56.9%となっています。「やや低い」は『男性』で23.0%、『女性』で21.0%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「低い」が高くなっています。

認定区分別にみると、「低い」は『事業対象者』で66.7%、『要支援1』で27.3%、『要支援2』で68.4%、『一般高齢者』で17.9%となっています。

